

FANTOM 06 FANTOM 07 FANTOM 08



パラメーター・ガイド

目次

シーン・パラメーター (Scene)	4	ゾーン・パラメーター (Zone)	12
シーン (SCENE)	4	INT (INTERNAL)	12
GENERAL	4	TONE	12
CONTROL	4	LEVEL/PAN	12
PEDAL	4	KEY RANGE	12
KNOB	5	VEL RANGE	12
SLIDER	5	EQ (Zone EQ)	13
S1/S2	5	PITCH	13
WHEEL1/2	6	SCALE TUNE	13
VOCODER	6	VIBRATO	14
SONG	6	OFFSET	14
シーン・エフェクト・パラメーター (SCENE EFFECT)	7	MONO/POLY	14
コーラス (Chorus)	7	PEDAL CTRL	15
Chorus	7	BEND CTRL	15
CE-1	7	S1S2 CTRL	15
SDD-320	7	ASSIGN KNOB	15
Delay	7	ASSIGN SLIDER	15
T-Ctrl Delay	7	VOICE RESERVE	15
Delay → Tremolo	7	MIDI Rx FILTER	16
2Tap Pan Delay	8	EXT (EXTERNAL)	16
3Tap Pan Delay	8	NAME	16
JUNO-106 Chorus	8	OUT/PC	16
リバーブ (Reverb)	8	LEVEL/PAN	16
INTEGRA-7 Reverb	9	KEY RANGE	17
Warm Hall	9	VEL RANGE	17
Hall	9	PITCH	17
GS Reverb	9	OFFSET	17
SRV-2000	9	MONO/POLY	18
SRV-2000 NON-LINEAR	10	PEDAL CTRL	18
GM2 Reverb	10	BEND CTRL	18
IFX1 / IFX2	11	S1S2 CTRL	18
VOCODER SETTING	11	ASSIGN KNOB	18
		ASSIGN SLIDER	19
		ZEN-Core トーン・パラメーター (Z-Core)	20
		COMMON	20
		STRUCTURE	22
		KEYBOARD	24
		OSC	24
		PITCH	26
		PITCH ENV	26
		FILTER	27
		FILTER ENV	28
		AMP	29
		AMP ENV	30
		LFO1 / LFO2	30
		STEP LFO1 / STEP LFO2	31
		PARTIAL EQ	33
		OUTPUT	33
		CONTROL	33
		MATRIX CONTROL	34
		MFX	36
		MFX CTRL	36

Drum Kit トーン・パラメーター (Drum)	37
KIT COMMON	37
KIT MFX	37
KIT MFX CTRL	37
KIT COMP1 ~ 6	37
KEY PARAM	37
KEY EQ	38
INST COMMON	38
INST WAVE	39
INST WMT	39
PITCH ENV	40
INST FILTER	41
FILTER ENV	42
INST AMP	43
AMP ENV	43
VTW トーン・パラメーター (VTW)	44
COMMON	44
WHEEL	44
Overdrive	45
Rotary	46
MFX	46
MFX CTRL	47
VTW Control	47
SuperNATURAL Acoustic トーン・パラメーター	48
COMMON	48
INST	48
MFX	48
MFX CTRL	48
SuperNATURAL Inst パラメーター	49
SuperNATURAL Acoustic Piano/E.Piano トーン・パラメーター	53
COMMON	53
INST	53
MFX	53
MFX CTRL	53
SuperNATURAL Inst パラメーター	53
システム・エフェクト・パラメーター	
(SYSTEM EFFECT)	55
マスター FX (MASTER FX)	55
Mastering COMP	55
Mastering EQ	55
TFX	56
オーディオ・イン・エフェクト	
(AUDIO IN EFFECT)	56
LOW CUT	56
VOCODER	56
NOISE SUPPRESSOR	56
MFX	56
INPUT EQ	56
INPUT REVERB	56
MFx/IFx パラメーター	57
音符	103

シーン・パラメーター (Scene)

シーン (SCENE)

- [MENU] ボタンを押します。**
MENU 画面が表示されます。
- < SCENE EDIT >にタッチします。**
SCENE EDIT 画面が表示されます。
- エディットしたいセクションのタブにタッチします。**
- カーソルを目的のパラメーターに合わせて、設定値を変更します。**

注意

エディットした各パラメーターは一時的なものです。電源を切ると消えてしまいます。設定を残しておきたいときは、シーンを保存してください。

GENERAL

パラメーター	設定値	説明
Scene Level	0 ~ 127	シーン全体の音量を設定します。
Tempo	5.00 ~ 300.00	シーン (アルペジオやリズム・パターン、シーケンサーを含む) のテンポを設定します。
Pad Mode	SYSTEM	システムの PAD MODE の設定を使います。
	SAMPLE PAD	サンプルを再生します。
	NOTE PAD	パッドでトーンの音を鳴らします。
	PARTIAL SW/SEL	パーシャルの選択やオン/オフをします。
	DAW CONTROL	DAW ソフトをコントロールします。
	ZONE MUTE	ゾーンのミュートをオン/オフします。
	ZONE SOLO	ゾーンのソロをオン/オフします。
	KBD SW GROUP	キーボード・スイッチの組み合わせを切り替えます。
	RHYTHM PATTERN	リズム・パターンを鳴らします。
	PATTERN	パターン・シーケンサーのパターンを再生します。
	VARIATION PLAY	パターンのバリエーションを再生します。
	GROUP PLAY	シーケンサーのグループを再生します。
Pad Zone Select	1 ~ 16、OFF	パッド・ゾーン (サンプル・パッドの演奏情報を記録するゾーン) を設定します。 ここで選ばれたゾーンは、内蔵音源の代わりにサンプル・パッドを演奏することができます。
Drum Kit Comp Zone	1 ~ 16	ドラム・キット用の 6 系統のコンプレッサーを使用するゾーンを選びます。

CONTROL

パラメーター	設定値	説明
Control Source Select	SYS	トーン・コントロールに System Control Source 1 ~ 4 を使います。
	SCENE	トーン・コントロールにシーンの Tone Control Source 1 ~ 4 を使います
Tone Control Source 1 ~ 4	OFF、CC01 ~ 31、33 ~ 95、BEND、AFT	トーン・コントロールとして使う MIDI メッセージを設定します。 トーン・コントロールは、FANTOM 全体で共通に使う、音量や音色などを MIDI メッセージでコントロールするための設定です。 コントロールに使う MIDI メッセージを 4 つまで設定することができます。 音色やエフェクトをリアルタイムにコントロールする設定をトーンごとに作りたいときは、「MATRIX CTRL」や「MFX CTRL」を使います。

PEDAL

パラメーター	設定値	説明
Pedal1、2 Assign	PEDAL CTRL 1、2 端子に接続したペダルでコントロールする機能を設定します。	
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、33 ~ 95
	BEND DOWN	ピッチ・ベンド・レバーを左に倒したのと同様の効果がかかります。
	BEND UP	ピッチ・ベンド・レバーを右に倒したのと同様の効果がかかります。
	AFT	アフタータッチ
	START/STOP	シーケンサーのスタートとストップを割り当てます。
	TAP TEMPO	タップ・テンポの機能を割り当てます。
	SCENE DOWN	シーンを、前のナンバーに切り替えます。シーン・チェイン使用時は、チェイン・セット内の前のナンバーに切り替えます。
	SCENE UP	シーンを、次のナンバーに切り替えます。シーン・チェイン使用時は、チェイン・セット内の次のナンバーに切り替えます。
	OCT DOWN	パネルの OCTAVE [DOWN] ボタンを押したのと同様の効果がかかります。
	OCT UP	パネルの OCTAVE [UP] ボタンを押したのと同様の効果がかかります。
	ARPEGGIO SW	パネルの [ARPEGGIO] ボタンを押したのと同様の効果がかかります。
	CHORD MEM SW	パネルの [CHORD MEMORY] ボタンを押したのと同様の効果がかかります。
	DEC	パネルの [DEC] ボタンを押したのと同様の効果がかかります。

パラメーター	設定値	説明
Pedal1、2 Assign	INC	パネルの [INC] ボタンを押したのと同様の効果がかかります。
	VOCODER SW	ボコーダーをオン/オフします。
	VTW ROTARY SPEED	SLOW/FAST を交互に切り替えます。
	VTW ROTARY BRAKE	ロータリー・エフェクトのブレーキ状態を交互に切り替えます。
	VTW ROTARY SW	ロータリー・エフェクトを ON / OFF できます。
	VTW OVERDRIVE SW	オーバードライブを ON / OFF できます。
	VTW WHEEL BRAKE	トーンホイールのブレーキ状態を交互に切り替えます。
VTW VIB/CHO SW	ビブラートとコーラスを ON / OFF できます。	
Pedal1、2 Range Min	0 ~ 127	割り当てた機能の可変範囲の下限値を設定します。
Pedal1、2 Range Max	0 ~ 127	割り当てた機能の可変範囲の上限値を設定します。

KNOB

パラメーター	設定値	説明
Knob/Slider Func Select		コントロールつまみとスライダの機能を設定します。
Knob1 ~ 8 Assign		コントロールつまみでコントロールする機能を設定します。
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、33 ~ 95
	BEND	ピッチ・バンド・レバーを倒したのと同様の効果がかかります。
	AFT	アフタータッチ
Knob1 ~ 8 Range Min	0 ~ 127	割り当てた機能の可変範囲の下限値を設定します。
Knob1 ~ 8 Range Max	0 ~ 127	割り当てた機能の可変範囲の上限値を設定します。

SLIDER

パラメーター	設定値	説明
Knob/Slider Func Select		コントロールつまみとスライダの機能を設定します。
Slider1 ~ 8 Assign		スライダでコントロールする機能を設定します。
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、33 ~ 95
	BEND	ピッチ・バンド・レバーを倒したのと同様の効果がかかります。
	AFT	アフタータッチ
Slider1 ~ 8 Range Min	0 ~ 127	割り当てた機能の可変範囲の下限値を設定します。

パラメーター	設定値	説明
Slider1 ~ 8 Range Max	0 ~ 127	割り当てた機能の可変範囲の上限値を設定します。

S1/S2

パラメーター	設定値	説明
S1、S2 Switch Assign		[S1]、[S2] ボタンでコントロールする機能を設定します。
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、33 ~ 95
	BEND DOWN	ピッチ・バンド・レバーを左に倒したのと同様の効果がかかります。
	BEND UP	ピッチ・バンド・レバーを右に倒したのと同様の効果がかかります。
	AFT	アフタータッチ
	MONO/POLY	モノ/ポリの切り替えを割り当てます。
	MFX SW	MFX のオン/オフを割り当てます。
	EQ SW	EQ のオン/オフを割り当てます。
	IFX1 SW	IFX1 のオン/オフを割り当てます。
	IFX2 SW	IFX2 のオン/オフを割り当てます。
	CHORUS SW	CHORUS のオン/オフを割り当てます。
	REVERB SW	REVERB のオン/オフを割り当てます。
	MASTER COMP SW	MASTER COMP のオン/オフを割り当てます。
	MASTER EQ SW	MASTER EQ のオン/オフを割り当てます。
	VOCODER SW	ボコーダーをオン/オフします。
	SCENE DOWN	シーンを、前のナンバーに切り替えます。シーン・チェイン使用時は、チェイン・セット内の前のナンバーに切り替えます。
	SCENE UP	シーンを、次のナンバーに切り替えます。シーン・チェイン使用時は、チェイン・セット内の次のナンバーに切り替えます。
	DEC	パネルの [DEC] ボタンを押したのと同様の効果がかかります。
	INC	パネルの [INC] ボタンを押したのと同様の効果がかかります。
START/STOP	シーケンサーの再生/停止をします。	
GROUP PLAY DOWN	グループ・リストの 1 つ前のグループを選びます。	
GROUP PLAY UP	グループ・リストの次のグループを選びます。	
SONG LOOP SW	ソングのループをオン/オフします。	
TFX SW	TFX をオン/オフします。	
MASTER KEY DOWN	Master Key Shift の値を -1 します。	

シーン・パラメーター(Scene)

パラメーター	設定値	説明
S1、S2 Switch Assign	MASTER KEY UP	Master Key Shift の値を +1 します。
	SCALE TUNE SW	SCALE TUNE をオン/オフします。
	VTW ROTARY SPEED	SLOW/FAST を交互に切り替えます。
	VTW ROTARY BRAKE	ロータリー・エフェクトのブレーキ状態を交互に切り替えます。
	VTW ROTARY SW	ロータリー・エフェクトを ON / OFF できます。
	VTW OVERDRIVE SW	オーバードライブを ON / OFF できます。
	VTW WHEEL BRAKE	トーンホイールのブレーキ状態を交互に切り替えます。
	VTW VIB/CHO SW	ビブラートとコーラスを ON / OFF できます。
S1、S2 Switch Mode		ボタンの動作を設定します。
	MOMENTARY	ボタンを押している間だけ設定した効果が有効になります。
	LATCH	ボタンを押すたびに効果が切り替わります。

パラメーター	設定値	説明
Vocoder Zone Select (Zone1 ~ Zone16)	OFF、ON	<ul style="list-style-type: none"> ボコーダーのキャリアとして使用するゾーンを設定します。ON にしたゾーンは、ボコーダーのキャリアとして使われます。 複数選択する場合は、各 ZONE INT/EXT ボタンの ON / OFF 状態を合わせる必要があります。

SONG

パラメーター	設定値	説明
SEQUENCE TYPE	SEQ、SMF PLAYER	SEQUENCER と SMF PLAYER のどちらを使用するかを設定します。

WHEEL1/2

パラメーター	設定値	説明
Wheel1 ~ 2 Assign		ホイールでコントロールする機能を設定します。
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、33 ~ 95
	BEND	ピッチ・ベンド・レバーを倒したのと同様の効果がかかります。
	AFT	アフタータッチ
Wheel1 ~ 2 Range Min	0 ~ 127	割り当てた機能の可変範囲の下限値を設定します。
Wheel1 ~ 2 Range Max	0 ~ 127	割り当てた機能の可変範囲の上限値を設定します。

VOCODER

パラメーター	設定値	説明
Vocoder Switch	OFF、ON	ボコーダーをオン/オフします。
Vocoder Setting Bank	PRESET、USER	VOCODER SETTING のバンクを選びます。
Vocoder Setting Number	PRESET : 001 ~ 010、USER : 001 ~ 020	VOCODER SETTING のナンバーを選びます。

シーン・エフェクト・パラメーター (SCENE EFFECT)

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。

2. < EFFECTS EDIT > にタッチします。

EFFECTS EDIT 画面が表示されます。

3. エディットしたいセクションの< EDIT > にタッチします。

4. カーソルを目的のパラメーターに合わせて、設定値を変更します。

注意

エディットした各種エフェクトは一時的なものです。電源を切ると消えてしまいます。設定を残しておきたいときは、システム設定を保存してください。

コーラス (Chorus)

パラメーター	設定値	説明
Chorus Type	コーラスのタイプを選びます。	
Chorus Switch	OFF、ON	コーラスのオン/オフを設定します。
Chorus Level	0 ~ 127	コーラスをかけた音の出力レベルを設定します。
Reverb Send Level	0 ~ 127	リバーブへのセンド・レベルを設定します。
Chorus Output Assign	コーラスの出力先を選びます。	
	MAIN	Master Output に送ります。
	SUB	SUB OUT 端子に送ります。
コーラス・パラメーター	選んだコーラスのパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、Chorus Type で設定したコーラスの種類によって異なります。	

コーラス・パラメーター

Chorus

ステレオ仕様のコーラスです。

パラメーター	設定値	説明
Rate	0 ~ 127	揺れの周期を調節します。
Depth	0 ~ 127	揺れの深さを調節します。
Feedback	0 ~ 127	コーラスの音を入力に戻すレベルを調節します。

CE-1

BOSS 往年のコーラス・エフェクターの名機 CE-1 のモデリングです。アナログ独特の温かみのあるコーラス・サウンドです。

パラメーター	設定値	説明
Intensity	0 ~ 127	コーラスのかかり具合を調節します。

SDD-320

ローランドの DIMENSION D (SDD-320) のモデリングです。さわやかなコーラス・サウンドです。

パラメーター	設定値	説明
Mode	1 ~ 4、1+4、2+4、3+4	モードを切り替えます。

Delay

ステレオ仕様のディレイです。

パラメーター	設定値	説明
Delay (sync sw)	OFF、ON	ON のとき、テンポに同期します。
Delay (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Delay (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合を調節します (マイナス: 逆相)。
HF Damp	200 ~ 8000 [Hz]、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS : カットしない)。

T-Ctrl Delay

ディレイ・タイムをなめらかに変化させることができるディレイです。

パラメーター	設定値	説明
Delay (sync sw)	OFF、ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。
Delay (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Delay (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Acceleration	0 ~ 15	ディレイ・タイムを変化させた場合、現在のディレイ・タイムから指定のディレイ・タイムに達するまでの時間を調節します。ディレイ・タイムと同時にピッチ変化の速さも変わります。
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合を調節します (マイナス: 逆相)。
HF Damp	200 ~ 8000 [Hz]、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS : カットしない)。

Delay → Tremolo

ディレイ音にトレモロがかかります。

パラメーター	設定値	説明
Input Mode	MONAURAL	入力をモノ・ミックスします。
	STEREO	ステレオで入力します。
Delay (sync sw)	OFF、ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。

シーン・エフェクト・パラメーター (SCENE EFFECT)

パラメーター	設定値	説明
Delay (msec) Delay (note)	1 ~ 1300 [msec] 音符 → [音符] (P.103)	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合を調節します (マイナス: 逆相)。
HF Damp	200 ~ 8000 [Hz]、 BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS : カットしない)。
Tremolo Switch	OFF、ON	トレモロ効果のオン/オフを設定します。
Tremolo Mod Wave	定位の変化のしかた	
	TRI	三角波
	SQR	矩形波
	SIN	正弦波
	SAW1	のこぎり波
	SAW2	
TRP	台形波	
Tremolo Rate (sync sw)	OFF、ON	ON のとき、トレモロがテンポに同期します。
Tremolo Rate (Hz) Tremolo Rate (note)	0.05 ~ 10.00 [Hz] 音符 → [音符] (P.103)	トレモロのかかる周期を調節します。
Tremolo Depth	0 ~ 127	トレモロのかかる深さを調節します。

2Tap Pan Delay

お好みの 2 方向にディレイ音が鳴らせます。

パラメーター	設定値	説明
Delay (sync sw)	OFF、ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。
Delay (msec) Delay (note)	1 ~ 1300 [msec] 音符 → [音符] (P.103)	原音が鳴ってから 2 番目のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合を調節します (マイナス: 逆相)。
HF Damp	200 ~ 8000 [Hz]、 BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS : カットしない)。
Delay 1 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 1 の定位を調節します。
Delay 2 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 2 の定位を調節します。
Delay 1 Level	0 ~ 127	ディレイ 1 の音量を調節します。
Delay 2 Level	0 ~ 127	ディレイ 2 の音量を調節します。

3Tap Pan Delay

お好みの 3 方向にディレイ音が鳴らせます。

パラメーター	設定値	説明
Delay (sync sw)	OFF、ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。

パラメーター	設定値	説明
Delay (msec) Delay (note)	1 ~ 2600 [msec] 音符 → [音符] (P.103)	原音が鳴ってから 3 番目のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Delay1 Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合を調節します (マイナス: 逆相)。
HF Damp	200 ~ 8000 [Hz]、 BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS : カットしない)。
Delay 1 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 1 の定位を調節します。
Delay 2 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 2 の定位を調節します。
Delay 3 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 3 の定位を調節します。
Delay 1 Level	0 ~ 127	ディレイ 1 の音量を調節します。
Delay 2 Level	0 ~ 127	ディレイ 2 の音量を調節します。
Delay 3 Level	0 ~ 127	ディレイ 3 の音量を調節します。

JUNO-106 Chorus

ローランドの JUNO-106 のコーラス部分をモデリングしたものです。

パラメーター	設定値	説明
Mode	I、II、I+II、JX I、 JX II	コーラスの種類 I+II : 同時に 2 つのボタンを押したときの状態です。
Noise Level	0 ~ 127	コーラスによって発生するノイズの音量

リバーブ (Reverb)

パラメーター	設定値	説明
Reverb Type	リバーブのタイプを選びます。	
Reverb Switch	OFF、ON	リバーブのオン/オフを設定します。
Reverb Level	0 ~ 127	リバーブをかけた音の出力レベルを設定します。
Reverb Output Assign	リバーブの出力先を選びます。	
	MAIN	Master Output に送ります。
	SUB	SUB OUT 端子に送ります。
リバーブ・パラメーター	選んだリバーブのパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、Reverb Type で設定したリバーブの種類によって異なります。	

リバーブ・パラメーター

INTEGRA-7 Reverb

パラメーター	設定値	説明
Type	01: ROOM1 02: ROOM2 03: HALL1 04: HALL2 05: PLATE	リバーブのタイプを選びます。 OFF : リバーブ未使用 Room 1/2 : ルーム Hall 1/2 : ホール Plate : プレート
Pre Delay	0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Time	0.1 ~ 10.0 [sec]	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
Density	0 ~ 127	リバーブ音の密度を調節します。
Diffusion	0 ~ 127	リバーブ音の密度の時間変化。値が大きいくほど時間がたつに従って、濃密な音になります。(リバーブタイムを長くした場合に効果がよくあらわれます。)
LF Damp	0 ~ 100	リバーブ音の低域成分を調節します。
HF Damp	0 ~ 100	リバーブ音の高域成分を調節します。
Spread	0 ~ 127	リバーブ音の広がりを調節します。
Tone	0 ~ 127	リバーブ音の音質を調節します。

Warm Hall

パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Time	0.3 ~ 30 [sec]	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
Pre LPF	16 ~ 15000 [Hz]、Bypass	リバーブに入力する音の高域成分をカットする基準周波数を調節します。
Pre HPF	16 ~ 15000 [Hz]、Bypass	リバーブに入力する音の低域成分をカットする基準周波数を調節します。
PreLoop LPF	16 ~ 15000 [Hz]、Bypass	長い残響音の高域成分をカットする基準周波数を調節します。
Diffusion	0 ~ 127	リバーブ音の密度の時間変化を調節します。
HF Damp Freq	1000 ~ 8000 [Hz]	リバーブ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します。
HF Damp Ratio	0.1 ~ 1.0	リバーブ音の高域成分の減衰量を調節します。

Hall

パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。

パラメーター	設定値	説明
Time	0 ~ 127	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
Size	1 ~ 8	部屋／ホール大きさを調節します。
High Cut	160 ~ 12500 [Hz]、BYPASS	最終出力音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS : カットしない)。
Density	0 ~ 127	リバーブ音の密度を調節します。
Diffusion	0 ~ 127	リバーブ音の密度の時間変化値が大きいくほど時間がたつに従って、濃密な音になります (リバーブ・タイムを長くした場合に効果がよくあらわれます)。
LF Damp Freq	50 ~ 4000 [Hz]	リバーブ音の低域成分をカットする基準周波数を調節します。
LF Damp Gain	-36 ~ 0 [dB]	LF ダンプの減衰量を調節します (0: 効果なし)。
HF Damp Freq	4000 ~ 12500 [Hz]	リバーブ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します。
HF Damp Gain	-36 ~ 0 [dB]	HF ダンプの減衰量を調節します (0: 効果なし)。

GS Reverb

パラメーター	設定値	説明
Character	ROOM1 ~ 3、HALL1 ~ 2、PLATE、DELAY、PAN-DELAY	リバーブの種類を選びます。
Pre-LPF	0 ~ 7	リバーブに入力する音の、高域成分の減衰量を調節します。
Time	0 ~ 127	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
Delay Feedback	0 ~ 127	リバーブ音を入力に戻すレベルを調節します。

SRV-2000

パラメーター	設定値	説明
Selection	Roland DIGITAL REVERB SRV-2000 のリバーブの種類を選びます。	
	R0.3 ~ R37	ルーム・リバーブ。値が大きくなるほど部屋の大きさが大きくなります。
	H15 ~ H37	ホール・リバーブ。値が大きくなるほどコンサート・ホールの大きさが大きくなります。
	P-B	プレート・リバーブ。P-A よりも派手なリバーブ音です。
	P-A	プレート・リバーブ。
Pre Delay	0 ~ 160	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Time	1 ~ 990 [msec]	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
HF Damp	0.05 ~ 1.00	リバーブ音の高域成分を調節します。
Density	0 ~ 9	後部残響音の密度を調節します。

シーン・エフェクト・パラメーター (SCENE EFFECT)

パラメーター	設定値	説明
Attack Gain	0 ~ 9	初期反射音のゲインを調節します。
Attack Time	0 ~ 9	初期反射音の時間を調節します。
ER Density	0 ~ 9	初期反射音の密度を調節します。
ER Level	0 ~ 99	初期反射音の音量を調節します。
EQ Low Freq	0.04 ~ 1.00 [kHz]	低域の基準周波数を設定します。
EQ Low Gain	-24 ~ +12 [dB]	低域の増幅／減衰量を調節します。
EQ Mid Freq	0.25 ~ 9.99 [kHz]	中域の基準周波数を設定します。
EQ Mid Gain	-24 ~ +12 [dB]	中域の増幅／減衰量を調節します。
EQ Mid Q	0.2 ~ 9.0	中域の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
EQ Hi Freq	0.80 ~ 9.99 [kHz]	高域の基準周波数を設定します。
EQ Hi Gain	-24 ~ +12 [dB]	高域の増幅／減衰量を調節します。
EQ Hi Q	0.2 ~ 9.0	高域の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。

GM2 Reverb

パラメーター	設定値	説明
Character	SMALL ROOM	リバーブの種類を選びます。
	MEDIUM ROOM	
	LARGE ROOM	
	MEDIUM HALL	
	LARGE HALL PLATE	
Time	0 ~ 127	リバーブ音の余韻の長さを調節します。

SRV-2000 NON-LINEAR

パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0 ~ 160	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Reverb Time	1 ~ 990 [msec]	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
Gate Time	10 ~ 450 [msec]	リバーブ音が鳴り始めてから、リバーブ音を打ち切るまでの時間を調整します。
HF Damp	0.05 ~ 1.00	リバーブ音の高域成分を調節します。
EQ Low Freq	0.04 ~ 1.00 [kHz]	低域の基準周波数を設定します。
EQ Low Gain	-24 ~ +12 [dB]	低域の増幅／減衰量を調節します。
EQ Mid Freq	0.25 ~ 9.99 [kHz]	中域の基準周波数を設定します。
EQ Mid Gain	-24 ~ +12 [dB]	中域の増幅／減衰量を調節します。
EQ Mid Q	0.2 ~ 9.0	中域の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
EQ Hi Freq	0.80 ~ 9.99 [kHz]	高域の基準周波数を設定します。
EQ Hi Gain	-24 ~ +12 [dB]	高域の増幅／減衰量を調節します。
EQ Hi Q	0.2 ~ 9.0	高域の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。

IFX1 / IFX2

パラメーター	設定値	説明
IFX1 Type IFX2 Type		IFX のタイプを選びます。
IFX1 Switch IFX2 Switch	OFF、ON	IFX のオン/オフを設定します。
IFX1 Chorus Send Level IFX2 Chorus Send Level	0 ~ 127	コーラスのかかり具合を設定します。 コーラスをかけないときは 0 に設定 します。
IFX1 Reverb Send Level IFX2 Reverb Send Level	0 ~ 127	リバーブのかかり具合を設定します。 リバーブをかけないときは 0 に設定 します。
IFX Structure	PARALLEL、 SERIAL	2 つの IFX の組み合わせを設定し ます。 PARALLEL : IFX1 と IFX2 を並列に 使います。 SERIAL : IFX1 の出力を IFX2 に接 続して使います。
IFX1 Output Assign IFX2 Output Assign		IFX の出力先を選びます。 ※ IFX Structure で SERIAL を選んでいる場合は IFX1 Output Assign の値は無効です。
	MAIN	Master Output に送ります。
	SUB	SUB OUT 端子に送ります。
IFX パラ メーター		選んだ IFX のパラメーターを設定します。選べるパ ラメーターは、IFX Type で設定したエフェクトの種 類によって異なります。 → [IMFX/IFX パラメーター] (P.57)

VOCODER SETTING

パラメーター	設定値	説明
Carrier Level	0 ~ 127	キャリアの入力レベルを調節します。
Envelope		発音の種類を選びます。
	SHARP	人間の声が強調されます。
	SOFT	楽器の音が強調されます。
	LONG	余韻の長いビンテージ・サウンドが 得られます。
Mic Sens	0 ~ 127	マイクの入力感度を調節します。
Mic HPF	BYPASS、 200 ~ 8000 [Hz]	マイク音声にかけるハイ・パス・フィ ルター (HPF) のカットオフ周波数を 設定します。
Mic Mix Level	0 ~ 127	Mic HPF を通ったマイク音声を、ボ コーダーの出力に加える量を調節し ます。
Level	0 ~ 127	ボコーダーを通した音の出力レベル を調節します。
Stereo Switch	MONO、 STEREO	STEREO に設定すると、ボコーダー をステレオ出力します。(※ステレオ のキャリア入力に対して有効です。)
Vocoder Type	13Band、 20Band 32Band	Voice Character Control の Band 数を切り替えます。
Voice Character Control (最大 32 バンド)	0 ~ 127	Band ごとに値を調節して、ボコー ダーの音色を変化させます。

ゾーン・パラメーター (Zone)

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。

2. < ZONE EDIT >にタッチします。

ZONE EDIT 画面が表示されます。

3. エディットしたいセクションのタブにタッチします。

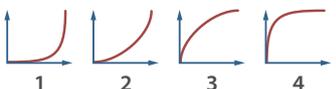
4. カーソルを目的のパラメーターに合わせて、設定値を変更します。

注意

エディットしたパラメーターは一時的なものです。電源を切ると消えてしまいます。設定を残しておきたいときは、シーンを保存してください。

INT (INTERNAL)

TONE

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
TYPE	VTW、SN-A、SN-AP、SN-EP、MODEL、Z-Core、Drum	トーンのタイプを選びます。 EXSN、MODEL の EXPANSION が追加されている場合は対応した BANK を選ぶことができます。 ※ VTW は ZONE2 のみで使用できます。 ※ SN-AP、SN-EP、MODEL は EXPANSION が追加されているときのみ選ぶことができます。
	トーンのバンクを選びます。	
BANK	PRESET、USER	VTW トーン
	PRESET、USER	SN-A トーン
	PRESET、USER	SN-EP トーン
	PR-A ~ PR-E、CMN、USER	Z-Core トーン
	PR-A、CMN、USER	Drum トーン
TONE	(Tone number / Tone name)	トーンを選びます。
Velocity Curve Type	OFF、1 ~ 4	ゾーンごとに、MIDI キーボードの鍵盤タッチに最適なペロシティー・カーブを次の 4 種類の中から選びます。本体鍵盤のペロシティー・カーブで発音するときは、「OFF」に設定します。 

パラメーター	設定値	説明
Zone Output Assign	MAIN	Master Output に送ります。
	IFX1、IFX2	IFX1、IFX2 に送ります。
	SUB	SUB OUT 端子に送ります。

LEVEL/PAN

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
LEVEL	0 ~ 127	各ゾーンの音量を設定します。
PAN	L64 ~ 0 ~ 63R	ステレオ出力するときの、各ゾーンの音の定位を設定します。
Zone Chorus Send Level	0 ~ 127	コーラスへのセンド・レベルを設定します。
Zone Reverb Send Level	0 ~ 127	リバーブへのセンド・レベルを設定します。
Zone Receive Switch	OFF、ON	各ゾーンの受信のオン/オフを設定します。
Receive Channel	1 ~ 16	各ゾーンに割り当てる MIDI チャンネルを設定します。

KEY RANGE

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Keyboard Control Range Lower	C-1 ~ G9	各ゾーンの鍵域 (キー・レンジ) を設定します。 鍵域によってトーンを弾き分けるときなどに設定します。
Keyboard Control Range Upper	C-1 ~ G9	設定する鍵域の下限 (Lower) と、上限 (Upper) を指定します。

VEL RANGE

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。

パラメーター	設定値	説明
Zone Velocity Sens Offset	-63 ~ +63	ペロシティーの感度を調節します。値を大きくするほど、感度が高くなります。
Velocity Max	1 ~ 127	鍵盤を弾いたときのペロシティーの最大値を設定します。 値を小さくすると、鍵盤を強く弾いても音量があまり大きくなりません。 ※トーンによっては、この設定が無効なものがあります。
Zone Velocity Range Lower	1 ~ 127	トーンの鳴るペロシティーの下限 (Lower) と、上限 (Upper) を設定します。
Zone Velocity Range Upper	1 ~ 127	鍵盤を強く強さでトーンを鳴らし分けたいときに設定します。
Zone Velocity Fade Width Lower	0 ~ 127	トーンが Zone Velocity Range Lower より弱く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は [0] にします。
Zone Velocity Fade Width Upper	0 ~ 127	トーンが Zone Velocity Range Upper より強く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は [0] にします。

EQ (Zone EQ)

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Switch	OFF、ON	ゾーン EQ (ゾーンごとにかけるイコライザー) を、使う (ON) か使わない (OFF) かを設定します。
EQ Input Gain	-24 ~ +24 [dB]	EQ への入力増幅/減衰量を調節します。
Low Gain	-24 ~ +24 [dB]	低域の増幅/減衰量を調節します。
Low Freq	20 ~ 16000 [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
Mid Gain	-24 ~ +24 [dB]	中域の増幅/減衰量を調節します。
Mid Q	0.5 ~ 16.0	中域の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
Mid Freq	20 ~ 16000 [Hz]	中域の基準周波数を設定します。
High Gain	-24 ~ +24 [dB]	高域の増幅/減衰量を調節します。
High Freq	20 ~ 16000 [Hz]	高域の基準周波数を設定します。

PITCH

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Zone Transpose	-48 ~ +48	鍵盤から内蔵音源や外部機器に送信するノート・ナンバーをずらします。
Zone Coarse Tune	-48 ~ +48	半音単位でピッチ (音の高さ) を設定します。
Zone Fine Tune	-50 ~ +50	ピッチを 1 セント単位で微調整します。
Zone Bend Range	0 ~ 24、TONE	リボン・コントローラーなどの操作子にピッチ・バンドが割り当てられている場合に、操作子を動かしたときのピッチの変化量を半音単位で設定します (最大 2 オクターブ)。トーンの設定に従うときは TONE にします。
Zone Portamento Switch	OFF、ON、TONE	ポルタメントをかけるかどうかを設定します。ポルタメントをかけるときは ON、かけないときは OFF にします。トーンの設定に従うときは TONE にします。
Zone Portamento Time	0 ~ 127、TONE	ポルタメント演奏時のピッチが変化する時間を設定します。値が大きくなるほど、次の音の高さに移動する時間が長くなります。トーンの設定に従うときは TONE にします。
Octave Shift	-3 ~ +3	鍵盤の音域を 1 オクターブ単位で動かすことができます。

SCALE TUNE

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。

ゾーン・パラメーター (Zone)

パラメーター	設定値	説明
Zone Scale Tune Type	CUSTOM	カスタム : 調律法を設定することができます。
	EQUAL	平均律 : オクターブを均等に 12 分割してできた調律です。どの音程も同じくらいわずかな濁りが生じます。
	JUST-MAJ	純正調 (長) : 5 度と 3 度の濁りをなくした調律です。メロディーの演奏には不向きで転調はできませんが、美しい和音の響きを持ちます。
	JUST-MIN	純正調 (短) : 純正調は長調と短調で調律が異なります。長調のときと同じ効果を短調で得ることができます。
	PYTHAGORE	ピタゴラス音律 : 哲学者ピタゴラスによって考えられた 4 度と 5 度の濁りをなくした調律です。3 度の和音に濁りが生じますが、メロディーはきれいに聴こえます。
	KIRNBERGE	キルンベルガー : 中全音律と純正調を改良し、転調の自由度を高めた調律法です。すべての調での演奏ができます (第三法)。
	MEANTONE	中全音律 : 純正調を一部妥協させて、転調を可能にした音律です。
	WERCKMEIS	ベルクマイスター : 中全音律とピタゴラス音律を組み合わせた調律です。すべての調での演奏ができます (第一技法第三番)。
	ARABIC	アラビア音階 : アラビア音楽に適した調律です。
Zone Scale Tune Key	C ~ B	主音を設定します。
	C ~ B	ピッチを微調整します。

OFFSET

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Zone Cutoff Offset	-64 ~ +63	フィルターの開き具合を調節します。値を大きくすると音が明るくなり、小さくすると暗くなります。
Zone Resonance Offset	-64 ~ +63	カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音にクセを付けます。設定値を上げすぎると、発振して音が歪むことがあります。値が大きくなるとクセが強くなり、小さくすると弱くなります。
Zone Attack Time Offset	-64 ~ +63	キーを押さえてから、音が立ち上がるまでの時間です。値を大きくすると立ち上がりが緩やかに、小さくすると立ち上がりが鋭くなります。
Zone Decay Time Offset	-64 ~ +63	音が立ち上がってから、音量が下がっていくまでの時間です。値を大きくすると音量が下がるまでの時間が長くなり、小さくすると短くなります。
Zone Release Time Offset	-64 ~ +63	キーを離してから、音が消えるまでの場合間です。値を大きくすると余韻の長い音になり、小さくすると歯切れの良い音になります。

VIBRATO

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Zone Vibrato Rate	-64 ~ +63	ビブラートの周期 (音の高さの揺れる速さ) を調節します。値を大きくするほど音の高さの揺れが速くなり、小さくするほど遅くなります。
Zone Vibrato Depth	-64 ~ +63	ビブラート効果の深さ (音の高さを揺らす深さ) を調節します。値を大きくするほど音の高さの揺れ幅が大きくなり、小さくするほど揺れ幅も小さくなります。
Zone Vibrato Delay	-64 ~ +63	ビブラート (音の高さの揺れ) 効果がかかり始めるまでの時間を調節します。値を大きくするほどかかり始めるまでの時間が長くなり、小さくするほど短くなります。

MONO/POLY

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Zone Mono/Poly	MONO、POLY、TONE	ゾーンに割り当てている Tone をモノフォニックで演奏するときは MONO、ポリフォニックで演奏するときは POLY に設定します。トーンの設定に従うときは TONE にします。
Hold Type	STACK	Hold ペダルが踏まれている間 (CC#64 が 64 以上値の場合) に、キー・オフしたすべての発音状態を保持します。
	LEGATO	Hold ペダルが踏まれている間 (CC#64 が 64 以上値の場合) に、新たなキー・オン (単音、または和音) が入力されるまで、キー・オフした音を保持します。
Bend Hold Notes Sw	OFF、ON	Hold ペダルなどによって Hold 中の音に対して、ピッチ・バンドを効かせたくない場合に OFF にします。

パラメーター	設定値	説明
Bend Mode		ピッチ・ベンド・レバー等の、ピッチ・ベンドが割り当てられている操作子を動かしたときの挙動を設定します。
	NORMAL	通常のピッチ・ベンド効果になります。
	C+L (CATCH + LAST)	最後に発音した音 (ノート) にのみ、ピッチ・ベンド効果が有効になります。ピッチ・ベンドした状態でノート・オンした場合、ピッチがセンター (中央) で発音します。操作子の位置がセンター (中央) を通過したときに初めてピッチが変化します。
	TONE	トーンの設定に従います。

PEDAL CTRL

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Control Pedal 1、2	OFF、ON	コントロール・ペダル 1、2 の操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Control Hold Pedal (DAMPER)	OFF、ON	ホールド・ペダルの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。

BEND CTRL

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Control Bender (PITCH BEND)	OFF、ON	ピッチ・ベンド・レバーの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Control Modulation (MODULATION)	OFF、ON	モジュレーション・レバーの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Control Wheel 1 (WHEEL1)	OFF、ON	WHEEL1 を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Control Wheel 2 (WHEEL2)	OFF、ON	WHEEL2 を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。

S1S2 CTRL

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Control S1、S2	OFF、ON	[S1] / [S2] ボタンの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。

ASSIGN KNOB

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Control Knob 1 ~ 8 (KNOB1 ~ 8)	OFF、ON	コントロールつまみ [1] ~ [8] の操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。

ASSIGN SLIDER

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Control Slider 1 ~ 8 (SL1 ~ 8)	OFF、ON	スライダー [1] ~ [8] の操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。

VOICE RESERVE

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。

ゾーン・パラメーター (Zone)

パラメーター	設定値	説明
Voice Assign Mode		同一鍵連打時のボイス・アサインを指定します。
	SINGLE	同一鍵を連打するたびに前の音を消音します。
	LIMITED	一定回数同一鍵を連打されると、同じ音高で発音している複数の音のうち最もレベルの小さい音を消音します。
	FULL	同一鍵を連打しても発音数の許す限り発音します。
Voice Reserve	1 ~ 63、FULL	最大発音数を超える演奏をした場合に、各ゾーンが確保するボイス数を設定します。

MIDI Rx FILTER

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Receive Program Change (PC)	OFF、ON	プログラム・チェンジを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Receive Bank Select (BS)	OFF、ON	バンク・セレクトを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Receive Pitch Bend (PB)	OFF、ON	ピッチ・バンドを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Receive Poly Key Pressure (PA)	OFF、ON	ポリフォニック・アフタータッチを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Receive Channel Pressure (CA)	OFF、ON	チャンネル・アフタータッチを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Receive Modulation (MD)	OFF、ON	モジュレーションを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Receive Volume (VO)	OFF、ON	ボリュームを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Receive Pan (PN)	OFF、ON	パンを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Receive Expression (EX)	OFF、ON	エクスプレッションを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Receive Hold-1 (HD)	OFF、ON	ホールド 1 を受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

EXT (EXTERNAL)

NAME

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Ext Name		EXT ゾーンごとに名前を付けます。

OUT/PC

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
MIDI Tx Port	ALL、OUT、USB	各 EXT ゾーンが送信する MIDI メッセージを出力する端子を設定します。
Tx Channel	1 ~ 16	各 EXT ゾーンが送信する MIDI メッセージの送信チャンネルを設定します。
External Bank MSB (CC#0)	---、0 ~ 127	プログラム・ナンバーやバンク・セレクト MSB / LSB を数値で入力して、外部 MIDI 機器の音色を切り替えます。
External Bank LSB (CC#32)	---、0 ~ 127	設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。[---] を選んでいるときはメッセージを送信しません。
External Program Change (PC)	---、1 ~ 128	設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。[---] を選んでいるときはメッセージを送信しません。

LEVEL/PAN

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
External Volume (CC#7)	---、0 ~ 127	
External Pan (CC#10)	---、L64 ~ 63R	ボリュームやパンなどの MIDI メッセージを外部機器に送信します。
External Chorus Send (CC#93)	---、0 ~ 127	設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。[---] を選んでいるときはメッセージを送信しません。
External Reverb Send (CC#91)	---、0 ~ 127	

KEY RANGE

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Keyboard Control Range Lower	C-1 ~ G9	各 EXT ゾーンでノート・メッセージを送信する鍵域 (キー・レンジ) を設定します。
Keyboard Control Range Upper	C-1 ~ G9	設定する鍵域の下限 (Lower) と、上限 (Upper) を指定します。

VEL RANGE

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Zone Velocity Range Lower	1 ~ 127	各 EXT ゾーンでノート・メッセージを送信するペロシティーの下限 (Lower) と、上限 (Upper) を設定します。
Zone Velocity Range Upper	1 ~ 127	

PITCH

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
TRANSPOSE	-48 ~ +48	鍵盤から内蔵音源や外部機器に送信するノート・ナンバーをずらします。
External Coarse Tune (RPN#2)	---, -48 ~ +48	MIDI メッセージ (Coarse Tune) を外部機器に送信します。 音の高さを半音単位で設定します。 (RPN:00H/02H) (± 4 オクターブ) 設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。「---」を選んでいるときはメッセージを送信しません。

パラメーター	設定値	説明
External Fine Tune (RPN#1)	---, -50 ~ +50	MIDI メッセージ (Fine Tune) を外部機器に送信します。 音の高さを 1 セント単位で設定します。 (RPN:00H/01H) (± 50 セント) 設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。「---」を選んでいるときはメッセージを送信しません。
External Bend Range (RPN#0)	---, -0 ~ 48	MIDI メッセージ (Bend Range) を外部機器に送信します。 ピッチ・ベンド・レバーを動かしたときのピッチの変化量を半音単位で設定します (4 オクターブ) (RPN:00H/00H)。 設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。「---」を選んでいるときはメッセージを送信しません。
External Portamento Sw (CC#65)	---, OFF, ON	MIDI メッセージ (Portamento Sw) を外部機器に送信します。ポルタメント効果をかけるかかけないかを設定します。 設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。 「---」を選んでいるときはメッセージを送信しません。
External Portamento Time (CC#5)	---, 0 ~ 127	MIDI メッセージ (Portamento Time) を外部機器に送信します。ポルタメント演奏で、音の高さが変化する時間を設定します。 設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。 「---」を選んでいるときはメッセージを送信しません。
External Modulation Depth (RPN#5)	---, 0 ~ 127	MIDI メッセージ (Modulation Depth) を外部機器に送信します。 モジュレーション・レバーを向こう側に倒したときの効果のかりかたを設定します。 (RPN:00H/05H) 設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。「---」を選んでいるときはメッセージを送信しません。

OFFSET

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。

ゾーン・パラメーター (Zone)

パラメーター	設定値	説明
External Cutoff Offset (CC#74)		フィルターの開き具合を調節します。値を大きくすると音が明るくなり、小さくすると暗くなります。
External Resonance Offset (CC#71)		カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音にクセを付けます。設定値を上げすぎると、発振して音が歪むことがあります。値が大きくなるとクセが強くなり、小さくすると弱くなります。
External Attack Time Offset (CC#73)	---、0 ~ 127	キーを押さえてから、音が立ち上がるまでの時間です。値を大きくすると立ち上がりが緩やかに、小さくすると立ち上がりが鋭くなります。
External Decay Time Offset (CC#75)		音が立ち上がってから、音量が下がっていくまでの時間です。値を大きくすると音量が下がるまでの時間が長くなり、小さくすると短くなります。
External Release Time Offset (CC#72)		キーを離してから、音が消えるまでの時間です。値を大きくすると余韻の長い音になり、小さくすると歯切れの良い音になります。
		音色を変更する MIDI メッセージを外部機器に送信します。設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。「---」を選んでいるときはメッセージを送信しません。

MONO/POLY

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
External MONO/POLY (CC#126/127)	---、MONO、POLY	MIDI メッセージ (MONO/POLY) を外部機器に送信します。トーンの鳴らしかたを、ポリフォニック (POLY) にするかモノフォニック (MONO) にするかを設定します。設定した値を、シーンを切り替えたときに送信します。「---」を選んでいるときはメッセージを送信しません。

PEDAL CTRL

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。

パラメーター	設定値	説明
Control Pedal 1, 2		CTRL 1、CTRL 2 端子に接続したペダル
Control Hold Pedal (DAMPER)	OFF、ON	HOLD/R 端子に接続したペダル・スイッチ
		各 PEDAL 端子に接続したペダルなどのコントローラーで外部 MIDI 機器をコントロールするか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

BEND CTRL

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Control Bender (PITCH BEND)		ピッチ・バンド・レバー
Control Modulation (MODULATION)	OFF、ON	モジュレーション・レバー
Control Wheel 1 (WHEEL1)		WHEEL1
Control Wheel 2 (WHEEL2)		WHEEL2
		各コントローラーで外部 MIDI 機器をコントロールするか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

S1S2 CTRL

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Control S1, S2	OFF、ON	[S1] / [S2] スイッチ
		[S1]、[S2] スイッチで外部 MIDI 機器をコントロールするか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

ASSIGN KNOB

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。

パラメーター	設定値	説明
Control Knob 1 ~ 8 (KNOB1 ~ 8)	OFF、ON	コントロールつまみ [1] ~ [8]
		コントロールつまみ [1] ~ [8] で外部 MIDI 機器をコントロールするか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

ASSIGN SLIDER

パラメーター	設定値	説明
ZONE	INT	ゾーンを INT ZONE (赤点灯) として使います。
	EXT	ゾーンを EXT ZONE (緑点灯) として使います。
	COMMON	ゾーンを COMMON (消灯) として使います。
Control Slider 1 ~ 8 (SL1 ~ 8)	OFF、ON	スライダー [1] ~ [8]
		スライダー [1] ~ [8] で外部 MIDI 機器をコントロールするか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

ZEN-Core トーン・パラメーター (Z-Core)

1. トーンが割り当てられているゾーンを選びます。
2. [MENU] ボタンを押します。
MENU 画面が表示されます。
3. <TONE EDIT>にタッチします。
TONE EDIT 画面が表示されます。
4. エディットしたいセクションのタブにタッチします。
5. カーソルを目的のパラメーターに合わせて、設定値を変更します。

注意

エディットしたパラメーターは一時的なものです。電源を切ると消えてしまいます。設定を残しておきたいときは、トーンを保存してください。

メモ

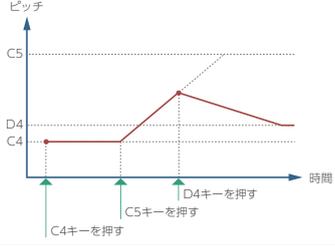
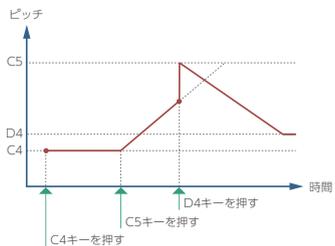
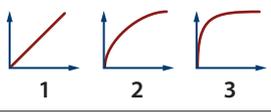
末尾に (ZOOM) の文字が付いているパラメーターは、TONE EDIT ZOOM 画面でもエディットできるパラメーターです。

COMMON

パラメーター	設定値	説明
(Name)	トーン名	
Category	00 ~ 49	トーンのカテゴリーを選びます。
Tone Level	0 ~ 127	トーン全体の音量を調節します。
Tone Pan	L64 ~ 0 ~ 63R	トーンのパンを設定します。「L64」で最も左、「0」で中央、「63R」で最も右に定位します。
Priority	最大同時発音数を超えたときにどのように発音するかを設定します。	
	LAST	あとから鳴るボイスを優先し、現在鳴っているボイスのうち先に鳴ったものから順に消していきます。
	LOUDEST	音量の大きいボイスを優先し、現在鳴っているボイスのうち音量の小さいものから順に消していきます。
Coarse Tune	-48 ~ +48 [semitone]	音の高さを半音単位 (±4 オクターブまで) で設定します。
Fine Tune	-50 ~ +50 [cent]	音の高さを 1 セント単位 (±50 セントまで) で設定します。
Octave Shift	-3 ~ +3	トーンの音の高さをオクターブ単位 (±3 オクターブまで) で設定します。

パラメーター	設定値	説明
Stretch Tune Depth	OFF、1 ~ 3	<p>高音域はより高く、低音域はより低くというピアノの独特の調律手法 (ストレッチ・チューニング) でピッチを設定します。「OFF」にすると平均律になり、「3」にすると高音域と低音域のピッチ変化が最も大きくなります。</p> <p>図は横軸に音域、縦軸に平均律に対するピッチ変化としたもので、設定によって和音の響きが微妙に変わります。</p>
Analog Feel (ZOOM)	0 ~ 127	発音しているトーンの音の高さや音量を時間変化させ、揺らぎを与えます。値を大きくするほど、揺らぎの量が多くなり不安定になります。
Mono/Poly (ZOOM)	トーンの鳴らしかたをポリフォニック (POLY) にするか、モノフォニック (MONO) にするかを設定します。	
	MONO	1 音ずつ最後に押したキーの音だけを鳴らせます。
	POLY	複数の音を同時に鳴らせます。
Unison Switch (ZOOM)	OFF、ON	<p>1 つの音色を重ねる機能です。ユニゾン ON にすると押さえるキーの数に応じて、1 キーに対して重なる音の数が増えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OSC Type が PCM のときはモノ発音に限定されます。 • Legato Switch を ON にしている場合、レガート中は Delay Time が無効になります。 • Legato Retrigger Interval を設定していても、動作は OFF になります。
Unison Size	2 ~ 8	ユニゾン ON のときの、押さえるキー 1 つに対して割り当てられる、音の数を設定します。Unison Size を増やすと発音数が増えるため、音切れしやすくなります。
Unison Detune	0 ~ 100	Unison Size の数で割り当てられた各音のチューニングをずらして、デチューン効果を出します。値が大きいほど、各音のチューニングがずれていき、厚みのある音になります。
Legato Switch (ZOOM)	OFF、ON	<p>MONO/POLY が MONO に設定されている状態で、Legato Switch を ON にしたときに有効になります。あるキーを押しながら、他のキーを押すような演奏 (レガート演奏) をしたときに、なめらかに音高を変化させることができます。</p> <p>変化のさせかたは、Legato Retrigger Interval によって変わります。</p>

パラメーター	設定値	説明
Legato Retrigger Interval	0 ~ 12、OFF	<p>Legato Switch が有効になっていて、レガート演奏する際に、再発音するか (0 ~ 12)、しないか (OFF) を設定します。</p> <p>OFF の場合は、現在発音しているトーンの音高のみ、キーの高さに応じて変化します。</p> <p>1 ~ 12 に設定した場合は、レガート演奏の音高差が設定値を超えたときになめらかに再発音します。</p> <p>たとえば 4 と設定した場合、C4 を基準音高として、Db4 ~ E4 までのレガート演奏は再発音せずピッチのみ変化しますが、C4 から 5 半音離れた F4 にレガートする際に F4 が再発音します。</p> <p>このとき、F4 で再発音すると、今度は F4 がレガートの基準音高になります。</p> <p>0 に設定した場合は、音高差に関係なく毎回、再発音する動作になります。</p> <p>特にアコースティック系の音色では、ピッチのみ変化させても不自然になるので、Legato Retrigger Interval を調整する必要があります。</p>
	OFF、ON	<p>ポルタメント効果をかけるか (ON)、かけないか (OFF) を設定します。</p> <p>※ ポルタメントとは、最初に弾いたキーと次に弾いたキーとの間の音程を、なめらかに変化させる効果です。MONO/POLY が「MONO」のときにポルタメントをかけると、バイオリンなどのスライド奏法のような効果が得られます。</p>
Portamento Mode	NORMAL	ポルタメント効果をかける演奏方法を設定します。 常にポルタメントがかかります。
	LEGATO	レガート奏法 (あるキーを押しながら他のキーを押す) のときにだけポルタメントがかかります。
Portamento Type	RATE	ポルタメント効果の種類を設定します。 音程に比例してピッチの変化時間が変わります。
	TIME	音程に関係なく、一定の時間でピッチが変わります。

パラメーター	設定値	説明
Portamento Start	Pitch	<p>現在のポルタメントの途中でキーを押したときに、次のポルタメントが始まるピッチを設定します。</p> <p>次のピッチに変化していく途中で他のキーが押されたとき、押された時点のピッチから新たなポルタメントが始まります。</p> 
	NOTE	<p>次のピッチに変化していく途中で他のキーが押されたとき、押された時点のピッチが変化終了時のピッチに変わって、新たなポルタメントが始まります。</p> 
Portamento Time	0 ~ 1023	ポルタメント演奏で、音の高さが変化する時間を設定します。値が大きくなるほど、次の音の高さに移動する時間が長くなります。
Portamento Curve Type	1、2、3	ポルタメント効果の変化のしかたを設定します。 
Bend Range Up	0 ~ 48 [semitone]	ピッチ・バンド・レバーを最も右に傾けたときの変化量を半音単位で設定します。たとえば、「48」に設定してピッチ・バンド・レバーを右側いっぱい傾けると、ピッチが 4 オクターブ上がります。
Bend Range Down	0 ~ 48 [semitone]	ピッチ・バンド・レバーを最も左に傾けたときの変化量を半音単位で設定します。たとえば、「48」に設定してピッチ・バンド・レバーを左側いっぱい傾けると、ピッチが 4 オクターブ下がります。
Bend Range Fine Up	0 ~ 100 [cent]	ピッチ・バンド・レバーを右に傾けたときの変化量をセント単位で微調整します。
Bend Range Fine Down	0 ~ 100 [cent]	ピッチ・バンド・レバーを左に傾けたときの変化量をセント単位で微調整します。

パラメーター	設定値	説明
Bend Mode	NORMAL	通常のピッチ・ベンド・レバー効果になります。
	CATCH+LAST	最後に発音した音（ノート）にのみ、ピッチ・ベンド効果が有効になります。 ピッチ・ベンドした状態でノート・オンした場合、ピッチがセンター（中央）で発音します。 操作子の位置がセンター（中央）を通過したときに初めてピッチが変化します。
Soft Level Sens	0 ~ 100	ソフトペダル（CC#67）を変化させたときの音量変化具合を設定します。 ピアノ音色で設定すると効果があります。
ADSR Switch (ZOOM)	OFF、ON	アナログ・シンセサイザーに搭載されている、ADSR Envelope 動作を模擬します。 ADSR Switch が ON になっているときは、Pitch/Filter/Amp Env Time の Time2 が無効、Pitch/Filter/Amp Env Level の Level3 のみが有効になります。

STRUCTURE

Structure は、2 つのパーシャルを 1 組にして発音することができます。

パーシャル 1 または 3（キャリア）に対して、他方のパーシャル 2 または 4（モジュレーター）で変調することによって、幅広い音色を作成することができます。

Structure は 2 つのパーシャルをペアで使用するため、キャリア、モジュレーターで共通に扱うパラメーターがあります。

以下のパラメーターについては、キャリア側のパーシャル設定のみが有効になります（モジュレーターの設定は無効になります）。

KEYBOARD

- Keyboard Range Lower
- Keyboard Range Upper
- Keyboard Fade Width Lower
- Keyboard Fade Width Upper
- Velocity Range Lower
- Velocity Range Upper
- Velocity Fade Width Lower
- Velocity Fade Width Upper

SWITCH

- Partial Switch

OSC

- Delay Mode (note)
- Delay Mode
- Delay Time Sync
- Delay Time (note)
- Delay Time

CONTROL

- Envelope Mode
- Receive Hold-1
- Redamper Switch
- Damper Free Note

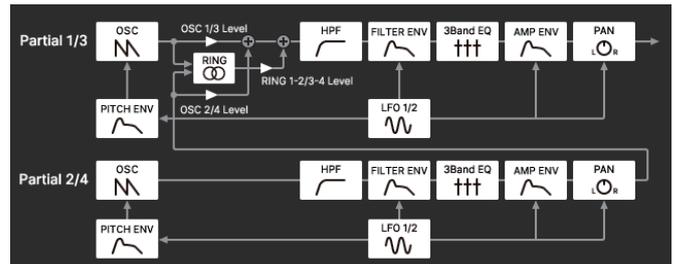
MATRIX CONTROL

- Destination : PMT
- Destination : CROSS-MOD

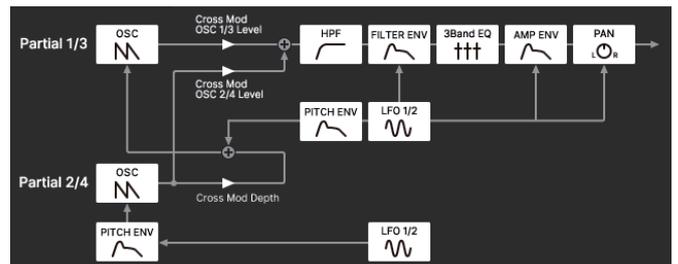
パラメーター	設定値	説明	
Structure1-2 (ZOOM)	パーシャル 1 の発音をパーシャル 2 で変調します。		
	OFF	オフ	
	SYNC	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているオシレーター・シンク機能を実現したものです。 Partial2 のピッチの周期で Partial1 のオシレーターをリセットします。 OSC Type が VA または PCM-Sync のときのみ有効。	
Structure1-2 (ZOOM)	RING	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているリング・モジュレーターを実現したものです。 Partial2 の出音を Partial1 に掛け合わせます。	
	XMOD、XMOD2	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているクロス・モジュレーション機能を実現したものです。 Partial2 の出音を Partial1 のピッチとして与えます。 XMOD2 では、Partial1、3 で OSC Type が VA のときのみ有効。	
	パーシャル 3 の発音をパーシャル 4 で変調します。		
Structure3-4 (ZOOM)	OFF	オフ	
	SYNC	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているオシレーター・シンク機能を実現したものです。 Partial4 のピッチの周期で Partial3 のオシレーターをリセットします。 OSC Type が VA または PCM-Sync のときのみ有効。	
	RING	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているリング・モジュレーターを実現したものです。 Partial4 の出音を Partial3 に掛け合わせます。	
Structure3-4 (ZOOM)	XMOD、XMOD2	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているクロス・モジュレーション機能を実現したものです。 Partial4 の出音を Partial3 のピッチとして与えます。 XMOD2 では、Partial1、3 で OSC Type が VA のときのみ有効。	
	RING1-2 Level (ZOOM)	0 ~ 127	Structure1-2 が RING のときの RING レベル。
	RING3-4 Level (ZOOM)	0 ~ 127	Structure3-4 が RING のときの RING レベル。
RING OSC1 Level (ZOOM)	0 ~ 127	Structure1-2 が RING の場合に有効。 Partial1 の OSC レベル。	

パラメーター	設定値	説明
RING OSC2 Level (ZOOM)	0 ~ 127	Structure1-2 が RING の場合に有効。 Partial2 の OSC レベル。
RING OSC3 Level (ZOOM)	0 ~ 127	Structure3-4 が RING の場合に有効。 Partial3 の OSC レベル。
RING OSC4 Level (ZOOM)	0 ~ 127	Structure3-4 が RING の場合に有効。 Partial4 の OSC レベル。
XMOD 1-2 Depth (ZOOM)	0 ~ 9600 [cent]	Structure1-2 が XMOD の場合の Cross Modulation のかかる深さ。
XMOD 3-4 Depth (ZOOM)	0 ~ 9600 [cent]	Structure3-4 が XMOD の場合の Cross Modulation のかかる深さ。
XMOD2 1-2 Depth (ZOOM)	0 ~ 127	Structure1-2 が XMOD2 の場合の Cross Modulation のかかる深さ。
XMOD2 3-4 Depth (ZOOM)	0 ~ 127	Structure3-4 が XMOD2 の場合の Cross Modulation のかかる深さ。
XMOD OSC1 Level (ZOOM)	0 ~ 127	Structure1-2 が XMOD / XMOD2 の場合に有効。Partial1 の OSC レベル。
XMOD OSC2 Level (ZOOM)	0 ~ 127	Structure1-2 が XMOD / XMOD2 の場合に有効。Partial2 の OSC レベル。
XMOD OSC3 Level (ZOOM)	0 ~ 127	Structure3-4 が XMOD / XMOD2 の場合に有効。Partial3 の OSC レベル。
XMOD OSC4 Level (ZOOM)	0 ~ 127	Structure3-4 が XMOD / XMOD2 の場合に有効。Partial4 の OSC レベル。
Partial Phase Lock	OFF、ON	OSC Type が VA のときに有効で、Partial 間で波形の位相をロックします。XMOD2 で使用すると効果的です。

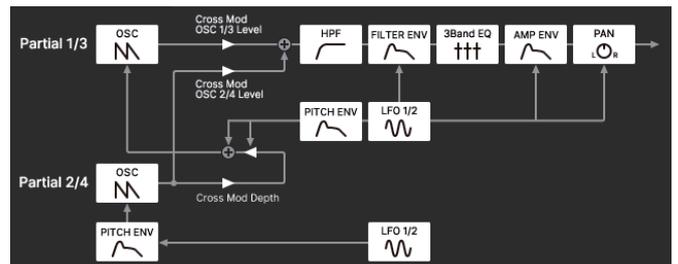
RING



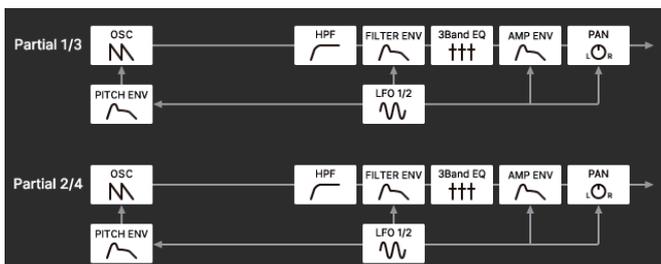
XMOD



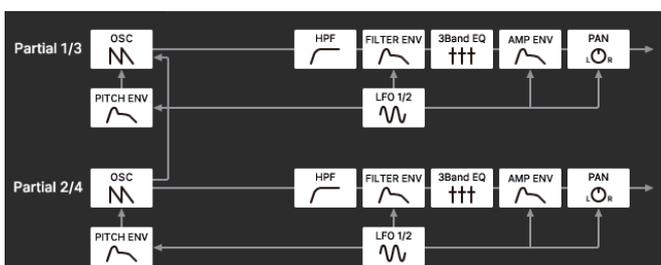
XMOD2



OFF

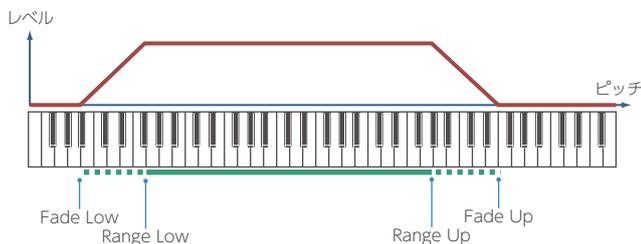


SYNC



KEYBOARD

パラメーター	設定値	説明
Velocity Control	OFF、ON、RANDOM、CYCLE	<p>鍵盤を弾く強さ（ベロシティ）でパーシャルの鳴らし分けを設定します。</p> <p>[ON] に設定すると、Velocity Range Lower/Upper、Velocity Fade Lower/Upper で設定した値と、ベロシティに応じて鳴らし分けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「RANDOM」、[CYCLE] の場合は、それぞれ各パーシャルがランダム、または巡回的に発音します。 「RANDOM」、[CYCLE] の場合で、Structure 1-2 (3-4) が OFF 以外に設定されている場合は、パーシャル 1 と 2 (3 と 4) がペアでランダム、または巡回的に発音します。 「RANDOM」、[CYCLE] の場合、ベロシティは関係なくなりますが、各パーシャルで Velocity Range が被らないように設定する必要があります。
PMT Level Curve	EXP	Velocity Control で鳴らし分ける際の Partial のクロスフェード・レベルを非線形カーブで変化させます。
	LINEAR	Velocity Control で鳴らし分ける際の Partial のクロスフェード・レベルを線形カーブで変化させます。



パラメーター	設定値	説明
Key Range Low	C- ~ G9	各パーシャルの鍵域（キー・レンジ）を設定します。
Key Range Up	C- ~ G9	鍵域によってトーンを弾き分けるときなどに設定します。
Key Range Fade Low	0 ~ 127	パーシャルが Key Range Low より低く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Key Range Fade Up	0 ~ 127	パーシャルが Key Range Up より高く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。

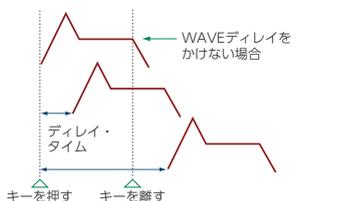
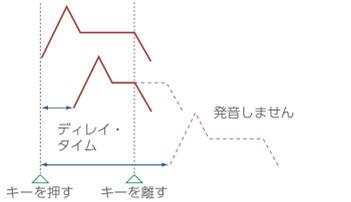


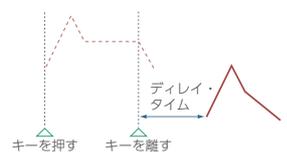
パラメーター	設定値	説明
Velocity Range Low	1 ~ 127	パーシャルの鳴るベロシティの下限 (Lower) と、上限 (Upper) を設定します。
Velocity Range Up	1 ~ 127	鍵盤を弾く強さでパーシャルを鳴らし分けたいときに設定します。
Velocity Fade Low	0 ~ 127	パーシャルが Velocity Range Low より弱く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Velocity Fade Up	0 ~ 127	パーシャルが Velocity Range Up より強く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。

OSC

パラメーター	設定値	説明
OSC Type (ZOOM)		オシレーター・タイプを設定します。
	PCM	PCM 発音をします。Wave Group、Wave Number L/R で指定された番号の Wave を発音します。
	VA	演算によりアナログ・モデリング Wave を生成します。Waveform で指定された番号の Wave を発音します。
	PCM-Sync	PCM-Sync Wave Number で指定された波形の Wave を発音します。
	SuperSAW	SuperSAW を発音します。
	Noise	WhiteNoise を発音します。
Wave Group		OSC Type が PCM のときに発音する Wave グループを設定します。
	INT	内蔵の Wave を使います。
	EXP	EXPANSION の Wave を使います。
	SAMP	サンプルを Wave として使います。
Wave Bank (ZOOM)		OSC Type が PCM のときに発音する Wave グループのバンクを設定します。
	A、B、C、D	
Wave Number L (ZOOM)		Wave Group で指定された Group 内の Wave 番号を指定します。モノで使用する場合は、左側 (L) だけを指定します。ステレオで使用する場合は、右側 (R) も指定します。
Wave Number R (ZOOM)		モノで発音する場合は Wave Number L だけ設定して Wave Number R は 0 : OFF にしておきます。Wave Number R だけ設定しても発音しません。

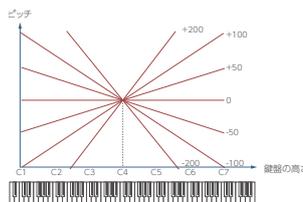
パラメーター	設定値	説明
Waveform (ZOOM)	OSC Type が VA のときに発音する Wave を設定します。	
	SAW	のこぎり波
	SQR	矩形波
	TRI	三角波
	SIN	サイン波
	RAMP	傾斜波
	JUNO	変調のこぎり波
	TRI2	三角波のバリエーション
	TRI3	三角波のバリエーション
	SIN2	サイン波のバリエーション
Waveform Invert Sw	OFF、ON	ON にすると VA 波形の位相が反転します。
PCM-Sync Wave No. (ZOOM)	OSC Type が PCM-Sync のときに発音する Wave を設定します。	
	PCM-Sync はストラクチャーに SYNC を選択し、Structure1-2 ではパーシャル 1、Structure3-4 ではパーシャル 3 に設定すると効果的なオシレーター・タイプです。	
Gain	-18 ~ +12 [dB]	波形のゲイン (振幅) を設定します。値は 6dB (デシベル) ずつ変わります。6dB 上がると、ゲインは 2 倍になります。
Pulse Width (ZOOM)	0 ~ 127	パルス幅のデューティー比を変えて波形を変形させることで得られる効果です。OSC Type が VA のときに有効で、SQR (矩形波) 以外にも効果を得ることができます。 ※ 値が 64 のときに 50% : 50% のデューティー比になります。
PWM Depth (ZOOM)	-63 ~ +63	PW (パルス・ウィズ) にかける LFO の、かかる量 (深さ) を設定します。LFO2 の設定に従って PW を変調します。
SuperSAW Detune (ZOOM)	0 ~ 127	SuperSAW の Detune のかかり具合を調整します。値を大きくするほど、Detune 効果が深くかかります。 ※ OSC Type に SuperSAW を選んだときのみ有効です。
Click Type	SOFT、HARD、NATURAL、OFF	発音開始位置を変更してアタック感を変更します。OSC Type が VA の場合に有効になります。ただし、HARD が有効なのは、Waveform が TRI、TRI2、SIN、SIN2 のときになります。
Fat (ZOOM)	0 ~ 127	低域を強調します。OSC Type が VA のときに有効になります。
OSC Attenuator	0 ~ 255	OSC のレベルを設定します。255 が基準値となります。フィルターの自己発振だけで発音させる場合は、0 に設定します。

パラメーター	設定値	説明
FXM Switch	OFF、ON	FXM を使うか (ON)、使わないか (OFF) を設定します。 ※ FXM (Frequency Cross Modulation) は、選んだ波形を特定の波形を使って周波数変調し、複雑な倍音を作り出します。激しい音や効果音を作るのに適しています。
FXM Color	1 ~ 4	FXM による周波数変調のしかたを設定します。値が大きくなるほどざらつきのある音に、値が小さくなるほど金属的な音になります。
FXM Depth	0 ~ 16	FXM による周波数変調の深さを設定します。
Delay Mode		パーシャル・ディレイ パーシャル・ディレイはキーを押してから (または離してから)、パーシャルが鳴り始めるまでの時間を遅らせるものです。設定によっては、パーシャルごとに発音するタイミングをずらすこともできます。 内蔵エフェクトのディレイとは異なり、遅れて発音するパーシャルの音質を変えたり、パーシャルごとにピッチを変えたりすれば、1 つのキーを押すだけでアルペジオのような演奏をすることもできます。 また、パーシャル・ディレイの時間を外部 MIDI シーケンサーのテンポに同期させることもできます。 Legato Retrigger Interval が OFF 以外の場合は、Delay Mode が NORMAL のときのみレガート動作をします。 また、このとき Legato Retrigger Interval は 0 として動作します (Delay Time ごとに再発音します)。
NORMAL		キーを押してから、Partial Delay Time パラメーターで指定した時間のあとにパーシャルが鳴り始めます。 
HOLD		キーを押してから、Partial Delay Time パラメーターで指定した時間のあとにパーシャルが鳴りますが、Partial Delay Time パラメーターで指定した時間より早くキーを離したときはパーシャルが鳴りません。 

パラメーター	設定値	説明
Delay Mode	KEYOFF-NORMAL	<p>キーを押している間はパーシャルが鳴らず、キーを離れたときから、Partial Delay Time パラメーターで設定した時間のあとにパーシャルが鳴り始めます。</p> <p>ギターなどのノイズ音をシミュレートするときなどに効果的です。</p> 
	KEYOFF-DECAY	<p>キーを押している間はパーシャルが鳴らず、キーを離れたときから、Partial Delay Time パラメーターで設定した時間のあとに、パーシャルが鳴ります。ただし、キーを押したときに TVA エンベロープの変化が始まるので、多くの場合は減衰部分の音だけが鳴ることになります。</p> 
Delay Time Sync	OFF、ON	パーシャル・ディレイする時間をテンポに同期するときには、ON に設定します。
Delay Time (note)	1/64T ~ 2	Delay Time Sync が ON のときに有効になります。ディレイする時間を音符長で設定します。
Delay Time	0 ~ 1023	Delay Time Sync が OFF のときに有効で、ディレイする時間をテンポに無関係に設定します。
Wave Tempo Sync	OFF、ON	Wave 再生をテンポに合わせます。BPM が表記された Wave を選択したときのみ有効です。この機能が有効のとき、ピッチ、FXM に関連するパラメーターは無効になり、XMOD のキャリア側の場合、XMOD 効果はかからなくなります。

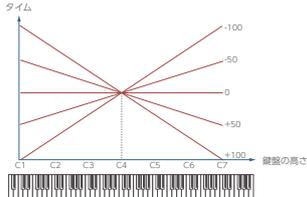
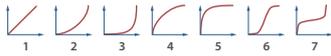
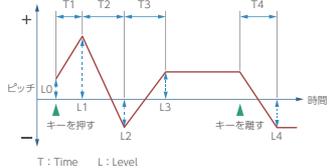
PITCH

パラメーター	設定値	説明
Coarse Tune (ZOOM)	-48 ~ +48 [semitone]	音の高さを半音単位 (± 4 オクターブまで) で設定します。
Fine Tune (ZOOM)	-50 ~ +50 [cent]	音の高さを 1 セント単位 (± 50 セントまで) で設定します。
Random Depth (ZOOM)	0 ~ 1200 [cent]	<p>キーを押すごとにピッチを不規則に変化させる変化幅を設定します。不規則に変化させないときは「0」にします。</p> <p>※ 値の単位はセント (半音の 100 分の 1) です。</p>

パラメーター	設定値	説明
Pitch Keyfollow	-200 ~ +200	<p>キーを 1 オクターブ (12 キー) 上に移動したときのピッチの変化幅を設定します。</p> <p>通常のキーボードのようにピッチを 1 オクターブ変化させたいときは「+100」にします。ピッチを 2 オクターブ変化させたいときは「+200」に、逆にピッチを下げたいときはマイナスの値にします。</p> <p>どのキーを押しても同じピッチにするには「0」にします。</p> 
Vibrato Pitch Sens	-100 ~ +100	ゾーン・パラメーターの VIBRATO: Zone Vibrato Depth に応じて、LFO1 の Pitch Depth の変化量を設定します。
Stereo Detune	-50 ~ + 50 [cent]	ステレオ発音する場合、L⇄R 間のデチューンを設定します。

PITCH ENV

パラメーター	設定値	説明
Env Depth (ZOOM)	-100 ~ +100	<p>ピッチ・エンベロープの効き具合を設定します。値を大きくするほどピッチ・エンベロープによる変化が大きくなります。「-」の値にするとエンベロープの形が反転します。</p> <p>OSC Type が、VA ではない場合、± 63 で頭打ちになります。</p>
Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでピッチ・エンベロープの効き具合を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、ピッチ・エンベロープの効き具合を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。
T1 Velocity Sens	-100 ~ +100	<p>キーを押す強さでピッチ・エンベロープの Time 1 (時間) を変化させるときに設定します。</p> <p>キーを強く押すほど、Time 1 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。</p>
T4 Velocity Sens	-100 ~ +100	<p>キーを離す速さでピッチ・エンベロープの Time 4 (時間) を変化させるときに設定します。</p> <p>キーを速く離すほど、Time 4 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。</p>

パラメーター	設定値	説明
Time Keyfollow	-100 ~ +100	<p>押さえる鍵盤の位置によってピッチ・エンベロープの時間 (Time 2 ~ Time 4) を変化させるときに設定します。</p> <p>C4 キー (中央のド) のピッチ・エンベロープの時間を基準に、「+」の値にすると C4 より高音域のキーを押すほど時間が短くなり、「-」の値にすると時間が長くなります。</p> <p>値を大きくするほど変化が大きくなります。</p> 
Pitch Env Velocity Curve	FIXED、1 ~ 7	<p>キーを押す強さでピッチ・エンベロープの効き具合を変化させるときの変化カーブを次の 7 種類の中から選びます。</p> <p>キーを押す強さによってピッチ・エンベロープの効き具合を変化させないときは「FIXED」に設定します。</p> 
PENV LFO Trigger Switch	OFF、ON	<p>ON にすると、ピッチ・エンベロープを LFO1 によって周期的にトリガーします。</p> <p>※ Envelope Mode が SUSTAIN のときのみ有効になります。</p>
T1/Attack、T2、T3/Decay、T4/Release (ZOOM)	0 ~ 1023	<p>ピッチ・エンベロープの時間 (Time 1 ~ Time 4) を設定します。</p> <p>値を大きくするほど、次のピッチに達するまでの時間 (たとえば、Time 2 は Level 1 から Level 2 に達する時間) が長くなります。</p> <p>※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Time 2 が無効になります。</p> 
L0、L1、L2、L3/Sustain、L4 (ZOOM)	-511 ~ +511	<p>ピッチ・エンベロープのレベル (Level 0 ~ Level 4) を設定します。</p> <p>各ポイントでのピッチを基準のピッチ (Pitch 画面で設定したコース・チューンとファイン・チューンの値) からどれくらい変化させるかを決めます。</p> <p>「+」の値にすると基準ピッチより高くなり、「-」の値にすると低くなります。</p> <p>※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Level 3 (Sustain) のみ有効になります。また、このとき負の値の設定は無効になります。</p>

FILTER

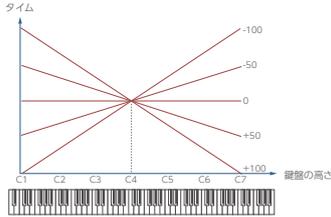
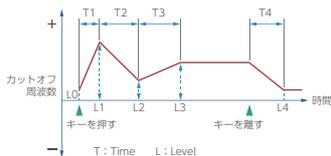
パラメーター	設定値	説明
Filter Type	TVF、VCF	<p>フィルターの種類を選びます。</p> <p>※ TVF とは Time Variant Filter の略で、音の周波数成分の時間変化を細かく設定できるフィルターです。</p> <p>VCF を選んだ場合、同時発音数が TVF を選んだ場合に比べて少なくなります。</p>
	TVF フィルターの種類を選びます。	<p>※ Filter Type で VCF を選んだときは LPF になります。</p>
	OFF	フィルターをしません。
	LPF	ロー・パス・フィルター。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) より上の成分をカットします。高域の周波数をカットするので音が丸くなります。最も一般的に使われます。
TVF Filter Type (ZOOM)	BPF	バンド・パス・フィルター。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) 付近の成分だけ残して他をカットします。クセのある音などを作るのに適しています。
	HPF	ハイ・パス・フィルター。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) より下の成分をカットします。高域に特徴のある打楽器系の音などを作るのに適しています。
	PKG	ピーキング・フィルター。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) 付近の成分を強調します。LFO でカットオフ周波数を周期的に変えるとワウ効果を得ることもできます。
	LPF2	<p>ロー・パス・フィルター 2。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) より上の成分をカットしますが、フィルターの感度が LPF の半分になっています。LPF に比べて緩やかなロー・パス・フィルターになります。アコースティックピアノなどの楽器音のシミュレーションに適しています。</p> <p>※ [LPF2] に設定した場合、Resonance パラメーター (P.28) の設定は無効になります。</p>
VCF Type (ZOOM)	LPF3	<p>ロー・パス・フィルター 3。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) より上の成分をカットしますが、フィルターの感度がカットオフ周波数に応じて変化します。アコースティック系の楽器音のシミュレーションに適していますが、同じ TVF エンベロープの設定でも LPF2 とは異なったニュアンスになります。</p> <p>※ [LPF3] に設定した場合、Resonance パラメーター (P.28) の設定は無効になります。</p>
	VCF1、JP、MG、P5	<p>Filter Type が VCF のときに有効になります。</p> <p>いずれもアナログ・シンセサイザーの LPF の動作を模擬したものです。特に MG、JP、P5 は、往年のシンセサイザー・サウンドを再現するのに適したタイプです。</p>

パラメーター	設定値	説明
Filter Slope (ZOOM)	-12, -18, -24 [dB/Oct]	<p>フィルターの傾き (スロープ) を選びます。</p> <p>VCF のときは、-12、-18、-24 が選べます。</p> <p>TVF のときは、-12、-24のみ選べます。</p> <p>Filter Type が TVF の場合は、以下の制約がでます。</p> <ul style="list-style-type: none"> -12dB と -24dB のみ指定できます。-18dB を設定しても音源内部では -12dB として動作します。 -24dB に設定すると、同時発音数が -12dB のときに比べて少なくなります。
HPF Cutoff	0 ~ 1023	<p>-6dB のハイ・パス・フィルターのカットオフ周波数を設定します。</p> <p>※ Filter Type が VCF のときに有効になります。</p>
Cutoff (ZOOM)	0 ~ 1023	<p>波形の周波数成分に対して、フィルターが効き始める周波数 (カットオフ周波数) を設定します。</p> <p>TVF Filter Type が LPF/LPF2/LPF3 のときと VCF のときは、カットオフ周波数を小さくすると高次倍音が少なくなるので音色は丸くなります。大きくすると音色は明るくなります。</p> <p>Filter Type が [BPF] のときは、カットオフ周波数の値によって発音される倍音成分が変わります。クセのある音などを作るのに適しています。</p> <p>Filter Type が [HPF] のときは、カットオフ周波数を高くすると低次倍音が少なくなるので、音の明るい部分だけが強調されます。</p> <p>Filter Type が [PKG] のときは、カットオフ周波数の値によって強調して発音される倍音成分が変わります。</p>
Keyfollow (ZOOM)	-200 ~ +200	<p>押さえる鍵盤の位置によってカットオフ周波数を変化させたいときに設定します。Cutoff Keyfollow Base Point に指定したキーのカットオフ周波数を基準に、「+」の値にすると、基準のキーより高音域のキーを押すほどカットオフ周波数が高くなり、「-」の値にするとカットオフ周波数が低くなります。</p> <p>値を大きくするほど変化が大きくなります。</p>
Cutoff Velocity Curve	FIXED, 1 ~ 7	<p>キーを押す強さでカットオフ周波数を変化させるときの変化カーブを次の7種類の中から選びます。キーを押す強さによってカットオフ周波数を変化させないときは「FIXED」に設定します。</p>

パラメーター	設定値	説明
Cutoff Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでカットオフ周波数を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、カットオフ周波数を高くするには「+」の値に、低くするには「-」の値にします。
Cutoff Keyfollow Base Point	0 ~ 127	カットオフ周波数の Keyfollow を効かせるときの基準となるキーを設定します。60 のときに、C4 キー (中央のド) が基準のキーになります。
Resonance (ZOOM)	0 ~ 1023	<p>カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音色にクセを付けます。設定値を上げすぎると発振して音が歪むことがあります。</p>
Resonance Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでレゾナンスのかけ具合を変化させるときに設定します。キーを強く押すほどレゾナンスの効果を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。
Vibrato Cutoff Sens	-100 ~ +100	ゾーン・パラメーターの VIBRATO : Zone Vibrato Depth に応じて、LFO1 の TVF Depth の変化量を設定します。

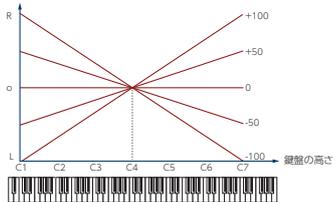
FILTER ENV

パラメーター	設定値	説明
Env Depth (ZOOM)	-63 ~ +63	Filter エンベロープの効き具合を設定します。値を大きくするほど Filter エンベロープによる変化が大きくなります。「-」の値にするとエンベロープの形が反転します。
TVF Env Fine Depth	-63 ~ +63	フィルター・エンベロープの効き具合を微調整します。
Velocity Curve	FIXED, 1 ~ 7	<p>キーを押す強さで Filter エンベロープの効き具合を変化させるときの変化カーブを次の7種類の中から選びます。</p> <p>キーを押す強さによって Filter エンベロープの効き具合を変化させないときは「FIXED」に設定します。</p>
Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さで Filter エンベロープの効き具合を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Filter エンベロープの効き具合を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。
T1 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さで Filter エンベロープの Time 1 (時間) を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Time 1 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。

パラメーター	設定値	説明
T4 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを離す速さで Filter エンベロープの Time 4 (時間) を変化させるときに設定します。キーを速く離すほど、Time 4 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Time Keyfollow	-100 ~ +100	押さえる鍵盤の位置によって Filter エンベロープの時間 (Time 2 ~ Time 4) を変化させるときに設定します。C4 キー (中央のド) の Filter エンベロープの時間を基準に、「+」の値にすると C4 より高音域のキーを押すほど時間が短くなり、「-」の値にすると時間が長くなります。値を大きくするほど変化が大きくなります。 
FENV LFO Trigger Switch	OFF、ON	ON にすると、Filter エンベロープを LFO1 によって周期的にトリガーします。 ※ Envelope Mode が SUSTAIN のときのみ有効になります。
T1/Attack、T2、T3/Decay、T4/Release (ZOOM)	0 ~ 1023	Filter エンベロープの時間 (Time 1 ~ Time 4) を設定します。値を大きくするほど、次のカットオフ周波数に達するまでの時間 (たとえば、Time 2 は Level 1 から Level 2 に達する時間) が長くなります。 ※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Time 2 が無効になります。 
L0、L1、L2、L3/Sustain、L4 (ZOOM)	0 ~ 1023	Filter エンベロープのレベル (Level 0 ~ Level 4) を設定します。 各ポイントでのカットオフ周波数を基準のカットオフ周波数 (Filter 画面で設定したカットオフ周波数の値) からどれくらい変化させるかを決めます。 ※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Level 3 (Sustain) のみ有効になります。

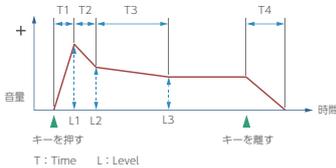
AMP

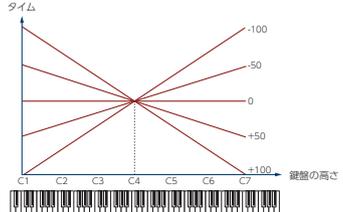
パラメーター	設定値	説明
Level (ZOOM)	0 ~ 127	パーシャルの音量を設定します。主に各パーシャルの音量バランスをとるときに使用します。

パラメーター	設定値	説明
Velocity Curve	FIXED、1 ~ 7	キーを押す強さでパーシャルの音量を変化させるときの変化カーブを次の 7 種類の中から選びます。キーを押す強さによってパーシャルの音量を変化させないときは「FIXED」に設定します。 
Velocity Sens (ZOOM)	-100 ~ +100	キーを押す強さでパーシャルの音量を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、パーシャルの音量を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。
Bias Level	-100 ~ +100	バイアス・ディレクションの方向に対して音量変化の角度を設定します。値を大きくするほど変化が大きくなります。「-」の値にすると変化が逆になります。
Bias Position	0 ~ 127	音量を変化させる基準のキーを設定します。64 が C4 (中央のド) になります。
Bias Direction	LOWER	バイアス・ポイントより低音域の音量を変えます。
	UPPER	バイアス・ポイントより高音域の音量を変えます。
	LOWER&UPPER	バイアス・ポイントより左右対称に音量を変えます。
	ALL	バイアス・ポイントを中心にして直線的に音量を変えます。
Pan (ZOOM)	L64 ~ 63R	パーシャルのパンを設定します。[L64] で最も左、[0] で中央、[63R] で最も右に定位します。
Pan Keyfollow (ZOOM)	-100 ~ +100	押さえる鍵盤の位置によってパンを変化させます。C4 キー (中央のド) のパンを基準に、「+」の値にすると C4 より高音域のキーを押すほど右に定位し、「-」の値にすると左に定位します。値を大きくするほど変化が大きくなります。 
Random Pan Depth	0 ~ 63	キーを押すたびに、不規則にパンを変化させるときに設定します。値を大きくするほど変化幅が大きくなります。
Alternate Pan Depth	L63 ~ 63R	キーを押すたびに、左右交互にパンを移動させるときに設定します。値を大きくするほど変化幅が大きくなります。値には「L」と「R」があり、左右に定位する順番が逆になります。 たとえば、2 つのパーシャルをそれぞれ「L」、「R」に設定すると、2 つのトーンのパンが交互に入れ替わって発音します。

パラメーター	設定値	説明
Vibrato Level Sens	-100 ~ +100	ゾーン・パラメーターの VIBRATO : Zone Vibrato Depth に応じて、LFO1 の Amp Depth の変化量を設定します。
Stereo Width	0 ~ 100	Stereo 発音する場合の広がり具合を調整します。Mono 発音時には無効になります。

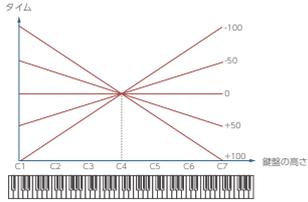
AMP ENV

パラメーター	設定値	説明
T1 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さで AMP エンベロープの Time 1 (時間) を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Time 1 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
T4 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを離す速さで AMP エンベロープの Time 4 (時間) を変化させるときに設定します。キーを速く離すほど、Time 4 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
AENV LFO Trigger Switch	OFF, ON	ON にすると、AMP エンベロープを LFO1 によって周期的にトリガーします。 ※ Envelope Mode が SUSTAIN のときのみ有効になります。
T1/Attack, T2, T3/Decay, T4/Release (ZOOM)	0 ~ 1023	AMP エンベロープの時間 (Time 1 ~ Time 4) を設定します。値を大きくするほど、次の音量に達するまでの時間 (たとえば、Time 2 は Level 1 から Level 2 に達する時間) が長くなります。 ※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Time 2 が無効になります。
L1, L2, L3/Sustain (ZOOM)	0 ~ 1023	AMP エンベロープのレベル (Level 1 ~ Level 3) を設定します。 各ポイントでの音量を基準の音量 (Amp 画面で設定したパーシャル・レベルの値) からどれくらい変化させるかを決めます。  T : Time L : Level ※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Level 3 (Sustain) のみ有効になります。

パラメーター	設定値	説明
Time Keyfollow	-100 ~ +100	押さえる鍵盤の位置によって AMP エンベロープの時間 (Time 2 ~ Time 4) を変化させるときに設定します。C4 キー (中央のド) の AMP エンベロープの場合間を基準に、「+」の値にすると C4 より高音域のキーを押すほど時間が短くなり、「-」の値にすると時間が長くなります。値を大きくするほど変化が大きくなります。 

LFO1 / LFO2

パラメーター	設定値	説明
Waveform (LFO1, LFO2) (ZOOM)		LFO の波形を設定します。
	SIN	正弦波
	TRI	三角波
	SAW-UP	のこぎり波
	SAW-DW	のこぎり波 (負極性)
	SQR	矩形波
	RND	ランダム波
	TRP	台形波
	S&H	サンプル&ホールド波 (1 周期に 1 回 LFO 値を変換)
	CHS	カオス波
	VSIN	変形した正弦波。正弦波の振幅を 1 周期に 1 回ランダムに変化させます。
	STEP	LFO Step 1 ~ 16 で設定されたデータから生成される波形。ステップ・モジュレーターのような一定パターンのステップ変化が得られます。
	Tempo Sync Sw (LFO1, LFO2) (ZOOM)	OFF
ON		
Rate Note (LFO1, LFO2) (ZOOM)	1/64T ~ 4	Rate Sync が ON のときに有効になります。 LFO の周期を音符長で設定します。
Rate (LFO1, LFO2) (ZOOM)	0 ~ 1023	Rate Sync が OFF のときに有効になります。 LFO の周期をテンポには無関係に設定します。値を大きくすると LFO の周期が短くなります。
Offset (LFO1, LFO2)	-100 ~ +100	LFO の波形を、中心となる値 (ピッチやカットオフ周波数) から上下にずらします。「+」の値にすると中心となる値から上で揺れるように波形が移動し、「-」の値にすると中心となる値から下で揺れるように波形が移動します。

パラメーター	設定値	説明
Rate Detune (LFO1, LFO2)	0 ~ 127	キーを押すたびに、LFOの周期の速さ (Rate) を微妙に変えます。設定値が大きくなるほど、変化幅が大きくなります。 Rateが「音符」に設定されているときは、このパラメーターは無効です。
Delay Time (LFO1, LFO2) (ZOOM)	0 ~ 1023	キーを押した (離した) あと、LFOの効果がかかる (効果が持続する) までの時間を設定します。 ※「LFOのかけかた」(P.32)を参考に、目的に合わせて設定してください。
Delay Time Keyfollow (LFO1, LFO2)	-100 ~ +100	C4キー (中央のド) を基準に押さえるキーの位置によって、Delay Timeの値を変えます。高音域のキーを押すほどLFOの効果がかかる (効果が持続する) までの場合間を短くするには「+」の値に、長くするには「-」の値にします。値を大きくするほど変化が大きくなります。押さえるキーの位置によってLFOの効果がかかる (効果が持続する) までの時間を変えないときは「0」にします。 
Fade Mode (LFO1, LFO2)	ON-IN ON-OUT OFF-IN OFF-OUT	LFOのかけかたを設定します。 ※「LFOのかけかた」(P.32)を参考に、目的に合わせて設定してください。
Fade Time (LFO1, LFO2) (ZOOM)	0 ~ 1023	LFOの振幅が最大 (最小) になるまでの時間を設定します。 ※「LFOのかけかた」(P.32)を参考に、目的に合わせて設定してください。
Key Trigger Sw (LFO1, LFO2) (ZOOM)	OFF, ON	キーを弾いたタイミングと、LFOの周期が始まるタイミングを合わせるか (ON)、合わせないか (OFF) 設定します。
Pitch Depth (LFO1, LFO2) (ZOOM)	-100 ~ +100	LFOをピッチ (音の高さ) にかけるとき、そのかけ具合を設定します。 ※OSC TypeがVA以外のときは、設定範囲が-63 ~ +63に制限されます。
Filter Depth (LFO1, LFO2) (ZOOM)	-100 ~ +100	LFOをカットオフ周波数にかけるとき、そのかけ具合を設定します。
Amp Depth (LFO1, LFO2) (ZOOM)	-100 ~ +100	LFOを音量にかけるとき、そのかけ具合を設定します。
Pan Depth (LFO1, LFO2) (ZOOM)	-63 ~ +63	LFOをパンにかけるとき、そのかけ具合を設定します。 メモ それぞれのデプスが「+」の値のときと「-」の値の場合では、ピッチや音量の変化のしかたが逆になります。たとえば、1つのパースナルでデプスを「+」の値に設定し、もう1つのパースナルで「-」側に同じだけデプスをかけると、うなりの位相が逆になります。これによって、異なるパースナルを入れ替わりで鳴らしたり、パンと組み合わせて周期的に音像を動かしたりできます。

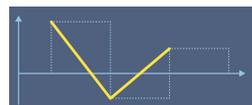
パラメーター	設定値	説明
Phase Position (LFO1, LFO2)		Key TriggerがONのときのLFOの開始位相値を設定します。 ※WaveformがRND、S&H、CHSのときは無効になります。
	0	1周期
	1	1/4周期
	2	1/2周期
	3	3/4周期

STEP LFO1 / STEP LFO2

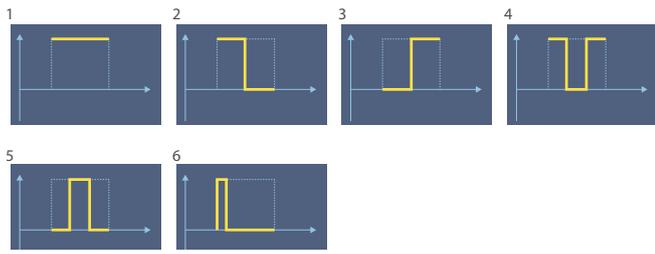
パラメーター	設定値	説明
Step Length (LFO1, LFO2) (ZOOM)	1 ~ 16	WaveformがSTEPのときに有効になります。 ループするSTEPサイズを設定します。
Step 1-16 (LFO1, LFO2) (ZOOM)	-72 ~ +72	WaveformがSTEPのときに有効になります。 各STEPのDepth値を設定します。 音階単位 (100cent) で設定したい場合は以下ようになります。 1 Pitch Depth: 51, Step: 6 刻み...1オクターブまで変化可能 2 Pitch Depth: 74, Step: 3 刻み...2オクターブまで変化可能 3 Pitch Depth: 89, Step: 2 刻み...3オクターブまで変化可能 ※OSC TypeがVAでない場合は、Pitch Depthの設定範囲が-63 ~ +63に制限されるので、上記の1のみとなります。
Step Curve 1-16 (LFO1, LFO2) (ZOOM)	0 ~ 36	各ステップのカーブの種類を設定します。 →「ステップのカーブの種類」(P.31)

ステップのカーブの種類

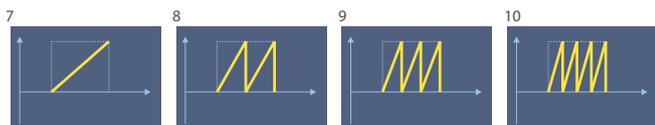
Step Curve 0



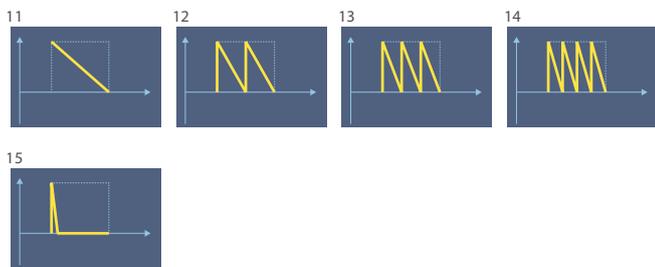
Step Curve 1 ~ 6 (矩形のバリエーション)



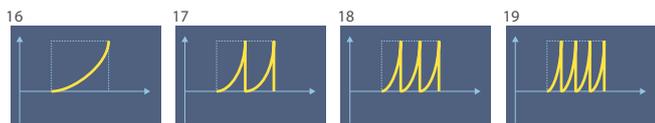
Step Curve 7 ~ 10 (SAWの上昇形のバリエーション)



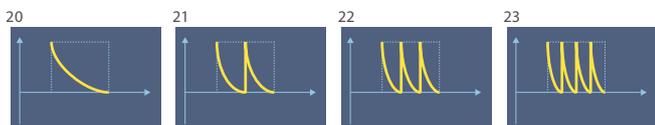
Step Curve 11 ~ 15 (SAWの下降形のバリエーション)



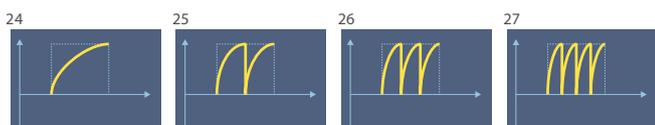
Step Curve 16 ~ 19 (指数関数的な上昇形のバリエーション)



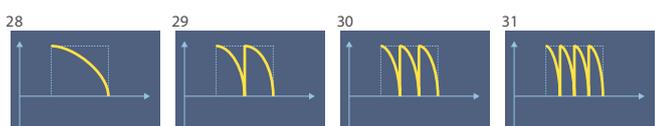
Step Curve 20 ~ 23 (指数関数的な下降形のバリエーション)



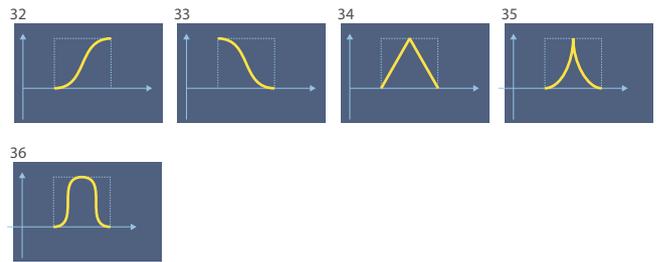
Step Curve 24 ~ 27 (充電カーブの上昇形のバリエーション)



Step Curve 28 ~ 31 (充電カーブの下降形のバリエーション)



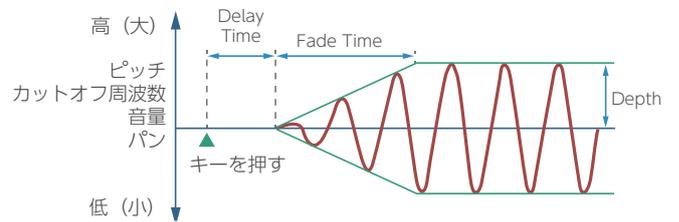
Step Curve 32 ~ 36 (その他のバリエーション)



LFO のかけかた

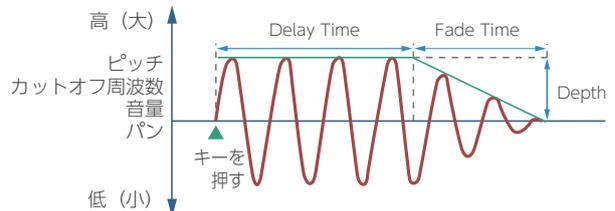
キーを押したあと、徐々に LFO をかける

Fade Mode : ON-IN



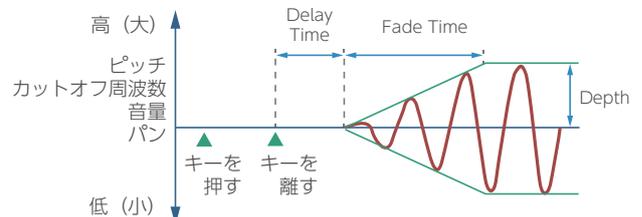
キーを押してすぐに LFO をかけ、徐々にその効果を弱める

Fade Mode : ON-OUT



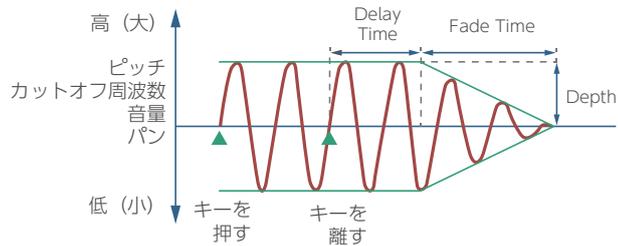
キーを離したあと、徐々に LFO をかける

Fade Mode : OFF-IN



キーを押してから離すまで LFO をかけ、キーを離れたあと、徐々にその効果を弱める

Fade Mode : OFF-OUT



PARTIAL EQ

パラメーター	設定値	説明
Switch (ZOOM)	OFF、ON	各パーシャルのイコライザーをオン／オフします。
Low Gain (ZOOM)	-24.0～+24.0 [dB]	低域の増幅／減衰量を調節します。
Mid Gain (ZOOM)	-24.0～+24.0 [dB]	中域の増幅／減衰量を調節します。
High Gain (ZOOM)	-24.0～+24.0 [dB]	高域の増幅／減衰量を調節します。
Low Frequency (ZOOM)	20 ～ 16000 [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
Mid Frequency (ZOOM)	20 ～ 16000 [Hz]	中域の基準周波数を設定します。
High Frequency (ZOOM)	20 ～ 16000 [Hz]	高域の基準周波数を設定します。
Mid Q (ZOOM)	0.5 ～ 16.0 (0.1step)	中域の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。

OUTPUT

パラメーター	設定値	説明
Output Assign (ZOOM)	DRY、MFX	パーシャルごとに出力先を設定します。
Chorus Level Send	0 ～ 127	パーシャルごとにコーラスへ送る信号のレベルを設定します。
Reverb Level Send	0 ～ 127	パーシャルごとにリバーブへ送る信号のレベルを設定します。

CONTROL

パラメーター	設定値	説明
Envelope Mode	NO-SUS、SUSTAIN	SUSTAIN に設定すると、エンベロープが Time 3 を過ぎたら、ノート・オフするまで Envelope Level 3 を維持します。 ノート・オフすると、現在値から Time 4 区間 (リリース区間) に移行します。 NO-SUS に設定すると、ノート・オフのタイミングに関係なく、Time 3 を過ぎたらリリース区間に移行して、エンベロープで設定された時間どおりに動作します。
Damper Free Note	OFF、1 ～ 127	指定したノート・ナンバー以上のノートに対して Envelope Mode を NO-SUS にして動作させます。 ピアノ音色の Damper Free 鍵域を模擬するのに使用します。
Damper Free Decay Offset	-100 ～ +100	Damper Free Note の効果をかけるときの、音が減衰する時間の微調整をします。
Receive Bender	OFF、ON	パーシャルごとに、MIDI のピッチ・ベンド・メッセージを受信するか「ON」、受信しないか「OFF」を設定します。
Receive Expression	OFF、ON	パーシャルごとに、MIDI のエクスプレッション・メッセージを受信するか「ON」、受信しないか「OFF」を設定します。
Receive Hold-1	OFF、ON	パーシャルごとに、MIDI のホールド 1・メッセージを受信するか「ON」、受信しないか「OFF」を設定します。
Redamper Switch	OFF、ON	Redamper Switch を ON にすると、Piano 音色で使用する Half Damper の動作が行えるようになります。ただし、動作するには以下の条件を満たしておく必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> Envelope Mode が NO-SUS Amp Envelope の Level1、2 が 1 以上 Amp Envelope の Time が Time 3 > Time4
Soft EQ Sens	0 ～ 100	ペダル量に応じて、EQ の High Gain を下げる比率を上げます。0 で無効になります。

MATRIX CONTROL

外部 MIDI 機器からパーシャルのパラメーターを変えたいとき、通常はシステム・エクスクルーシブ・メッセージと呼ばれる FANTOM 特有の MIDI メッセージを送信しなければなりません。しかし、システム・エクスクルーシブ・メッセージを使うと設定が煩雑になるだけでなく、転送するデータ量が多くなってしまいます。

そこで FANTOM では、パーシャルのパラメーターのうち代表的なものをコントロール・チェンジ・メッセージなどの MIDI メッセージで変更できるようになっています。

たとえば、モジュレーション・バーを使って LFO の周期の速さを変えたり、鍵盤タッチによってフィルターを開けたり閉めたりなど、トーンの鳴らしかたをいろいろ変えることができます。

このように、MIDI メッセージを使ってパーシャルのパラメーターをリアルタイムに変化させる機能を「マトリックス・コントロール」と呼びます。

マトリックス・コントロールは、1 つのトーンで 4 つまで使うことができます。

マトリックス・コントロールを使うときは、どの MIDI メッセージ (Source: ソース) で、どのパラメーター (Destination: デスティネーション) を、どれくらいコントロール (Sens: センス) するかを設定します。

パラメーター	設定値	説明
Source 1 ~ 4 (Matrix Control 1 ~ 4) (ZOOM)		マトリックス・コントロールを使うとき、どの MIDI メッセージでパーシャルのパラメーターを変えるかを設定します。
	OFF	マトリックス・コントロールをしません。
	CC01 ~ 31、 CC33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、 33 ~ 95
	BEND	ピッチ・ベンド
	AFT	アフタータッチ
	SYS-CTRL1 ~ 4	SYSTEM パラメーター System Control Source1 ~ 4 で設定された MIDI メッセージ。
	VELOCITY	ベロシティー (鍵盤を弾く強さ)
	KEYFOLLOW	キーフォロー (C4 を 0 とするキー の位置)
	TEMPO	テンポ・アサイン・ソースで設定した テンポ
	LFO1、LFO2	LFO 1 LFO 2
PIT-ENV	ピッチ・エンベロープ	

パラメーター	設定値	説明
Source 1 ~ 4 (Matrix Control 1 ~ 4) (ZOOM)	FLT-ENV	フィルター・エンベロープ
	AMP-ENV	アンプ・エンベロープ
	※ ベロシティー、キーフォローは、ノート・メッセージに対応します。	
	※ LFO 1 ~ AMP エンベロープは MIDI メッセージではありませんが、マトリックス・コントロールとして使うことができます。この場合、トーンを鳴らすことによってパーシャルの設定をリアルタイムに変化させることができます。	
	※ FANTOM 全体で共通のコントローラーを使いたいときは、[SYS-CTRL1] ~ [SYS-CTRL4] を選びます。システム・コントロール 1 ~ 4 として使う MIDI メッセージは、System Control Source1 ~ 4 で設定します。詳しくは『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。	
	注意	
	<ul style="list-style-type: none"> パーシャルごとにピッチ・ベンド、コントローラー・ナンバー 11 (エクスプレッション)、コントローラー・ナンバー 64 (ホールド 1) を受信するかどうかを決めるパラメーターがあります (P.33)。これらの設定が「ON」になっていると、その MIDI メッセージを受信したときに、目的のパラメーターの設定を変えると同時にピッチ・ベンド/エクスプレッション/ホールド 1 の設定も変わってしまいます。目的のパラメーターの設定だけを変えたいときは「OFF」に設定してください。 シーンでは、ゾーンごとに特定の MIDI メッセージを受信するかどうかを決めるパラメーターがあります (P.16)。マトリックス・コントロールの設定をしたトーンをゾーンに割り当てているときは、マトリックス・コントロールに使う MIDI メッセージが受信できる状態であることを確認してください。MIDI メッセージが受信できない状態のときは、マトリックス・コントロールは動作しません。 	
	マトリックス・コントロールを使って、パーシャルのどのパラメーターをコントロールするかを設定します。コントロールできるパラメーターは以下のとおりです。	
	マトリックス・コントロールでパラメーターをコントロールしないときは「OFF」にします。	
	1 つのマトリックス・コントロールに 4 つまでのパラメーターを指定でき、同時にコントロールできます。	
Destination 1 ~ 4 (MATRIX CONTROL 1 ~ 4) (ZOOM)	OFF	マトリックス・コントロールをしません。
	PITCH	ピッチを変えます。
	CUTOFF	カットオフ周波数を変えます。
	RESONANCE	カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音にクセを付けます。
	LEVEL	音量を変えます。
	PAN	パンを変えます。
	CHO	コーラスのかかり具合を変えます。
	REV	リバーブのかかり具合を変えます。
	PIT-LFO1	ビブラート効果のかかり具合を変えます。
	PIT-LFO2	
	FLT-LFO1	ワウ効果のかかり具合を変えます。
	FLT-LFO2	
	AMP-LFO1	トレモロ効果のかかり具合を変えます。
	AMP-LFO2	
	PAN-LFO1	パンに LFO をかけるときのかかり具合を変えます。
PAN-LFO2		

パラメーター	設定値	説明
LFO1-RATE		LFO の周期の速さを変えます。LFO Rate が「音符」に設定されていると、速さは変わりません。
LFO2-RATE		
PIT-ATK		ピッチ・エンベロープの Time 1 を変えます。
PIT-DCY		ピッチ・エンベロープの Time 2、Env Time 3 を変えます。
PIT-REL		ピッチ・エンベロープの Time 4 を変えます。
FLT-ATK		FLT エンベロープの Time 1 を変えます。
FLT-DCY		FLT エンベロープの Time 2、Env Time 3 を変えます。
FLT-REL		FLT エンベロープの Time 4 を変えます。
AMP-ATK		AMP エンベロープの Time 1 を変えます。
AMP-DCY		AMP エンベロープの Time 2、Env Time 3 を変えます。
AMP-REL		AMP エンベロープの Time 4 を変えます。
Destination 1 ~ 4 (MATRIX CONTROL 1 ~ 4) (ZOOM)	PMT	マトリックス・コントロールでパーシャルを鳴らし分けるときは、Velocity Control (P.24) を「OFF」にします。 <ul style="list-style-type: none"> マトリックス・コントロールでパーシャルを鳴らし分けるとき、Sens (P.35) は「+63」に設定することをおすすめします。これより小さい値に設定すると、パーシャルがうまく切り替わらないことがあります。また、効果を逆転させたいときは「-63」に設定します。 マトリックス・コントロールでパーシャルをなめらかに切り替えたいときは、Velocity Fade Lower、Velocity Fade Upper を設定してください (P.24)。大きな値にするほど、なめらかに切り替わります。
	FXM	FXM による周波数変調の深さを変えます。
	MFX-CTRL1	MFX CONTROL1 ~ 4 Source に対して変化を与えます。複数 Partial で指定されたときは、それぞれを加算した値になります。
	MFX-CTRL2	
	MFX-CTRL3	
	MFX-CTRL4	
	PW	PW に変化を与えます。
	PWM	PWM に変化を与えます。
	FAT	FAT に変化を与えます。
	XMOD	設定はキャリア側 (Partial1 または 3) の Partial のみ有効で、CrossMod1-2 Depth または CrossMod3-4 Depth に対して変化を与えます。
LFO1-STEP	LFO1/LFO2 の Waveform が STEP のときに有効で、ステップ位置を指定します。このとき、Sens の値は無効になります。	
LFO2-STEP		
SSAW-DETN	OSC Type が SuperSAW のときに有効で、Super-SAW Detune に対して変化を与えます。	

パラメーター	設定値	説明
PIT-DEPTH		ピッチ・エンベロープの Depth に変化を与えます。
FLT-DEPTH		Filter エンベロープの Depth に変化を与えます。
AMP-DEPTH		AMP エンベロープの Depth に変化を与えます。
XMOD2		Structure1-2 (3-4) が XMOD2 のときに有効で、XMOD2 1-2 (3-4) Depth に変化を与えます。
ATT		Destination に OSC Attenuator を選ぶことができます。
RING-OSC1-LEV		Structure が RING のときに有効です。 Partial 1 の場合: STRUCTURE の RING OSC 1 LEVEL に変化を与えます。 Partial 2 の場合: 設定は無効です。 Partial 3 の場合: STRUCTURE の RING OSC 3 LEVEL に変化を与えます。 Partial 4 の場合: 設定は無効です。
	Destination 1 ~ 4 (MATRIX CONTROL 1 ~ 4) (ZOOM)	Structure が RING のときに有効です。 Partial 1 の場合: STRUCTURE の RING OSC 2 LEVEL に変化を与えます。 Partial 2 の場合: 設定は無効です。 Partial 3 の場合: STRUCTURE の RING OSC 4 LEVEL に変化を与えます。 Partial 4 の場合: 設定は無効です。
RING-OSC2-LEV		Structure が XMOD または XMOD2 のときに有効です。 Partial 1 の場合: STRUCTURE の XMOD OSC 1 LEVEL に変化を与えます。 Partial 2 の場合: 設定は無効です。 Partial 3 の場合: STRUCTURE の XMOD OSC 3 LEVEL に変化を与えます。 Partial 4 の場合: 設定は無効です。
XMOD-OSC1-LEV		Structure が XMOD または XMOD2 のときに有効です。 Partial 1 の場合: STRUCTURE の XMOD OSC 2 LEVEL に変化を与えます。 Partial 2 の場合: 設定は無効です。 Partial 3 の場合: STRUCTURE の XMOD OSC 3 LEVEL に変化を与えます。 Partial 4 の場合: 設定は無効です。
XMOD-OSC2-LEV		Structure が XMOD または XMOD2 のときに有効です。 Partial 1 の場合: STRUCTURE の XMOD OSC 4 LEVEL に変化を与えます。 Partial 2 の場合: 設定は無効です。 Partial 3 の場合: STRUCTURE の XMOD OSC 4 LEVEL に変化を与えます。 Partial 4 の場合: 設定は無効です。
Sens 1 ~ 4 (MATRIX CONTROL 1 ~ 4) (ZOOM)	-63 ~ +63	マトリックス・コントロールの効果のかけ具合を設定します。 現在の値からプラス方向 (大きい値、右方向、速いなど) に変化させるときは「+」の値に、マイナス方向 (小さい値、左方向、遅いなど) に変化させるときは「-」の値に設定します。「+」、「-」共に数値が大きいほど変化は大きくなります。 効果をかけないときは「0」にします。

MFX

パラメーター	設定値	説明
MFX Type	MFX のタイプを選びます。	
MFX Switch	OFF、ON	MFX のオン/オフを設定します。
MFX パラメーター		選んだ MFX のパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、MFX Type で設定したエフェクトの種類によって異なります。 → [MFX/IFX パラメーター] (P.57)
MFX Chorus Send Level	0 ~ 127	コーラスのかかり具合を設定します。コーラスをかけないときは 0 に設定します。
MFX Reverb Send Level	0 ~ 127	リバーブのかかり具合を設定します。リバーブをかけないときは 0 に設定します。

MFX CTRL

パラメーター	設定値	説明
Control 1 ~ 4 Source		MFX CONTROL を使うとき、どの MIDI 情報でパラメーターをコントロールするかを設定します。
	OFF	MFX CONTROL を使いません。
	CC01 ~ 31	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31
	CC33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 33 ~ 95
	BEND	ピッチ・ベンド
	AFT	アフタータッチ
	SYS-CTRL1 ~ 4	System Control Source1 ~ 4 で設定しているコントローラーを使います。
Control 1 ~ 4 Destination		MFX CONTROL を使って、マルチエフェクトのどのパラメーターをコントロールするかを設定します。コントロールできるパラメーターは、マルチエフェクト・タイプによって異なります。
Control 1 ~ 4 Sens	-63 ~ +63	MFX CONTROL の効果のかかり具合を設定します。 設定したパラメーターの値を現在の値からプラス方向 (大きい値、右方向、速いなど) に変化させるときはプラスの値に、マイナス方向 (小さい値、左方向、遅いなど) に変化させるときはマイナスの値に設定します。数値が大きいほど変化は大きくなります。

MFX を MIDI でコントロールする (MFX CONTROL)

MFX のパラメーターのうち、代表的なものをコントロール・チェンジ・メッセージなどの MIDI メッセージで変更することができます。この機能を「MFX CONTROL (マルチエフェクト・コントロール)」と呼びます。変更できるパラメーターは、MFX のタイプごとにあらかじめ決まっています。マルチエフェクト・コントロールは、4 つまで設定することができます。

マルチエフェクト・コントロールを使うときは、どの MIDI メッセージ (Source) で、どのパラメーター (Destination) を、どれくらいコントロール (Sens) するかを設定します。

Drum Kit トーン・パラメーター (Drum)

1. トーンが割り当てられているゾーンを選びます。
2. [MENU] ボタンを押します。
MENU 画面が表示されます。
3. < TONE EDIT > にタッチします。
TONE EDIT 画面が表示されます。
4. エディットしたいセクションのタブにタッチします。
5. カーソルを目的のパラメーターに合わせて、設定値を変更します。

注意

エディットしたパラメーターは一時的なものです。電源を切ると消えてしまいます。設定を残しておきたいときは、トーンを保存してください。

KIT COMMON

パラメーター	設定値	説明
(Name)	トーン名	
Level	0 ~ 127	トーン全体の音量を調節します。

KIT MFX

パラメーター	設定値	説明
Type	MFX のタイプを選びます。	
Switch	OFF、ON	MFX のオン/オフを設定します。
MFX パラメーター	選んだ MFX のパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、MFX Type で設定したエフェクトの種類によって異なります。 → [MFX/IFX パラメーター] (P.57)	
Chorus Send Level	0 ~ 127	コーラスのかかり具合を設定します。コーラスをかけないときは 0 に設定します。
Reverb Send Level	0 ~ 127	リバーブのかかり具合を設定します。リバーブをかけないときは 0 に設定します。

KIT MFX CTRL

パラメーター	設定値	説明
Control 1 ~ 4 Source	MFX CONTROL を使うとき、どの MIDI 情報でパラメーターをコントロールするかを設定します。	
	OFF	MFX CONTROL を使いません。
	CC01 ~ 31	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31
	CC33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 33 ~ 95
	BEND	ピッチ・バンド
	AFT	アフタータッチ
	SYS-CTRL1 ~ 4	System Control Source1 ~ 4 で設定しているコントローラーを使います。

パラメーター	設定値	説明
Control 1 ~ 4 Destination		MFX CONTROL を使って、マルチエフェクトのどのパラメーターをコントロールするかを設定します。コントロールできるパラメーターは、マルチエフェクト・タイプによって異なります。
Control 1 ~ 4 Sens	-63 ~ +63	MFX CONTROL の効果のかかり具合を設定します。 設定したパラメーターの値を現在の値からプラス方向 (大きい値、右方向、速いなど) に変化させるときはプラスの値に、マイナス方向 (小さい値、左方向、遅いなど) に変化させるときはマイナスの値に設定します。数値が大きいほど変化は大きくなります。

KIT COMP1 ~ 6

※ Drum Kit Comp Zone に設定されているゾーンのみ KIT COMP を使用できます。

パラメーター	設定値	説明
Switch	OFF、ON	コンプレッサーのオン/オフ
Attack Time	0.1 ~ 100ms	Threshold を超える入力があったから圧縮を開始するまでの時間
Release Time	10 ~ 1000ms	入力が Threshold 以下になってから圧縮を解除するまでの時間
Threshold	-60 ~ 0 [dB]	圧縮をする基準レベル
Ratio	1 : 1 ~ inf : 1	圧縮比
Knee	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 Threshold より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
Output Gain	-24 ~ +24 [dB]	出力する音のレベル
Output Assign	DRY、MFX、MAIN、SUB	コンプの出力先を設定します。

KEY PARAM

パラメーター	設定値	説明
Current Note	21 (A0) ~ 108 (C8)	キーを選びます。
Inst Number	000 ~	キーに割り当てるインストを選びます。
Inst Group ID	A、B	インストのグループ ID を選びます。
Inst	000 ~	インストを選びます。
Level	0 ~ 127	キーの音量を調節します。
Pan	L64 ~ 0 ~ 63R	キーの定位を設定します。
Chorus Send Level	0 ~ 127	キーごとのコーラスのかかり具合を設定します。
Reverb Send Level	0 ~ 127	キーごとのリバーブのかかり具合を設定します。

Drum Kitトーン・パラメーター (Drum)

パラメーター	設定値	説明
Mute Group	OFF、1 ~ 31	アコースティックのドラム・セットを考えた場合、オープン・ハイハットとクローズド・ハイハットは同時に鳴らせません。 このような状況を再現するために、ミュート・グループを設定します。ミュート・グループは、同じ設定値のキーを同時に鳴らさないようにする機能です。31種類のグループを設定できます。 どのグループにも属さないキーはOFFに設定します。
Output Assign	DRY、MFX、COMP1 ~ 6	キーごとの出力先を設定します。
Key Offset	-24 ~ +24	半音単位でピッチ (音の高さ) を設定します。
Fine Tune Offset	-50 ~ +50 [cent]	ピッチを1セント単位で微調整します。
Cutoff Offset	-100 ~ +100	フィルターの開き具合を調節します。値を大きくすると音が明るくなり、小さくすると暗くなります。
Resonance Offset	-100 ~ +100	カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音にクセを付けます。設定値を上げすぎると、発振して音が歪むことがあります。 値が大きくなるとクセが強くなり、小さくすると弱くなります。
Attack Time Offset	-100 ~ +100	キーを押さえてから、音が立ち上がるまでの時間です。 値を大きくすると立ち上がりが緩やかに、小さくすると立ち上がりが鋭くなります。
Decay Time Offset	-100 ~ +100	音が立ち上がったから、音量が下がっていくまでの時間です。 値を大きくすると音量が下がるまでの時間が長くなり、小さくすると短くなります。
Release Time Offset	-100 ~ +100	キーを離してから、音が消えるまでの時間です。 Envelope Mode が NO-SUS のときは、発音した音が消えるまでの時間です。 値を大きくすると余韻の長い音になり、小さくすると歯切れの良い音になります。

KEY EQ

パラメーター	設定値	説明
Current Note	21 (A0) ~ 108 (C8)	キーを選びます。
Inst Number	000 ~	キーに割り当てるインスタを選びます。
EQ Switch	OFF、ON	各キーのイコライザーをオン/オフします。
Low Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	低域の増幅/減衰量を調節します。
Mid Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	中域の増幅/減衰量を調節します。
High Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	高域の増幅/減衰量を調節します。

パラメーター	設定値	説明
Low Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
Mid Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	中域の基準周波数を設定します。
High Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	高域の基準周波数を設定します。
Mid Q	0.5 ~ 16.0 (0.1step)	中域の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。

INST COMMON

パラメーター	設定値	説明
Current Note	21 (A0) ~ 108 (C8)	キーを選びます。
Inst Number	000 ~	キーに割り当てるインスタを選びます。
Category	00 ~ 21	インスタのカテゴリを選びます。
Level	0 ~ 127	インスタの音量を調節します。
Source Key	0 ~ 127	60を基準 (インスタのオリジナルの音高) として、音の高さを半音単位で設定します。
Fine Tune	-50 ~ +50 [cent]	音の高さを1セント単位 (±50セントまで) で設定します。
Random Pitch Depth	0 ~ 1200 [cent]	発音するごとにピッチを不規則に変化させる変化幅を設定します。不規則に変化させないときは0にします。
Assign Type	MULTI、SINGLE	同じキーを複数回押したときの発音のしかたを設定します。 MULTI : 同じキーの音を重ねて鳴らします。クラッシュ・シンバルのように持続音が長い音を続けて鳴らしたときでも、前の音を消さずに重ねて鳴らします。 SINGLE : 同じキーの音は1音ずつしか鳴らしません。持続音の長い音を続けて鳴らしたとき、前の音を消して次の音を鳴らします。
Envelope Mode	NO-SUS、SUSTAIN	ループ波形を選んでいる場合、通常はキーを押している間、音が鳴り続けます。キーを押していても自然に音を減衰させたいときは、設定を「NO-SUS」にします。 ※ ワン・ショット波形を選んでいるときは、「SUSTAIN」を選んでも音は持続しません。
WMT Velocity Control	OFF、ON、RANDOM	鍵盤を弾く強さで Wave を鳴らし分けるか (ON)、鳴らし分けないか (OFF) を設定します。 RANDOM に設定すると、ベロシティ情報に関係なく構成する Wave がランダムに発音します。
Wave Tempo Sync	OFF、ON	Wave 再生をテンポに合わせます。BPM が表記された Wave を選択したときのみ有効です。この機能が有効のとき、ピッチ、FXM に関連するパラメーターは無効になります。

INST WAVE

パラメーター	設定値	説明
Current Note	21 (A0) ~ 108 (C8)	キーを選びます。
Inst Number	000 ~	キーに割り当てるインストを選びます。
Wave Group	INT、EXP、SAMP	OSC Type が PCM のときに発音する Wave グループを設定します。 INT : 内蔵の Wave を使います。 EXP : EXPANSION の Wave を使います。 SAMP : サンプルを Wave として使います。
Wave Bank	A、B、C、D	Wave グループのバンクを設定します。
Wave Number L		Wave Group で指定された Group 内の Wave 番号を指定します。 モノで使用する場合は、左側 (L) だけを指定します。ステレオで使用する場合は、右側 (R) も指定します。
Wave Number R		モノで発音する場合は Wave Number L だけ設定して Wave Number R は 0 : OFF にしておきます。 Wave Number R だけ設定しても発音しません。
Wave Gain	-18 ~ +12 [dB]	波形のゲイン (振幅) を設定します。値は 6dB (デシベル) ずつ変わります。 6dB 上がると、ゲインは 2 倍になります。
Wave FXM Sw	OFF、ON	FXM を使うか (ON)、使わないか (OFF) を設定します。 ※ FXM (Frequency Cross Modulation) は、選んだ波形を特定の波形を使って周波数変調し、複雑な倍音を作り出します。激しい音や効果音を作るのに適しています。
Wave FXM Color	1 ~ 4	FXM による周波数変調のしかたを設定します。値が大きくなるほどざらつきのある音に、値が小さくなるほど金属的な音になります。
Wave FXM Depth	0 ~ 16	FXM による周波数変調の深さを設定します。
Wave Coarse Tune	-48 ~ +48	Wave ごとの音の高さを半音単位 (± 4 オクターブ) で設定します。 メモ ドラム・パーシャル全体のコース・チューンは、Source Key (P.38) で設定します。
Wave Fine Tune	-50 ~ +50	Wave ごとの音の高さを 1 セント単位 (± 50 セント) で設定します。 ※ 1 セント = 半音の 100 分の 1 メモ ドラム・パーシャル全体のファイン・チューンは、Fine Tune (P.38) で設定します。

パラメーター	設定値	説明
Wave Level	0 ~ 127	Wave ごとの音量を設定します。 メモ 各ドラム・パーシャルの音量は、Partial Level で設定し、ドラム・キット全体の音量は、Level (P.38) で設定します。
Wave Pan	L64 ~ 63R	波形のパンを設定します。 [L64] で最も左、[0] で中央、[63R] で最も右に定位します。
Wave Random Pan	OFF、ON	キーを押すたびに、波形のパンを不規則に変えるか (ON)、変えないか (OFF) を設定します。 ※ パンで移動する範囲は、Random Pan Depth (P.29) で設定します。
Random Pan Depth	0 ~ 63	キーを押すたびに、不規則にパンを変化させるときに設定します。 値を大きくするほど変化幅が大きくなります。
Wave Alternate Pan	OFF、ON、REVS	キーを押すたびに、波形のパンを左右交互に移動するかどうかを決めます。 Alternate Pan Depth の設定に従って波形を定位させるときは [ON]、反転させて定位させるときは [REVS] にします。 キーを押すたびにパンを変えないときは [OFF] にします。
Alternate Pan Depth	L64 ~ 63R	キーを押すたびに、左右交互にパンを移動させるときに設定します。値を大きくするほど変化幅が大きくなります。値には [L] と [R] があり、左右に定位する順番が逆になります。 たとえば、INST WAVE で 2 つの WAVE の Wave Alter Pan Sw を ON または REVS にするとパンが交互に入れ替わって発音します。

INST WMT

パラメーター	設定値	説明
Current Note	21 (A0) ~ 108 (C8)	キーを選びます。
Inst Number	000 ~	キーに割り当てるインストを選びます。

パラメーター	設定値	説明
Wave Delay Mode	Wave デイレイ	Wave デイレイはキーを押してから（または離してから）、Wave が鳴り始めるまでの時間を遅らせるものです。設定によっては、Wave ごとに発音するタイミングをずらすこともできます。 内蔵エフェクトのデイレイとは異なり、遅れて発音する Wave の音質を変えたり、Wave ごとにピッチを変えたりすれば、1 つのキーを押すだけでアルペジオのような演奏をすることもできます。 また、Wave デイレイの時間を外部 MIDI シーケンサーのテンポに同期させることもできます。
	NORMAL	キーを押してから、Wave Delay Time パラメーターで指定した時間のあとに Wave が鳴り始めます。 キーを押す キーを離す
	HOLD	キーを押してから、Wave Delay Time パラメーターで指定した時間のあとに Wave が鳴りますが、Wave Delay Time パラメーターで指定した時間より早くキーを離したときは Wave が鳴りません。 キーを押す キーを離す
	KEYOFF-NORMAL	キーを押している間は Wave が鳴らず、キーを離したときから、Wave Delay Time パラメーターで設定した時間のあとに Wave が鳴り始めます。 ギターなどのノイズ音をシミュレートするときなどに効果的です。 キーを押す キーを離す
	KEYOFF-DECAY	キーを押している間は Wave が鳴らず、キーを離したときから、Wave Delay Time パラメーターで設定した時間のあとに、パーシャルが鳴ります。ただし、キーを押したときに TVA エンベロープの変化が始まるので、多くの場合は減衰部分の音だけが鳴ることになります。 キーを押す キーを離す
Wave Delay Time Sync	OFF, ON	Wave デイレイする時間をテンポに同期するときには、ON に設定します。
Wave Delay Time (note)	1/64T ~ 2	Wave Delay Time Sync が ON のときに有効になります。デイレイする時間を音符長で設定します。

パラメーター	設定値	説明
Wave Delay Time	0 ~ 1023	Wave Delay Time Sync が OFF のときに有効で、デイレイする時間をテンポに無関係に設定します。



パラメーター	設定値	説明
Velocity Range Low	1 ~ 127	Wave の鳴るベロシティの下限 (Lower) と、上限 (Upper) を設定します。
Velocity Range Up	1 ~ 127	鍵盤を強く強さで Wave を鳴らし分けたいときに設定します。
Velocity Fade Low	0 ~ 127	Wave が Velocity Range Low より弱く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Velocity Fade Up	0 ~ 127	Wave が Velocity Range Up より強く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。

PITCH ENV

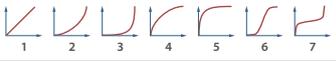
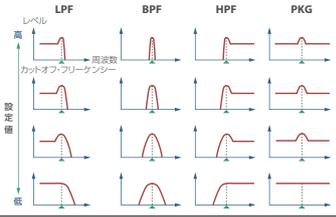
パラメーター	設定値	説明
Current Note	21 (A0) ~ 108 (C8)	キーを選びます。
Inst Number	000 ~	キーに割り当てるインストを選びます。
Env Depth	-100 ~ +100	ピッチ・エンベロープの効き具合を設定します。値を大きくするほどピッチ・エンベロープによる変化が大きくなります。[-] の値にするとエンベロープの形が反転します。
Pitch Env Velocity Curve	0 ~ 7	キーを押す強さでピッチを変化させるときの変化カーブを次の 7 種類の中から選びます。キーを押す強さによってピッチを変化させないときは「FIXED」に設定します。
Env Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでピッチ・エンベロープの効き具合を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、ピッチ・エンベロープの効き具合を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。
Env Time 1 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでピッチ・エンベロープの Time 1 (時間) を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Time 1 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Env Time 4 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを離す速さでピッチ・エンベロープの Time 4 (時間) を変化させるときに設定します。キーを速く離すほど、Time 4 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。

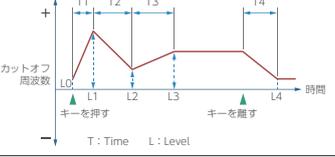
パラメーター	設定値	説明
Env Time 1 ~ 4	0 ~ 1023	<p>ピッチ・エンベロープの時間 (Time 1 ~ Time 4) を設定します。</p> <p>値を大きくするほど、次のピッチに達するまでの時間 (たとえば、Time 2 は Level 1 から Level 2 に達する時間) が長くなります。</p> <p>T : Time L : Level</p>
Env Level 0 ~ 4	-511 ~ +511	<p>ピッチ・エンベロープのレベル (Level 0 ~ Level 4) を設定します。</p> <p>各ポイントでのピッチを基準のピッチ (Pitch 画面で設定したコース・チューンとファイン・チューンの値) からどれくらい変化させるかを決めます。</p> <p>「+」の値にすると基準ピッチより高くなり、「-」の値にすると低くなります。</p>

INST FILTER

パラメーター	設定値	説明
Current Note	21 (A0) ~ 108 (C8)	キーを選びます。
Inst Number	000 ~	キーに割り当てるインストを選びます。

パラメーター	設定値	説明
Filter Type		フィルターの種類を選びます。
	OFF	フィルターをしません。
	LPF	ロー・パス・フィルター。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) より上の成分をカットします。高域の周波数をカットするので音が丸くなります。最も一般的に使われます。
	BPF	バンド・パス・フィルター。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) 付近の成分だけ残して他をカットします。クセのある音などを作るのに適しています。
	HPF	ハイ・パス・フィルター。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) より下の成分をカットします。高域に特徴のある打楽器系の音などを作るのに適しています。
	PKG	ピーキング・フィルター。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) 付近の成分を強調します。ドラムの「鳴り」を表現します。
Filter Type	LPF2	<p>ロー・パス・フィルター 2。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) より上の成分をカットしますが、フィルターの感度が LPF の半分になっています。LPF に比べて緩やかなロー・パス・フィルターになります。アコースティック・ピアノなどの楽器音のシミュレーションに適しています。</p> <p>※ [LPF2] に設定した場合、Resonance パラメーター (P.42) の設定は無効になります。</p>
	LPF3	<p>ロー・パス・フィルター 3。カットオフ周波数 (Cutoff Frequency) より上の成分をカットしますが、フィルターの感度がカットオフ周波数に応じて変化します。アコースティック系の楽器音のシミュレーションに適していますが、同じ TVF エンベロープの設定でも LPF2 とは異なったニュアンスになります。</p> <p>※ [LPF3] に設定した場合、Resonance パラメーター (P.42) の設定は無効になります。</p>
Cutoff Frequency	0 ~ 1023	<p>波形の周波数成分に対して、フィルターが効き始める周波数 (カットオフ周波数) を設定します。</p> <p>Filter Type が LPF/LPF2/LPF3 のときは、カットオフ周波数を小さくすると高次倍音が少なくなるので音色は丸くなります。大きくすると音色は明るくなります。</p> <p>Filter Type が [BPF] のときは、カットオフ周波数の値によって発音される倍音成分が変わります。クセのある音などを作るのに適しています。</p> <p>Filter Type が [HPF] のときは、カットオフ周波数を高くすると低次倍音が少なくなるので、音の明るい部分だけが強調されます。</p> <p>Filter Type が [PKG] のときは、カットオフ周波数の値によって強調して発音される倍音成分が変わります。</p>

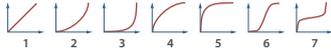
パラメーター	設定値	説明
Cutoff Velocity Curve	FIXED、1 ~ 7	キーを押す強さでカットオフ周波数を変化させるときの変化カーブを次の7種類の中から選びます。キーを押す強さによってカットオフ周波数を変化させないときは「FIXED」に設定します。 
Cutoff Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでカットオフ周波数を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、カットオフ周波数を高くするには「+」の値に、低くするには「-」の値にします。
Resonance	0 ~ 1023	カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音色にクセを付けます。設定値を上げすぎると発振して音が歪むことがあります。 
Resonance Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでレゾナンスのかかり具合を変化させるときに設定します。キーを強く押すほどレゾナンスの効果を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。

パラメーター	設定値	説明
Env Time 4 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを離す速さで Filter エンベロープの Time 4 (時間) を変化させるときに設定します。キーを速く離すほど、Time 4 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Env Time 1 ~ 4	0 ~ 1023	Filter エンベロープの時間 (Time 1 ~ Time 4) を設定します。値を大きくするほど、次のカットオフ周波数に達するまでの時間 (たとえば、Time 2 は Level 1 から Level 2 に達する時間) が長くなります。 
Env Level 0 ~ 4	0 ~ 1023	Filter エンベロープのレベル (Level 0 ~ Level 4) を設定します。各ポイントでのカットオフ周波数を基準のカットオフ周波数 (Filter 画面で設定したカットオフ周波数の値) からどれくらい変化させるかを決めます。

FILTER ENV

パラメーター	設定値	説明
Current Note	21 (A0) ~ 108 (C8)	キーを選びます。
Inst Number	000 ~	キーに割り当てるインストを選びます。
Env Depth	-63 ~ +63	Filter エンベロープの効き具合を設定します。値を大きくするほど Filter エンベロープによる変化が大きくなります。「-」の値にするとエンベロープの形が反転します。
Env Velocity Curve	FIXED、1 ~ 7	キーを押す強さで Filter エンベロープの効き具合を変化させるときの変化カーブを次の7種類の中から選びます。キーを押す強さによって Filter エンベロープの効き具合を変化させないときは「FIXED」に設定します。 
Env Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さで Filter エンベロープの効き具合を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Filter エンベロープの効き具合を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。
Env Time 1 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さで Filter エンベロープの Time 1 (時間) を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Time 1 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。

INST AMP

パラメーター	設定値	説明
Current Note	21 (A0) ~ 108 (C8)	キーを選びます。
Inst Number	000 ~	キーに割り当てるインストを選びます。
Level Velocity Curve	FIXED、1 ~ 7	<p>キーを押す強さでパーシャルの音量を変化させるときの変化カーブを次の7種類の中から選びます。キーを押す強さによってパーシャルの音量を変化させないときは「FIXED」に設定します。</p> 
Level Velocity Sens	-100 ~ +100	<p>キーを押す強さでパーシャルの音量を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、パーシャルの音量を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。</p>

AMP ENV

パラメーター	設定値	説明
Current Note	21 (A0) ~ 108 (C8)	キーを選びます。
Inst Number	000 ~	キーに割り当てるインストを選びます。
Env Time 1 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さで AMP エンベロープの Time 1 (時間) を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Time 1 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Env Time 4 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを離す速さで AMP エンベロープの Time 4 (時間) を変化させるときに設定します。キーを速く離すほど、Time 4 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Env Time 1 ~ 4	0 ~ 1023	AMP エンベロープの時間 (Time 1 ~ Time 4) を設定します。値を大きくするほど、次の音量に達するまでの時間 (たとえば、Time 2 は Level 1 から Level 2 に達する時間) が長くなります。
Env Level 1 ~ 3	0 ~ 1023	<p>AMP エンベロープのレベル (Level 1 ~ Level 3) を設定します。</p> <p>各ポイントでの音量を基準の音量 (Amp 画面で設定したパーシャル・レベルの値) からどれくらい変化させるかを決めます。</p> 

VTW トーン・パラメーター (VTW)

1. ゾーン 2 を選びます。

ZONE2 のみ、タイプに VTW (Virtual Tone Wheel) を選ぶことができます。

2. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。

3. < TONE EDIT > にタッチします。

TONE EDIT 画面が表示されます。

4. エディットしたいセクションのタブにタッチします。

5. カーソルを目的のパラメーターに合わせて、設定値を変更します。

注意

エディットしたパラメーターは一時的なものです。電源を切ると消えてしまいます。設定を残しておきたいときは、トーンを保存してください。

COMMON

パラメーター	設定値	説明
Category	00 ~ 49	音色カテゴリー
Level	0 ~ 127	VTW トーン全体のレベル
Wheel Brake	SPIN、STOP	SPIN のときはトーンホイールが回転します。STOP のときトーンホイールを停止させます。 メモ STOP のままだと、発音しません。STOP⇄SPIN を切り替えると、特殊な音の変化を得ることができます。
Tone Wheel Speed Up	OFF、ON	ON にすると、トーンホイールの回転速度が上がって音程が変化します。

WHEEL

パラメーター	設定値	説明
Tone Wheel Type	VINTAGE-1、VINTAGE-2、SOLID、CLEAN	トーンホイールの種類 1 (VINTAGE-1) : 70 年代のトーンホイール・オルガンで使われていたトーンホイール 2 (VINTAGE-2) : 60 年代のトーンホイール・オルガンで使われていたトーンホイール 3 (SOLID) : VINTAGE-1 の低域のトーンホイールに倍音を加え、低域をより強調 4 (CLEAN) : リークージ・ノイズを含まないトーンホイール
Leakage Level	0 ~ 63	リークージ・ノイズ (トーンホイール・オルガン特有のノイズ) の量を設定します。
Vibrato Chorus Switch	OFF、ON	ビブラート/コーラスのオン/オフ

パラメーター	設定値	説明
Vibrato Chorus Type	V-1、C-1、V-2、C-2、V-3、C-3	V-1 : 弱いビブラート効果をかけます。 V-2 : 中ぐらいのビブラート効果をかけます。 V-3 : 強いビブラート効果をかけます。 C-1 : 弱いコーラス効果をかけます。 C-2 : 中ぐらいのコーラス効果をかけます。 C-3 : 強いコーラス効果をかけます。
Percussion Switch	OFF、ON	パーカッション音のオン/オフ
Percussion Harmonic	2ND、3RD	2ND : 4' のハーモニックバーと同じ高さのパーカッション音が鳴ります。 3RD : 2 2/3' のハーモニックバーと同じ高さのパーカッション音が鳴ります。
Percussion Decay	SLOW、FAST	SLOW : パーカッション音がゆっくり消え、アタック感が柔らかい音になります。 FAST : パーカッション音がすぐに消え、アタック感がある鋭い音になります。
Percussion Volume	NORM、SOFT	NORM : パーカッションは通常の音量になり、ハーモニック・バーの音が小さくなります。 SOFT : パーカッションの音が小さくなり、ハーモニックバーは通常の音量になります。
Percussion Soft Level	0 ~ 15	PERCUSSION [SOFT] オン時のパーカッション音量
Percussion Norm Level	0 ~ 15	PERCUSSION [SOFT] オフ時のパーカッション音量
Percussion Slow Time	0 ~ 127	PERCUSSION [SLOW] オン時のパーカッション減衰時間
Percussion Fast Time	0 ~ 127	PERCUSSION [SLOW] オフ時のパーカッション減衰時間
Percussion Recharge Time	0 ~ 10	パーカッション・リチャージの時間
Percussion H.Bar Level	0 ~ 127	PERCUSSION [SOFT] オフ時のハーモニック・バーの音量

パラメーター	設定値	説明
Upper Harmonic Bar 16'	0 ~ 8	
Upper Harmonic Bar 5-1/3'	0 ~ 8	
Upper Harmonic Bar 8'	0 ~ 8	
Upper Harmonic Bar 4'	0 ~ 8	
Upper Harmonic Bar 2-2/3'	0 ~ 8	各ハーモニックバーの音量を設定します。
Upper Harmonic Bar 2'	0 ~ 8	
Upper Harmonic Bar 1-3/5'	0 ~ 8	
Upper Harmonic Bar 1-1/3'	0 ~ 8	
Upper Harmonic Bar 1'	0 ~ 8	
Key On Click Level	0 ~ 63	鍵盤を押したときのクリック音の大きさを設定します。
Key Off Click Level	0 ~ 63	鍵盤を離したときのクリック音の大きさを設定します。
Organ Expression Curve	NORMAL、SOFT	VTWトーンのエクスプレッション・ペダルの効き具合を設定します。 NORMAL : エクスプレッションの角度によって音量が変わりやすいので、ダイナミック・レンジが大きい激しい曲に適しています。 SOFT : エクスプレッションのかかり具合がゆるやかなので、強弱が少ない静かな曲に適しています。

Overdrive

パラメーター	設定値	説明
Overdrive Type	VK Overdrive、Tube Distortion、Guitar Amp Simulator	01 (VK Overdrive) : VK-7 に搭載されているオーバードライブと同じ仕様の歪みエフェクトです。 02 (Tube Distortion) : 往年のロータリースピーカーの真空管アンプ部分をモデリングした歪みエフェクトです。 03 (Guitar Amp Simulator) : ギター・アンプをシミュレートします。
Overdrive Switch	OFF、ON	オーバードライブのオン/オフ

Overdrive パラメーター

01 : VK Overdrive

パラメーター	設定値	説明
Dry Mix Level	0 ~ 127	オーバードライブにミックスするダイレクト音の音量を設定します。
Drive Level	0 ~ 127	歪み具合。音量も変化します。
Level	0 ~ 127	出力音量

02 : Tube Distortion

パラメーター	設定値	説明
Dry Mix Level	0 ~ 127	オーバードライブにミックスするダイレクト音の音量を設定します。
Distortion	0 ~ 127	歪み具合。音量も変化します。
LPF Freq	2000Hz、2500Hz、3150Hz、4000Hz、5000Hz、6300Hz、8000Hz、10000Hz、BYPASS	高域を減衰させる基準周波数を設定します。
Level	0 ~ 127	出力音量

03 : Guitar Amp Simulator

パラメーター	設定値	説明
Dry Mix Level	0 ~ 127	オーバードライブにミックスするダイレクト音の音量を設定します。
Pre Amp Sw	OFF/ON	アンプのスイッチ
Pre Amp Type	JC-120、CLEAN TWIN、MATCH DRIVE、BG LEAD、MS1959I、MS1959II、MS1959I+II、SLDN LEAD、METAL 5150、METAL LEAD、OD-1、OD-2 TURBO、DISTORTION、FUZZ	ギター・アンプの種類
Pre Amp Drive	0 ~ 127	アンプの音量と歪み具合
Pre Amp Master	0 ~ 127	プリ・アンプ全体の音量
Pre Amp Gain	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合

VTWトーン・パラメーター (VTW)

パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Bass	0 ~ 127	
Pre Amp Middle	0 ~ 127	低域/中域/高域の音質
Pre Amp Treble	0 ~ 127	
Pre Amp Presence	0 ~ 127	超高域の音質
Pre Amp Bright	OFF/ON	「ON」にすると、歯切れの良い明るい音になります。 ※ プリ・アンプ・タイプが「JC-120」「CLEAN TWIN」「MATCH DRIVE」「BG LEAD」のときのみ有効です。
Speaker Sw	OFF、ON	スピーカーを通すか (オン) / 通さないか (オフ) を選びます。
Speaker Type (0 ~ 15)		キャビネット スピーカーの径 (インチ) と個数 マイク
	SMALL 1	小型後面開放型 10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型 10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型 12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN 1	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN 2	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 3	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 4	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 5	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK 1	密閉型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK 2	大型密閉型 12 x 2 コンデンサー
	MS STACK 1	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	MS STACK 2	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	METAL STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー
2-STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー	
3-STACK	大型 3 段重ね 12 x 4 コンデンサー	
Mic Setting	1 ~ 3	スピーカーの音を収録するマイクの位置 1/2/3 の順でマイクの位置が遠ざかります。
Mic Level	0 ~ 127	マイクの音量
Direct Level	0 ~ 127	ダイレクト音の音量
Level	0 ~ 127	出力音量

Rotary

パラメーター	設定値	説明
Rotary Switch	OFF、ON	ロータリーのオン/オフ

Rotary パラメーター

パラメーター	設定値	説明
Rotation	SLOW、FAST	スピーカーの回転周期 (SLOW: 低速、FAST: 高速)

パラメーター	設定値	説明
Brake	OFF、ON	スピーカーの回転を止める (ON にするとスピーカーの回転は徐々に止まり、OFF にすると回転を始めます)
Woofers Slow Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz] (1 ~ 200)	ウーファースの低速回転時の回転速度
Woofers Fast Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz] (1 ~ 200)	ウーファースの高速回転時の回転速度
Woofers Acceleration High	0 ~ 127	Speed を SLOW から FAST に切り替えたときに、ウーファースの回転速度が変化する速さ
Woofers Acceleration Low	0 ~ 127	Speed を FAST から SLOW に切り替えたときに、ウーファースの回転速度が変化する速さ
Woofers Level	0 ~ 127	ウーファースの音量
Tweeters Slow Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz] (1 ~ 200)	ツイーターの低速回転時の回転速度
Tweeters Fast Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz] (1 ~ 200)	ツイーターの高速回転時の回転速度
Tweeters Acceleration High	0 ~ 127	Speed を SLOW から FAST に切り替えたときに、ツイーターの回転速度が変化する速さ
Tweeters Acceleration Low	0 ~ 127	Speed を FAST から SLOW に切り替えたときに、ツイーターの回転速度が変化する速さ
Tweeters Level	0 ~ 127	ツイーターの音量
Spread Level	0 ~ 10	回転スピーカースの音の広がり
Level	0 ~ 127	出力音量

MFX

パラメーター	設定値	説明
MFX Type	MFX のタイプを選びます。	
MFX Switch	OFF、ON	MFX のオン/オフを設定します。
MFX Chorus Send Level	0 ~ 127	コーラスのかかり具合を設定します。コーラスをかけないときは 0 に設定します。
MFX Reverb Send Level	0 ~ 127	リバーブのかかり具合を設定します。リバーブをかけないときは 0 に設定します。
MFX パラメーター		選んだ MFX のパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、MFX Type で設定したエフェクトの種類によって異なります。 ➔ [MFX/IFX パラメーター] (P.57)

MFX CTRL

パラメーター	設定値	説明
Control 1 ~ 4 Source		MFX CONTROL を使うとき、どの MIDI 情報でパラメーターをコントロールするかを設定します。
	OFF	MFX CONTROL を使いません。
	CC01 ~ 31	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31
	CC33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 33 ~ 95
	BEND	ピッチ・バンド
	AFT	アフタータッチ
Control 1 ~ 4 Destination	SYS-CTRL1 ~ 4	System Control Source1 ~ 4 で設定しているコントローラーを使います。
		MFX CONTROL を使って、マルチエフェクトのどのパラメーターをコントロールするかを設定します。コントロールできるパラメーターは、マルチエフェクト・タイプによって異なります。
Control 1 ~ 4 Sens	-63 ~ +63	MFX CONTROL の効果のかかり具合を設定します。 設定したパラメーターの値を現在の値からプラス方向（大きい値、右方向、速いなど）に変化させるときはプラスの値に、マイナス方向（小さい値、左方向、遅いなど）に変化させるときはマイナスの値に設定します。数値が大きいほど変化は大きくなります。

カテゴリー	パラメーター	設定値	MIDI	説明
HARMONIC BAR		0-8	CC#70 ~ 78	ハーモニック・バーの値を変更できません。
EXPRESSION		0-127	CC#11	エクスプレッションの値を変更できません。

注意

VTW を選んでいるときは、ゾーンのオフセット・パラメーター (Cutoff/Reso/Atk/Dcy/Rel/Vib: CC#70 ~ 78) は無効になります。

MFX を MIDI でコントロールする (MFX CONTROL)

MFX のパラメーターのうち、代表的なものをコントロール・チェンジ・メッセージなどの MIDI メッセージで変更することができます。この機能を「MFX CONTROL (マルチエフェクト・コントロール)」と呼びます。

変更できるパラメーターは、MFX のタイプごとにあらかじめ決まっています。マルチエフェクト・コントロールは、4 つまで設定することができます。

マルチエフェクト・コントロールを使うときは、どの MIDI メッセージ (Source) で、どのパラメーター (Destination) を、どれくらいコントロール (Sens) するのかを設定します。

VTW Control

以下の VTW パラメーターは MIDI メッセージでコントロールすることができます。

カテゴリー	パラメーター	設定値	MIDI	説明
ROTARY	Rotary Speed	SLOW、FAST	CC#80	SLOW/FAST を交互に切り替えます。
	Rotary Brake	OFF、ON	CC#81	ブレーキ状態を交互に切り替えます。
TONE WHEEL	Tone Wheel Brake	OFF、ON	CC#17	ブレーキ状態を交互に切り替えます。
	Tone Wheel Speed Up	OFF、ON	CC#18	トーンホイールのスピードがアップします。

SuperNATURAL Acoustic トーン・パラメーター

1. トーンが割り当てられているゾーンを選びます。
2. [MENU] ボタンを押します。
MENU 画面が表示されます。
3. <TONE EDIT>にタッチします。
TONE EDIT 画面が表示されます。
4. エディットしたいセクションのタブにタッチします。
5. カーソルを目的のパラメーターに合わせて、設定値を変更します。

注意

エディットしたパラメーターは一時的なものです。電源を切ると消えてしまいます。設定を残しておきたいときは、トーンを保存してください。

COMMON

パラメーター	設定値	説明
Inst	001 ~ 025	トーンに割り当てるインストを選びます。
Category	00 ~ 49	トーンのカテゴリーを選びます。
Level	0 ~ 127	トーン全体の音量を調節します。
Pan	L64 ~ 0 ~ 63R	トーンのパンを設定します。[L64]で最も左、[0]で中央、[63R]で最も右に定位します。
Coarse Tune	-48 ~ +48 [semitone]	音の高さを半音単位 (± 4 オクターブまで) で設定します。
Fine Tune	-50 ~ +50 [cent]	音の高さを 1 セント単位 (± 50 セントまで) で設定します。
Octave Shift	-3 ~ +3	トーンの音の高さをオクターブ単位 (± 3 オクターブまで) で設定します。
Mono/Poly		トーンの鳴らしかたをポリフォニック (POLY) にするか、モノフォニック (MONO) にするかを設定します。
	MONO	1 音ずつ最後に押したキーの音だけを鳴らせます。
	POLY	複数の音を同時に鳴らせます。
Portamento Time Offset	-64 ~ +63	ポルタメント演奏で、音の高さが変化する時間を補正します。値が大きくなるほど、次の音の高さに移動する時間が長くなります。
Cutoff Offset	-64 ~ +63	トーンに割り当てているインストに対するカットオフ周波数を補正します。
Resonance Offset	-64 ~ +63	トーンに割り当てているインストに対するレゾナンスを補正します。
Attack Time Offset	-64 ~ +63	トーンに割り当てているインストに対するアンプ・エンベロープのアタック・タイムを補正します。
Release Time Offset	-64 ~ +63	トーンに割り当てているインストに対するアンプ・エンベロープのリリース・タイムを補正します。
Vib Rate Offset	-64 ~ +63	トーンに割り当てているインストに対するビブラートの速さを補正します。
Vib Depth Offset	-64 ~ +63	トーンに割り当てているインストに対するビブラートの深さを補正します。
Vib Delay Time Offset	-64 ~ +63	トーンに割り当てているインストに対するビブラートのディレイ・タイムを補正します。

INST

パラメーター	設定値	説明
Inst	001 ~ 025	トーンに割り当てるインストを選びます。
各インストのパラメーター		選んだインストのパラメーターを設定します。「SuperNATURAL Inst パラメーター」をご覧ください。

MFX

パラメーター	設定値	説明
MFX Type		MFX のタイプを選びます。
MFX Switch	OFF、ON	MFX のオン/オフを設定します。
MFX Chorus Send Level	0 ~ 127	コーラスのかかり具合を設定します。コーラスをかけないときは 0 に設定します。
MFX Reverb Send Level	0 ~ 127	リバーブのかかり具合を設定します。リバーブをかけないときは 0 に設定します。
MFX パラメーター		選んだ MFX のパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、MFX Type で設定したエフェクトの種類によって異なります。

MFX CTRL

パラメーター	設定値	説明
Control 1 ~ 4 Source		MFX CONTROL を使うとき、どの MIDI 情報でパラメーターをコントロールするかを設定します。
	OFF	MFX CONTROL を使いません。
	CC01 ~ 31	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31
	CC33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 33 ~ 95
	BEND	ピッチ・バンド
	AFT	アフタータッチ
	SYS-CTRL1 ~ 4	System Control Source1 ~ 4 で設定しているコントローラーを使います。
Control 1 ~ 4 Destination		MFX CONTROL を使って、マルチエフェクトのどのパラメーターをコントロールするかを設定します。コントロールできるパラメーターは、マルチエフェクト・タイプによって異なります。
Control 1 ~ 4 Sens	-63 ~ +63	MFX CONTROL の効果のかかり具合を設定します。 設定したパラメーターの値を現在の値からプラス方向 (大きい値、右方向、速いなど) に変化させるときはプラスの値に、マイナス方向 (小さい値、左方向、遅いなど) に変化させるときはマイナスの値に設定します。数値が大きいほど変化は大きくなります。

SuperNATURAL Inst パラメーター

ダイナミクス変化

繊細な音から迫力のある音まで、単なる音量変化にとどまらない楽器らしい自然な音色変化（ダイナミクス変化）が得られます。

※ダイナミクスは Note ON Velocity、Modulation コントローラー (CC#01)、Expression (CC#11) でコントロールできます。

鍵盤を押しあつと Modulation コントローラー (CC#01) を操作すると、ダイナミクスを連続的にコントロールすることができます（打楽器、打弦楽器、撥弦楽器を除く）。

レガート効果

一部の音色を除いて、レガート演奏（鍵盤を離す前に別の鍵盤を押す奏法）することで、滑らかな音のつながりを再現できます。

以下の設定のときにレガート効果がかかります。

- トーン・パラメーターの Mono/Poly が MONO かつ、ゾーン・パラメーターの Mono/Poly が TONE
- ゾーン・パラメーターの Mono/Poly が MONO

奏法バリエーション音色

各楽器には、効果的な奏法バリエーション音色が用意されており、コントロール・チェンジ (CC#80 ~ CC#83) を使って、演奏中に瞬時に切り替えることができます。

メモ

SuperNATURAL Acoustic トーンを演奏する際は、[S1] / [S2] ボタンに下記メッセージをアサインすると、音色ごとの変化をコントロールしやすくなります。

S1 : CC#80

S2 : CC#81

001 : Fingered Bass

- 2 半音以内で素早くレガート演奏すると、その速さに応じてスライド、ハンマリング奏法を使ったような効果を得ることができます。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、Slap、Harmonics	奏法のバリエーションを選びます。
Noise Level (CC16)	-64 ~ +63	弦をこするノイズやピッキング・ノイズの量を調節します。

002 : Fretless Bass

- 2 半音以内で素早くレガート演奏すると、その速さに応じてスライド、ハンマリング奏法を使ったような効果を得ることができます。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、Staccato、Harmonics	奏法のバリエーションを選びます。
Noise Level (CC16)	-64 ~ +63	弦をこするノイズやピッキング・ノイズの量を調節します。

003 : Harp

- グリッサンド・モード (CC19) を ON にすると、特定スケールの構成音のみが発音されます。そのため、白鍵をグリッサンド演奏するだけでハープ特有のグリッサンド演奏を簡単に再現できます。
- HOLD ペダルを踏んだ状態で演奏すると効果的です。
- CC18 を使うと、手で弦の振動を止めるミュート奏法を再現します。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、Nail	奏法のバリエーションを選びます。
Glissando Mode (CC19)	OFF、ON	ON にすると、鍵盤をグリッサンド演奏することで、ハープの弦をかき鳴らす効果が得られます。
Poly Scale Chromatic	Chromatic、Major、Minor、7th、Diminish、Whole、Harmonic Minor	Glissando Mode が ON のときのスケールを設定します。
Scale Key	C、D \flat 、D、E \flat 、E、F、G \flat 、G、A \flat 、A、B \flat 、B	Glissando Mode を ON してグリッサンド演奏をしたときの、スケールのキーを設定します。

004 : Violin 1

005 : Violin 2

006 : Viola

007 : Cello 1

008 : Cello 2

009 : Contrabass

- 同時に複数の鍵を弾くと、自動的にビブラートを抑制して、自然な和音効果を得ることができます。
- 開放弦に相当する音域では、ビブラートがかからない開放弦らしいサウンドを得ることができます。ただし、開放弦の音域（上限 Violin : NoteNo 55、Viola : NoteNo 48、Cello : NoteNo 36、Contrabass : NoteNo 28）で、ゾーン・パラメーターの Vibrato Depth が 0 の場合に有効です。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、Staccato、Pizzicato、Tremolo	奏法のバリエーションを選びます。
Noise Level (CC16)	-64 ~ +63	弦をこするノイズやピッキング・ノイズの量を調節します。

010 : Erhu

- レガート演奏時に強く弾くと、独特の装飾音を再現できます。
- ポルタメント SW を ON にすると、特徴的なめらかなピッチ変化が得られます。
- 開放弦に相当する音域では、ビブラートがかからない開放弦らしいサウンドを得られます。
ただし、開放弦の音域（上限 NoteNo. 62）で、ゾーン・パラメーターの Vibrato Depth が 0 の場合に有効です。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、 Staccato、 Ornament	奏法のバリエーションを選びます。
Noise Level (CC16)	-64 ~ +63	弦をこするノイズやピッキング・ノイズの量を調節します。

011 : Strings

012 : Marcato Strings

- フレーズを弾く速さに応じてアタックやリリースが最適に調節されます。たとえば、早いパッセージでは歯切れの良い音になります。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、 Staccato、 Pizzicato、 Tremolo	奏法のバリエーションを選びます。
Hold Legato Mode (CC19)	OFF、ON	ホールド(CC64)を ON にしたときの、楽音の発音状態を変更します。 Hold Legato Mode を ON にすると押鍵したタイミングで、ホールドされた音を消音します。 たとえば、ホールド (CC64) を ON の状態で、C Maj を押鍵、離鍵すると C Maj の音がホールドされます。続けて E Maj の音を押鍵すると C Maj の音が消音されて、E Maj の音が鳴ります。

013 : Trumpet

014 : Mute Trumpet

015 : Trombone

- ゾーン・パラメーターの P.Bend Range を Tone に設定すると、ピッチ・ベンド・レバーの操作で跳躍するようなピッチ変化／フォール効果が得られます。
- ※ ピッチ・ベンド・レバーをアップの方向に操作をすると、金管楽器特有の跳躍するようなピッチ変化が得られます。
- ※ ピッチ・ベンド・レバーをダウンの方向に操作をすると、フォール効果が得られます。
- P.Bend Range を Tone 以外に設定したときは、Bend Mode (CC19) が ON のときにこの効果が得られます。跳躍するようなピッチ変化／フォール効果と通常のピッチ変化を切り替えて使用したい場合に利用します。
- トロンボーン音色においては、ポルタメント SW が ON でレガート演奏すると、トロンボーンのリッツァンド奏法の効果が得られません。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、 Staccato、 Fall	奏法のバリエーションを選びます。
Noise Level (CC16)	-64 ~ +63	管楽器のプレス・ノイズの量を調節します。
Growl Sens (CC18)	0 ~ 127	管楽器を吹いたときに発生する独特のニュアンス (うなり感) を好みの量に調節します。

016 : Oboe

017 : Clarinet

020 : Piccolo

- ゾーン・パラメーターの P.Bend Range を Tone に設定すると、ピッチ・ベンド・レバーの操作でグリッサンド奏法／フォール効果が得られます。
- ※ ピッチ・ベンド・レバーをアップの方向に操作をすると、グリッサンド奏法が得られます。
- ※ ピッチ・ベンド・レバーをダウンの方向に操作をすると、フォール効果が得られます。
- P.Bend Range を Tone 以外に設定したときは、Bend Mode (CC19) が ON のときにこの効果が得られます。グリッサンド奏法／フォール効果と通常のピッチ変化を切り替えて使用したい場合に利用します。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、 Staccato	奏法のバリエーションを選びます。
Noise Level (CC16)	-64 ~ +63	管楽器のプレス・ノイズの量を調節します。
Growl Sens (CC18)	0 ~ 127	管楽器を吹いたときに発生する独特のニュアンス (うなり感) を好みの量に調節します。

パラメーター	設定値	説明
Play Scale Chromatic	Chromatic、Major、Minor、7th、Diminish、Whole	指定したスケールに応じた跳躍するようなピッチ変化が得られます。
Scale Key	C、D \flat 、D、E \flat 、E、F、G \flat 、G、A \flat 、A、B \flat 、B	Play Scale で指定したスケールのキーを指定します。
Glide	GLISS、PORTA	ポルタメント SW が ON のときにポルタメントするかグリッサンドするかを設定します。

018 : Uilleann Pipes

019 : Bag Pipes

- レガート演奏時に強く弾くと、独特の装飾音を再現できます。
- CC80 の値 64 ~ 127 でドローン発音します。値 0 ~ 63 で消音します。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、Drone、Ornament	奏法のバリエーションを選びます。
Drone Level	0 ~ 127	CC80 で発音するドローンの効果音の音量を調節します。
Drone Pitch	-12 ~ +12	CC80 で発音するドローンの効果音のピッチを調節します。

021 : Pan Flute

- ゾーン・パラメーターの P.Bend Range を Tone に設定すると、ピッチ・ベンド・レバーの操作でグリッサンド奏法／フォール効果が得られます。
- ※ ピッチ・ベンド・レバーをアップの方向に操作をすると、グリッサンド奏法が得られます。
- ※ ピッチ・ベンド・レバーをダウンの方向に操作をすると、フォール効果が得られます。
- P.Bend Range を Tone 以外に設定したときは、Bend Mode (CC19) が ON のときにこの効果が得られます。グリッサンド奏法／フォール効果と通常のピッチ変化を切り替えて使用したい場合に利用します。
- レガート演奏時に強く弾くと、独特の装飾音を再現できます。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、Staccato、Flutter	奏法のバリエーションを選びます。
Noise Level (CC16)	-64 ~ +63	管楽器のプレス・ノイズの量を調節します。
Growl Sens (CC18)	0 ~ 127	管楽器を吹いたときに発生する独特のニュアンス (うなり感) を好みの量に調節します。

022 : Alto Sax

023 : Tenor Sax

024 : Baritone Sax

- ゾーン・パラメーターの P.Bend Range を Tone に設定すると、ピッチ・ベンド・レバーの操作でグリッサンド奏法／フォール効果が得られます。
- ※ ピッチ・ベンド・レバーをアップの方向に操作をすると、グリッサンド奏法が得られます。
- ※ ピッチ・ベンド・レバーをダウンの方向に操作をすると、フォール効果が得られます。
- P.Bend Range を Tone 以外に設定したときは、Bend Mode (CC19) が ON のときにこの効果が得られます。グリッサンド奏法／フォール効果と通常のピッチ変化を切り替えて使用したい場合に利用します。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、Staccato、Fall、Subtone	奏法のバリエーションを選びます。
Noise Level (CC16)	-64 ~ +63	管楽器のプレス・ノイズの量を調節します。
Growl Sens (CC18)	0 ~ 127	管楽器を吹いたときに発生する独特のニュアンス (うなり感) を好みの量に調節します。
Play Scale Chromatic	Chromatic、Major、Minor、7th、Diminish、Whole	指定したスケールに応じた跳躍するようなピッチ変化が得られます。
Scale Key	C、D \flat 、D、E \flat 、E、F、G \flat 、G、A \flat 、A、B \flat 、B	Play Scale で指定したスケールのキーを指定します。
Glide	GLISS、PORTA	ポルタメント SW が ON のときにポルタメントするかグリッサンドするかを設定します。

025 : London Choir

- ダイナミクスによる音量変化とバリエーション・ボイスの組み合わせで多彩な表現が可能です。

パラメーター	設定値	説明
Variation	OFF、Voice Woo	奏法のバリエーションを選びます。
Hold Legato Mode (CC19)	OFF、ON	ホールド(CC64)をONにしたときの、楽音の発音状態を変更します。Hold Legato Mode をONにすると押鍵したタイミングで、ホールドされた音を消音します。たとえば、ホールド (CC64) をONの状態、C Maj を押鍵、離鍵するとC Maj の音がホールドされます。続けてE Maj の音を押鍵するとC Maj の音が消音されて、E Maj の音が鳴ります。

バリエーション音色一覧

NUM	NAME	Variation1 (CC#80 = 127)	Variation2 (CC#81 = 127)	Variation3 (CC#82 = 127)
001	Fingered Bass	Slap	Harmonics	-
002	Fretless Bass	Staccato	Harmonics	-
003	Harp	Nail	-	-
004	Violin 1	Staccato	Pizzicato	Tremolo
005	Violin 2	Staccato	Pizzicato	Tremolo
006	Viola	Staccato	Pizzicato	Tremolo
007	Cello 1	Staccato	Pizzicato	Tremolo
008	Cello 2	Staccato	Pizzicato	Tremolo
009	Contrabass	Staccato	Pizzicato	Tremolo
010	Erhu	Staccato	Ornament	-
011	Strings	Staccato	Pizzicato	Tremolo
012	Marcato Strings	Staccato	Pizzicato	Tremolo
013	Trumpet	Staccato	Fall	-
014	Mute Trumpet	Staccato	Fall	-
015	Trombone	Staccato	Fall	-
016	Oboe	Staccato	-	-
017	Clarinet	Staccato	-	-
018	Uilleann Pipes	Drone	Ornament	-
019	Bag Pipes	Drone	Ornament	-
020	Piccolo	Staccato	-	-
021	Pan Flute	Staccato	Flutter	-
022	Alto Sax	Staccato	Fall	Subtone
023	Tenor Sax	Staccato	Fall	Subtone
024	Baritone Sax	Staccato	Fall	Subtone
025	London Choir	Voice Woo	-	-

※それぞれのコントロール・チェンジの値を「0」で送信すると、バリエーションは「OFF」になります。

SuperNATURAL Acoustic Piano/E.Piano トーン・パラメーター

1. トーンが割り当てられているゾーンを選びます。
2. [MENU] ボタンを押します。
MENU 画面が表示されます。
3. <TONE EDIT> にタッチします。
TONE EDIT 画面が表示されます。
4. エディットしたいセクションのタブにタッチします。
5. カーソルを目的のパラメーターに合わせて、設定値を変更します。

注意

エディットしたパラメーターは一時的なものです。電源を切ると消えてしまいます。設定を残しておきたいときは、トーンを保存してください。

COMMON

パラメーター	設定値	説明
Category	00 ~ 49	トーンのカテゴリを選びます。
Level	0 ~ 127	トーン全体の音量を調節します。
Pan	L64 ~ 0 ~ 63R	トーンのパンを設定します。[L64] で最も左、[0] で中央、[63R] で最も右に定位します。
Coarse Tune	-48 ~ +48 [semitone]	音の高さを半音単位 (±4 オクターブまで) で設定します。
Fine Tune	-50 ~ +50 [cent]	音の高さを1セント単位 (±50 セントまで) で設定します。
Octave Shift	-3 ~ +3	トーンの音の高さをオクターブ単位 (±3 オクターブまで) で設定します。
Mono/Poly		トーンの鳴らしかたをポリフォニック (POLY) にするか、モノフォニック (MONO) にするかを設定します。
	MONO	1音ずつ最後に押したキーの音だけを鳴らせます。
	POLY	複数の音を同時に鳴らせます。
Chorus Send Level	0 ~ 127	MFX を経由しない、コーラスのかかり具合を設定します。コーラスをかけないときは0に設定します。
Reverb Send Level	0 ~ 127	MFX を経由しない、リバーブのかかり具合を設定します。リバーブをかけないときは0に設定します。

INST

パラメーター	設定値	説明
各インストのパラメーター		選んだインストのパラメーターを設定します。「SuperNATURAL Inst パラメーター」をご覧ください。

MFX

パラメーター	設定値	説明
MFX Type		MFX のタイプを選びます。

パラメーター	設定値	説明
MFX Switch	OFF、ON	MFX のオン/オフを設定します。
MFX Chorus Send Level	0 ~ 127	コーラスのかかり具合を設定します。コーラスをかけないときは0に設定します。
MFX Reverb Send Level	0 ~ 127	リバーブのかかり具合を設定します。リバーブをかけないときは0に設定します。
MFX パラメーター		選んだ MFX のパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、MFX Type で設定したエフェクトの種類によって異なります。

MFX CTRL

パラメーター	設定値	説明
Control 1 ~ 4 Source		MFX CONTROL を使うとき、どの MIDI 情報でパラメーターをコントロールするかを設定します。
	OFF	MFX CONTROL を使いません。
	CC01 ~ 31	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31
	CC33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 33 ~ 95
	BEND	ピッチ・バンド
	AFT	アフタータッチ
	SYS-CTRL1 ~ 4	System Control Source1 ~ 4 で設定しているコントローラーを使います。
Control 1 ~ 4 Destination		MFX CONTROL を使って、マルチエフェクトのどのパラメーターをコントロールするかを設定します。コントロールできるパラメーターは、マルチエフェクト・タイプによって異なります。
Control 1 ~ 4 Sens	-63 ~ +63	MFX CONTROL の効果のかかり具合を設定します。設定したパラメーターの値を現在の値からプラス方向 (大きい値、右方向、速いなど) に変化させるときはプラスの値に、マイナス方向 (小さい値、左方向、遅いなど) に変化させるときはマイナスの値に設定します。数値が大きいほど変化は大きくなります。

SuperNATURAL Inst パラメーター

SuperNATURAL Acoustic Piano トーン

パラメーター	設定値	説明
Stereo Width	0 ~ 100	音の広がりを調節します。

SuperNATURAL E.Piano トーン

パラメーター	設定値	説明
Noise Level	0 ~ 127	ノイズの量を調節します。

注意

INST タブで **[No Parameter]** と表示されるトーンには、Inst パラメーターはありません。

システム・エフェクト・パラメーター (SYSTEM EFFECT)

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。

2. < EFFECTS EDIT >にタッチします。

EFFECTS EDIT 画面が表示されます。

3. エディットしたいセクションの< EDIT >にタッチします。

4. カーソルを目的のパラメーターに合わせて、設定値を変更します。

注意

エディットした各種エフェクトは一時的なものです。電源を切ると消えてしまいます。設定を残しておきたいときは、システム設定を保存してください。

マスター FX (MASTER FX)

Mastering COMP

パラメーター	設定値	説明
Switch	OFF、ON	マスタリング COMP (FANTOM の音源全体にかけるコンプレッサー) を、使う (ON) か使わない (OFF) かを設定します。
Low Attack Time	0.1 ~ 100 [ms]	Low Threshold を超える入力があったときに、低域の音量を圧縮するまでの時間を設定します。
Low Release Time	10 ~ 1000 [ms]	圧縮がかかっている状態から、入力が Low Threshold より小さくなって、低域の圧縮をやめるまでの時間を設定します。
Low Threshold	-60 ~ 0 [dB]	低域の圧縮を始める音量レベルを設定します。
Low Ratio	1:1、2:1、3:1、4:1、8:1、16:1、32:1、INF:1	低域の圧縮比を設定します。
Low Knee	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 Low Threshold より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
Low Output Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	低域の出力音量を設定します。
Mid Attack Time	0.1 ~ 100 [ms]	Mid Threshold を超える入力があったときに、中域の音量を圧縮するまでの時間を設定します。
Mid Release Time	10 ~ 1000 [ms]	圧縮がかかっている状態から、入力が Mid Threshold より小さくなって、中域の圧縮をやめるまでの時間を設定します。
Mid Threshold	-60 ~ 0 [dB]	中域の圧縮を始める音量レベルを設定します。
Mid Ratio	1:1、2:1、3:1、4:1、8:1、16:1、32:1、INF:1	中域の圧縮比を設定します。
Mid Knee	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 Mid Threshold より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。

パラメーター	設定値	説明
Mid Output Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	中域の出力音量を設定します。
High Attack Time	0.1 ~ 100 [ms]	High Threshold を超える入力があったときに、高域の音量を圧縮するまでの時間を設定します。
High Release Time	10 ~ 1000 [ms]	圧縮がかかっている状態から、入力が High Threshold より小さくなって、高域の圧縮をやめるまでの時間を設定します。
High Threshold	-60 ~ 0 [dB]	高域の圧縮を始める音量レベルを設定します。
High Ratio	1:1、2:1、3:1、4:1、8:1、16:1、32:1、INF:1	高域の圧縮比を設定します。
High Knee	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 High Threshold より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
High Output Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	高域の出力音量を設定します。
Split Freq Low	16 ~ 16000 [Hz]	低域 (LOW) と中域 (MID) の帯域を分割する周波数を設定します。
Split Freq Hi		高域 (HIGH) と中域 (MID) の帯域を分割する周波数を設定します。

Mastering EQ

パラメーター	設定値	説明
Switch	OFF、ON	マスタリング EQ (FANTOM の音源全体にかけるイコライザー) を、使う (ON) か使わない (OFF) かを設定します。
EQ Input Gain	-24 ~ +24 [dB]	EQ への入力の増幅/減衰量を調節します。
Low Gain	-24 ~ +24 [dB]	低域の増幅/減衰量を調節します。
Low Freq	20 ~ 16000 [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
Mid1 Gain	-24 ~ +24 [dB]	中域 1 の増幅/減衰量を調節します。
Mid1 Freq	20 ~ 16000 [Hz]	中域 1 の基準周波数を設定します。
Mid1 Q	0.5 ~ 16.0	中域 1 の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
Mid2 Gain	-24 ~ +24 [dB]	中域 2 の増幅/減衰量を調節します。
Mid2 Freq	20 ~ 16000 [Hz]	中域 2 の基準周波数を設定します。
Mid2 Q	0.5 ~ 16.0	中域 2 の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
Mid3 Gain	-24 ~ +24 [dB]	中域 3 の増幅/減衰量を調節します。
Mid3 Freq	20 ~ 16000 [Hz]	中域 3 の基準周波数を設定します。
Mid3 Q	0.5 ~ 16.0	中域 3 の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
High Gain	-24 ~ +24 [dB]	高域の増幅/減衰量を調節します。

システム・エフェクト・パラメーター (SYSTEM EFFECT)

パラメーター	設定値	説明
High Freq	20 ~ 16000 [Hz]	高域の基準周波数を設定します。

TFX

パラメーター	設定値	説明
MFX Switch	OFF、ON	MFX のオン/オフを設定します。
MFX Type	MFX のタイプを選びます。	
MFX パラメーター	選んだ MFX のパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、MFX Type で設定したエフェクトの種類によって異なります。 → 「MFX/IFX パラメーター」 (P.57)	

オーディオ・イン・エフェクト (AUDIO IN EFFECT)

LOW CUT

パラメーター	設定値	説明
Low Cut Frequency	20 ~ 800 [Hz]	カットする低域の基準周波数を設定します。

VOCODER

→ **「VOCODER SETTING」** (P.11) をご覧ください。

NOISE SUPPRESSOR

パラメーター	設定値	説明
Switch	OFF、ON	ノイズ・サプレッサーのオン/オフを設定します。
Noise Suppressor Threshold	-96 ~ 0 [dB]	ノイズを抑え始める音量を調整します。
Noise Suppressor Release	0 ~ 127	ノイズを抑え始めてから、音量が 0 になるまでの時間を調節します。

メモ

Vocoder の SETTING は SCENE へ保存されます。
→ **「VOCODER SETTING」** (P.11) をご覧ください。

MFX

パラメーター	設定値	説明
MFX Switch	OFF、ON	MFX のオン/オフを設定します。
MFX Type	MFX のタイプを選びます。	
MFX パラメーター	選んだ MFX のパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、MFX Type で設定したエフェクトの種類によって異なります。 → 「MFX/IFX パラメーター」 (P.57)	

INPUT EQ

パラメーター	設定値	説明
Switch	OFF、ON	インプット EQ (FANTOM の外部入力に付けるイコライザー) を、使う (ON) か使わない (OFF) かを設定します。
EQ Input Gain	-24 ~ +24 [dB]	EQ への入力の増幅/減衰量を調節します。
Low Gain	-24 ~ +24 [dB]	低域の増幅/減衰量を調節します。
Low Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
Mid1 Gain	-24 ~ +24 [dB]	中域 1 の増幅/減衰量を調節します。
Mid1 Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	中域 1 の基準周波数を設定します。
Mid1 Q	0.5 ~ 16.0	中域 1 の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
Mid2 Gain	-24 ~ +24 [dB]	中域 2 の増幅/減衰量を調節します。
Mid2 Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	中域 2 の基準周波数を設定します。
Mid2 Q	0.5 ~ 16.0	中域 2 の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
Mid3 Gain	-24 ~ +24 [dB]	中域 3 の増幅/減衰量を調節します。
Mid3 Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	中域 3 の基準周波数を設定します。
Mid3 Q	0.5 ~ 16.0	中域 3 の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
High Gain	-24 ~ +24 [dB]	高域の増幅/減衰量を調節します。
High Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	高域の基準周波数を設定します。

INPUT REVERB

パラメーター	設定値	説明
Switch	OFF、ON	リバーブのオン/オフを設定します。
リバーブ・タイプ (Reverb Type)	リバーブのタイプを選びます。	
Level	0 ~ 127	リバーブをかけた音の出力レベルを設定します。
リバーブ・パラメーター	選んだリバーブのパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、Reverb Type で設定したリバーブの種類によって異なります。 → 「リバーブ・パラメーター」 (P.9)	

MFX/IFX パラメーター

00 Thru 58 ページ

フィルター系

01 Equalizer (イコライザー)	58 ページ
02 Spectrum (スペクトラム)	58 ページ
03 Isolator (アイソレーター)	59 ページ
04 Low Boost (ロー・ブースト)	59 ページ
05 Super Filter (スーパー・フィルター)	60 ページ
06 Step Filter (ステップ・フィルター)	60 ページ
07 Enhancer (エンハンサー)	60 ページ
08 Auto Wah (オート・ワウ)	61 ページ
09 Humanizer (ヒューマナイザー)	61 ページ
10 Speaker Simulator (スピーカー・シミュレーター)	62 ページ

モジュレーション系

11 Phaser (フェイザー)	62 ページ
12 Small Phaser (スモール・フェイザー)	63 ページ
13 Script 90 (スクリプト 90)	63 ページ
14 Step Phaser (ステップ・フェイザー)	63 ページ
15 Multi Stage Phaser (マルチ・ステージ・フェイザー)	64 ページ
16 Infinite Phaser (インフィニット・フェイザー)	64 ページ
17 Ring Modulator (リング・モジュレーター)	64 ページ
18 Tremolo (トレモロ)	65 ページ
19 Auto Pan (オート・パン)	65 ページ
20 Slicer (スライサー)	66 ページ
21 Rotary (ロータリー)	66 ページ
22 VK Rotary (VK ロータリー)	67 ページ

コーラス系

23 Chorus (コーラス)	67 ページ
24 Flanger (フランジャー)	68 ページ
25 Step Flanger (ステップ・フランジャー)	68 ページ
26 Hexa-Chorus (ヘキサ・コーラス)	69 ページ
27 Tremolo Chorus (トレモロ・コーラス)	69 ページ
28 Space-D (スペース D)	70 ページ

ダイナミクス系

29 Overdrive (オーバードライブ)	70 ページ
30 Distortion (ディストーション)	70 ページ
31 T-Scream (T スクリーム)	70 ページ
32 Guitar Amp Simulator (ギター・アンプ・シミュレーター)	71 ページ
33 Compressor (コンプレッサー)	71 ページ
34 Limiter (リミッター)	72 ページ
35 Sustainer (サステイナー)	72 ページ
36 Gate (ゲート)	72 ページ

ディレイ系

37 Delay (ディレイ)	73 ページ
38 Modulation Delay (モジュレーション・ディレイ)	74 ページ
39 3Tap Pan Delay (3 タップ・パン・ディレイ)	75 ページ
40 4Tap Pan Delay (4 タップ・パン・ディレイ)	75 ページ
41 Multi Tap Delay (マルチ・タップ・ディレイ)	76 ページ
42 Reverse Delay (リバース・ディレイ)	77 ページ
43 Time Ctrl Delay (タイム・コントロール・ディレイ)	78 ページ
44 Tape Echo (テープ・エコー)	78 ページ

ローファイ系

45 LOFI Compress (ローファイ・コンプレス)	79 ページ
46 Bit Crusher (ビット・クラッシャー)	79 ページ

ピッチ系

47 Pitch Shifter (ピッチ・シフター)	79 ページ
48 2Voice Pitch Shifter (2 ボイス・ピッチ・シフター)	80 ページ

コンビネーション系

49 Overdrive → Chorus (オーバードライブ → コーラス)	80 ページ
50 Overdrive → Flanger (オーバードライブ → フランジャー)	81 ページ
51 Overdrive → Delay (オーバードライブ → ディレイ)	81 ページ
52 Distortion → Chorus (ディストーション → コーラス)	82 ページ
53 Distortion → Flanger (ディストーション → フランジャー)	82 ページ
54 Distortion → Delay (ディストーション → ディレイ)	83 ページ
55 OD/DS → TouchWah (オーバードライブ/ディストーション → タッチ・ワウ)	83 ページ
56 OD/DS → AutoWah (オーバードライブ/ディストーション → オート・ワウ)	84 ページ
57 GtAmpSim → Chorus (ギター・アンプ・シミュレーター → コーラス)	84 ページ
58 GtAmpSim → Flanger (ギター・アンプ・シミュレーター → フランジャー)	85 ページ
59 GtAmpSim → Phaser (ギター・アンプ・シミュレーター → フェイザー)	86 ページ
60 GtAmpSim → Delay (ギター・アンプ・シミュレーター → ディレイ)	87 ページ
61 EPampSim → Tremolo (EP アンプ・シミュレーター → トレモロ)	88 ページ
62 EPampSim → Chorus (EP アンプ・シミュレーター → コーラス)	89 ページ
63 EPampSim → Flanger (EP アンプ・シミュレーター → フランジャー)	89 ページ
64 EPampSim → Phaser (EP アンプ・シミュレーター → フェイザー)	90 ページ
65 EPampSim → Delay (EP アンプ・シミュレーター → ディレイ)	90 ページ
66 Enhancer → Chorus (エンハンサー → コーラス)	91 ページ
67 Enhancer → Flanger (エンハンサー → フランジャー)	91 ページ
68 Enhancer → Delay (エンハンサー → ディレイ)	92 ページ
69 Chorus → Delay (コーラス → ディレイ)	92 ページ
70 Flanger → Delay (フランジャー → ディレイ)	93 ページ
71 Chorus → Flanger (コーラス → フランジャー)	93 ページ

その他

72 CE-1 (コーラス)	93 ページ
73 SBF-325 (フランジャー)	94 ページ
74 SDD-320 (ディメンション D)	94 ページ
75 2Tap Pan Delay (2 タップ・パン・ディレイ)	95 ページ
76 Transient (トランジェント)	95 ページ
77 Mid-Side EQ (ミッド・サイド・イコライザー)	96 ページ
78 Mid-Side Compressor (ミッド・サイド・コンプレッサー)	97 ページ
79 Tone Fattener (トーン・ファタナー)	97 ページ
80 Mid-Side Delay (ミッド・サイド・ディレイ)	98 ページ
81 RD EPampSim (RD EP アンプ・シミュレーター)	98 ページ
82 DJFX Looper (DJFX ルーパー)	99 ページ
83 BPM Looper (BPM ルーパー)	99 ページ
84 Saturator (サチュレーター)	100 ページ
85 Warm Saturator (ウォーム・サチュレーター)	101 ページ
86 Fuzz (ファズ)	101 ページ
87 JUNO-106 Chorus (JUNO-106 コーラス)	102 ページ
88 Multi Mode Filter (マルチ・モード・フィルター)	102 ページ
89 HMS Distortion (HMS ディストーション)	102 ページ
90 Script 100 (スクリプト 100)	102 ページ

00 Thru



01 Equalizer (イコライザー)

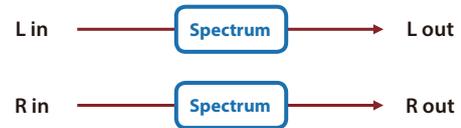
低域、中域×2、高域の音質を調節します。



パラメーター	設定値	説明
Low Freq (Low Frequency)	20、25、31、40、50、63、80、100、125、160、200、250、315、400 [Hz]	低域の基準周波数
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
Mid1 Freq (Mid1 Frequency)	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	中域 1 の基準周波数
Mid1 Gain	-15 ~ +15 [dB]	中域 1 の増幅/減衰量
Mid1 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域 1 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
Mid2 Freq (Mid2 Frequency)	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	中域 2 の基準周波数
Mid2 Gain	-15 ~ +15 [dB]	中域 2 の増幅/減衰量
Mid2 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域 2 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
High Freq (High Frequency)	2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、10000、12500、16000 [Hz]	高域の基準周波数
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

02 Spectrum (スペクトラム)

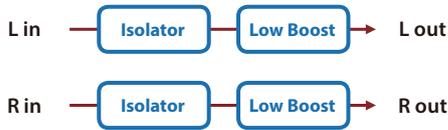
ステレオ仕様のスペクトラムです。特定の周波数のレベルを増減させて音色を変えます。



パラメーター	設定値	説明
250Hz	-15 ~ +15 [dB]	各周波数帯の増幅/減衰量
500Hz		
1000Hz		
1250Hz		
2000Hz		
3150Hz		
4000Hz		
8000Hz		
Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	周波数帯の幅 (各バンド共通)
Level	0 ~ 127	出力音量

03 Isolator (アイソレーター)

音量をカットする度合いが非常に大きなイコライザーで、各音域の音量をカットすることにより特殊な効果が得られます。



パラメーター	設定値	説明
Low Gain	-60 ~ +4 [dB]	低域／中域／高域の増幅／減衰量
Mid Gain	-60 ~ +4 [dB]	-60dB にすると、その帯域は聴こえなくなります。0dB で入力音と同じレベルです。
High Gain	-60 ~ +4 [dB]	
Anti Phase Low	OFF、ON	低域 (Low) の帯域別アンチ・フェイズ機能のオン／オフ オンにすると、ステレオの反対チャンネルの音が位相反転されて加えられます。
Anti Phase Low Level	0 ~ 127	低域 (Low) の帯域別アンチ・フェイズ機能のレベル レベルの設定によって、特定のパートだけを抽出するような効果が得られます (ステレオ入力のみ有効)。
Anti Phase Mid	OFF、ON	中域 (Middle) の帯域別アンチ・フェイズ機能の設定
Anti Phase Mid Level	0 ~ 127	設定項目は低域 (Low) と同じです。
Low Boost	OFF、ON	ロー・ブースターのオン／オフ 低域を増強して重低音を作り出します。
Low Boost Level	0 ~ 127	ブースト量 アイソレーターやフィルターの設定によっては、効果がわかりにくい場合があります。
Level	0 ~ 127	出力音量

04 Low Boost (ロー・ブースト)

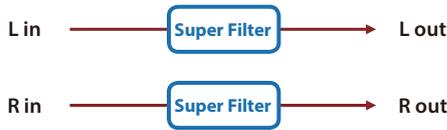
低域の音量を増幅させ、重低音を作り出します。



パラメーター	設定値	説明
Boost Frequency	50、56、63、71、80、90、100、112、125 [Hz]	増幅する低域の基準周波数
Boost Gain	0 ~ +12 [dB]	増幅する低域の基準周波数
Boost Width	WIDE、MID、NARROW	増幅する低域の幅
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

05 Super Filter (スーパー・フィルター)

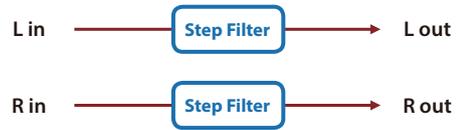
非常に急峻な傾き（減衰特性）を持つフィルターです。カットオフ周波数を周期的に変化させることもできます。



パラメーター	設定値	説明
Type	LPF、BPF、HPF、NOTCH	フィルターの種類 各フィルターを通過する周波数 LPF : Cutoff 以下の周波数 BPF : Cutoff 付近の周波数 HPF : Cutoff 以上の周波数 NOTCH : Cutoff 付近以外の周波数
Slope	-12、-24、-36 [dB]	フィルターの傾き（減衰特性、1オクターブあたりの減衰量） -12dB : 緩やか、 -24dB : 急峻、 -36dB : 非常に急峻
Cutoff	0 ~ 127	フィルターのカットオフ周波数 値を大きくするほど高い周波数になります。
Resonance	0 ~ 100	フィルターの共振レベル 値を大きくするほどカットオフ周波数付近が強調されます。
Filter Gain	0 ~ +12 [dB]	フィルター出力の増幅量
Modulation	OFF、ON	周期的な変化のオン/オフ
Modulation Wave	TRI、SQR、SIN、SAW1、SAW2	カットオフ周波数の変化のしかた TRI : 三角波 SQR : 矩形波 SIN : 正弦波 SAW1 : のこぎり波（上昇） SAW2 : のこぎり波（下降）
	SAW1 SAW2	
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Attack	0 ~ 127	カットオフ周波数の変化の速さ Modulation Wave が SQR、SAW1、SAW2 の場合に効果があります。
Level	0 ~ 127	出力音量

06 Step Filter (ステップ・フィルター)

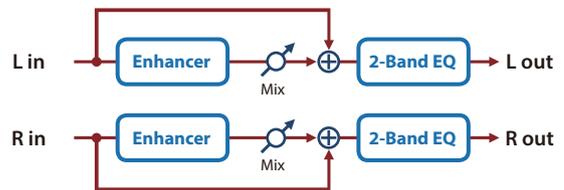
カットオフ周波数を段階的に変化させるフィルターです。変化のパターンを任意に設定することができます。



パラメーター	設定値	説明
Step 01 ~ 16	0 ~ 127	各ステップにおけるカットオフ周波数
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Attack	0 ~ 127	カットオフ周波数がステップ間で変化する速さ
Filter Type	LPF、BPF、HPF、NOTCH	フィルターの種類 各フィルターを通過する周波数 LPF : Cutoff 以下の周波数 BPF : Cutoff 付近の周波数 HPF : Cutoff 以上の周波数 NOTCH : Cutoff 付近以外の周波数
Filter Slope	-12、-24、-36 [dB]	フィルターの傾き（減衰特性、1オクターブあたりの減衰量） -12dB : 緩やか、 -24dB : 急峻、 -36dB : 非常に急峻
Filter Resonance	0 ~ 127	フィルターの共振レベル 値を大きくするほどカットオフ周波数付近が強調されます。
Filter Gain	0 ~ +12 [dB]	フィルター出力の増幅量
Level	0 ~ 127	出力音量

07 Enhancer (エンハンサー)

高域の倍音成分をコントロールすることで、音にメリハリを付け、音ヌケをよくします。



パラメーター	設定値	説明
Sens	0 ~ 127	エンハンサーのかかり具合
Mix	0 ~ 127	生成された倍音の音量
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

08 Auto Wah (オート・ワウ)

フィルターを周期的に動かすことで、ワウ効果（音色が周期的に変化する効果）を得るエフェクターです。



パラメーター	設定値	説明
Filter Type	LPF、BPF	フィルターの種類 LPF ：広い周波数範囲でワウ効果が得られます。 BPF ：狭い周波数範囲でワウ効果が得られます。
Manual	0 ~ 127	ワウ効果を与える基準周波数
Peak	0 ~ 127	ワウ効果のかかる周波数帯の幅値を大きくするほど周波数帯の幅が狭くなります。
Sens	0 ~ 127	フィルターを変化させる感度
Polarity	UP、DOWN	フィルターの動く方向 UP ：高い周波数方向 DOWN ：低い周波数方向
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	ワウ効果の揺れの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	ワウ効果の揺れの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	左右の音でワウ効果の揺れをずらすときの割合
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

09 Humanizer (ヒューマナイザー)

人間の声のように、音に母音を付けることができます。



パラメーター	設定値	説明
Drive Sw	OFF、ON	オーバードライブのオン／オフ
Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Vowel1	a、e、i、o、u	母音 1
Vowel2	a、e、i、o、u	母音 2
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	母音 1/2 の切り替え周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	効果の深さ
Input Sync Sw	OFF、ON	LFO リセットのオン／オフ ON にすると、母音を切り替えるための LFO が入力音によってリセットされます。
Input Sync Threshold	0 ~ 127	リセットをかける音量レベル
Manual	0 ~ 100	母音 1/2 の切り替えポイント 0 ~ 49 ：Vowel 1 の時間が長くなります。 50 ：Vowel 1 と 2 が同じ時間で切り替わります。 51 ~ 100 ：Vowel 2 の時間が長くなります。
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Level	0 ~ 127	出力音量

10 Speaker Simulator (スピーカー・シミュレーター)

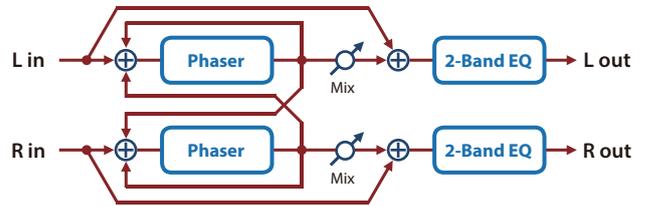
スピーカーのタイプとスピーカーの音を録るマイクのセッティングをシミュレートします。



パラメーター	設定値	説明	
Speaker Type		キャビネット スピーカーの径 (インチ) と個数 マイク	
	SMALL 1	小型後面開放型	10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型	10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型	12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型	12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN 1	後面開放型	12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN 2	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 3	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 4	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 5	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BG STACK 1	密閉型	12 x 2 コンデンサー
	BG STACK 2	大型密閉型	12 x 2 コンデンサー
	MS STACK 1	大型密閉型	12 x 4 コンデンサー
	MS STACK 2	大型密閉型	12 x 4 コンデンサー
	METAL STACK	大型 2 段重ね	12 x 4 コンデンサー
2-STACK	大型 2 段重ね	12 x 4 コンデンサー	
3-STACK	大型 3 段重ね	12 x 4 コンデンサー	
Mic Setting	1、2、3	スピーカーの音を収録するマイクの位置 1/2/3 の順でマイクの位置が遠ざかります。	
Mic Level	0 ~ 127	マイクの音量	
Direct Level	0 ~ 127	ダイレクト音の音量	
Level	0 ~ 127	出力音量	

11 Phaser (フェイザー)

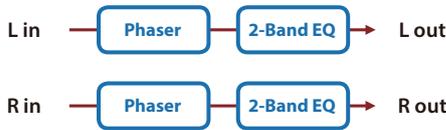
ステレオ仕様のフェイザーです。原音に位相をずらした音を加えてうねらせます。



パラメーター	設定値	説明
Mode	4-STAGE、8-STAGE、12-STAGE	フェイザーの段数
Manual	0 ~ 127	音をうねらせる基準周波数
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	うねりの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	うねりの深さ
Polarity	INVERSE、SYNCHRO	モジュレーションの左右の位相 INVERSE : 左右逆相 モノ・ソースを使用したときに音の広がりができます。 SYNCHRO : 左右同相 ステレオ・ソースを使用するときを選びます。
Resonance	0 ~ 127	フィードバック量
Cross Feedback	-98 ~ +98 [%]	フェイザー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

12 Small Phaser (スモール・フェイザー)

往年のアナログ・フェイザーをシミュレートしたものです。エレクトリック・ピアノに適しています。



パラメーター	設定値	説明
Rate	0 ~ 100	うねりの周期
Color	1、2	うねりのキャラクター
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

13 Script 90 (スクリプト 90)

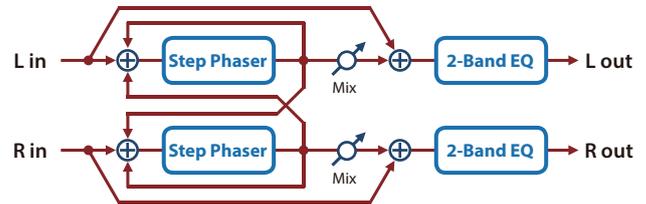
スモール・フェイザーとは異なるアナログ・フェイザーをシミュレートしたものです。エレクトリック・ピアノに適しています。



パラメーター	設定値	説明
Speed	0 ~ 100	うねりの速さ
Depth	0 ~ 127	うねりの深さ
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

14 Step Phaser (ステップ・フェイザー)

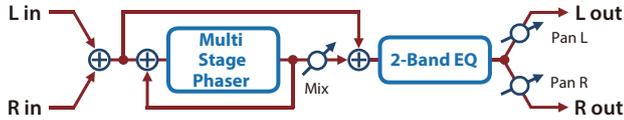
ステレオ仕様のフェイザーです。フェイザー効果が段階的に変化します。



パラメーター	設定値	説明
Mode	4-STAGE、8-STAGE、12-STAGE	フェイザーの段数
Manual	0 ~ 127	音をうねらせる基準周波数
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	うねりの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	うねりの深さ
Polarity	INVERSE、SYNCHRO	モジュレーションの左右の位相 INVERSE : 左右逆相 モノ・ソースを使用したときに音の広がりができます。 SYNCHRO : 左右同相 ステレオ・ソースを使用するときを選びます。
Resonance	0 ~ 127	フィードバック量
Cross Feedback	-98 ~ +98 [%]	フェイザー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Step Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Step Rate (Hz)	0.10 ~ 20.00 [Hz]	フェイザー効果の段階的変化の周期
Step Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

15 Multi Stage Phaser (マルチ・ステージ・フェイザー)

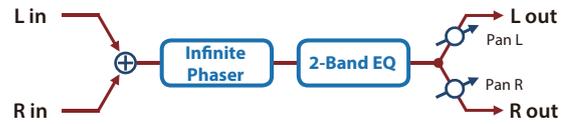
位相のずれを非常に大きくすることにより、深いフェイザー効果が得られます。



パラメーター	設定値	説明
Mode	4-STAGE、8-STAGE、12-STAGE、16-STAGE、20-STAGE、24-STAGE	フェイザーの段数
Manual	0 ~ 127	音をうねらせる基準周波数
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	うねりの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	うねりの深さ
Resonance	0 ~ 127	フィードバック量
Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

16 Infinite Phaser (インフィニット・フェイザー)

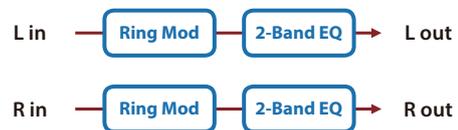
音がうねる周波数を上昇/下降させ続けることのできるフェイザーです。



パラメーター	設定値	説明
Mode	1、2、3、4	値が大きいほどフェイザーの効果が深くなります。
Speed	-100 ~ +100	音がうねる周波数が上昇/下降する速度 (+: 上昇 / -: 下降)
Resonance	0 ~ 127	フィードバック量
Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

17 Ring Modulator (リング・モジュレーター)

入力信号に振幅変調 (AM 変調) をかけることによりベルのような音を出すことができます。入力音の音量により、変調周波数を変化させることもできます。



パラメーター	設定値	説明
Frequency	0 ~ 127	変調をかける周波数
Sens	0 ~ 127	周波数の変調のかかり具合
Polarity	UP、DOWN	周波数の変調を動かす方向 UP : 高い周波数方向 DOWN : 低い周波数方向
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

18 Tremolo (トレモロ)

音量を周期的に動かします。



パラメーター	設定値	説明
Mod Wave		音量の揺れかた TRI : 三角波 SQR : 矩形波 SIN : 正弦波 SAW1/2 : のこぎり波 TRP : 台形波
	SAW1 SAW2	
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	エフェクトのかかる周期
Depth	0 ~ 127	エフェクトのかかる深さ
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

19 Auto Pan (オート・パン)

音の定位を周期的に変化させます。



パラメーター	設定値	説明
Mod Wave		定位の変化のしかた TRI : 三角波 SQR : 矩形波 SIN : 正弦波 SAW1/2 : のこぎり波 TRP : 台形波
	SAW1 R SAW2 R	
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	エフェクトのかかる周期
Depth	0 ~ 127	エフェクトのかかる深さ
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

20 Slicer (スライサー)

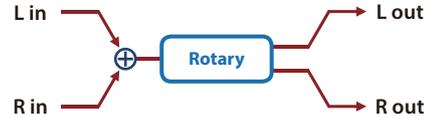
音を連続的にカットすることで、普通に音を鳴らしているだけで、バッキング・フレーズを刻んでいるような効果を作り出します。特に持続音にかけると効果的です。



パラメーター	設定値	説明
Step 01 ~ 16	0 ~ 127	各ステップにおける音のレベル
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	16 ステップのシーケンスを繰り返す周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Attack	0 ~ 127	音のレベルがステップ間で変化する速さ
Input Sync Sw	OFF、ON	入力音の発生に応じてステップのシーケンスを先頭から再開する (ON) かしないか (OFF) を選択
Input Sync Threshold	0 ~ 127	入力音の発生を検出する音量
Mode	LEGATO、SLASH	次の Step に移行するときの音量変化のしかた LEGATO : ある Step のレベルから次の Step のレベルへ、音量がそのまま変化します。次の Step のレベルが前の Step のレベルと同じである場合は、音量変化は起きません。 SLASH : 次の Step のレベルへ移行する前に、いったんレベルが 0 になります。 次の Step のレベルが前の Step のレベルと同じである場合であっても、この変化は起きます。
Shuffle	0 ~ 127	偶数番目の Step (Step 2、Step 4、Step 6 ...) のレベルへの音量変化のタイミング値 値が大きいほど移行のタイミングが遅くなります。
Level	0 ~ 127	出力音量

21 Rotary (ロータリー)

往年の回転スピーカー・サウンドをシミュレートします。高域と低域のローターの動作をそれぞれ独立して設定できるので、独特のうねり感をリアルに再現できます。オルガンのパッチに最も効果的です。

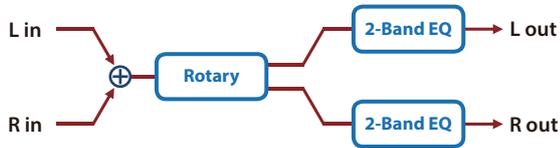


パラメーター	設定値	説明
Speed	SLOW、FAST	低域と高域のローターの回転速度 (周期) SLOW : 低速 (Slow Rate) FAST : 高速 (Fast Rate)
Woofer Slow Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz]	低域ローターの低速回転時 (SLOW) の周期
Woofer Fast Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz]	低域ローターの高速回転時 (FAST) の周期
Woofer Acceleration	0 ~ 15	回転速度の切り替え時、低域ローターの回転周期が変化する速度
Woofer Level	0 ~ 127	低域ローターの音量
Tweeter Slow Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Tweeter Fast Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz]	高域ローターの設定 設定項目は低域ローターと同じです。
Tweeter Acceleration	0 ~ 15	
Tweeter Level	0 ~ 127	
Separation	0 ~ 127	音の広がり具合
Level	0 ~ 127	出力音量

22 VK Rotary (VK ロータリー)

ロータリーのスピーカー特性を変えたタイプで、低域がより強調されています。

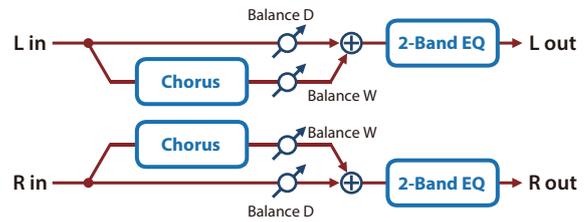
VK-7 に搭載されているロータリーと同じ仕様のエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Speed	SLOW、FAST	スピーカーの回転速度 (周期) SLOW : 低速 FAST : 高速
Brake	OFF、ON	スピーカーの回転のオン/オフ オンにするとスピーカーの回転は徐々に止まり、オフにすると回転を始めます。
Woofers Slow Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz]	ウーファの低速回転時の回転速度
Woofers Fast Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz]	ウーファの高速回転時の回転速度
Woofers Trans Up	0 ~ 127	Speed を SLOW から FAST に切り替えたときに、ウーファの回転速度が変化する速さ
Woofers Trans Down	0 ~ 127	Speed を FAST から SLOW に切り替えたときに、ウーファの回転速度が変化する速さ
Woofers Level	0 ~ 127	ウーファの音量
Tweeters Slow Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz]	ツイーターの設定 設定項目はウーファと同じです。
Tweeters Fast Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Tweeters Trans Up	0 ~ 127	
Tweeters Trans Down	0 ~ 127	
Tweeters Level	0 ~ 127	
Spread	0 ~ 10	回転スピーカーの音の広がり
OD Switch	OFF、ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル 値を大きくするほど歪みが増します。
OD Drive	0 ~ 127	歪み具合
OD Level	0 ~ 127	オーバードライブの音量
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

23 Chorus (コーラス)

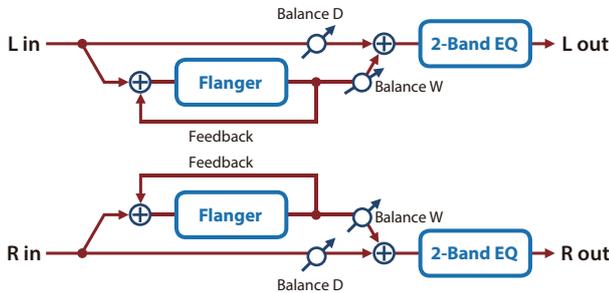
ステレオ仕様のコーラスです。フィルターを使ってコーラス音の音質を調節できます。



パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、HPF	フィルターの種類 OFF : フィルター未使用 LPF : 高域をカット HPF : 低域をカット
Cutoff Freq	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	コーラス音の広がり具合
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

24 Flanger (フランジャー)

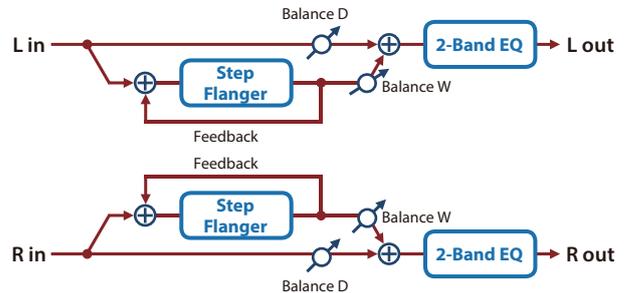
ステレオ仕様のフランジャーです (LFO は左右同相)。ジェット機の上昇音/下降音のような金属的な響きが得られます。フィルターを使ってフランジャー音の音質を調節できます。



パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、HPF	フィルターの種類 OFF : フィルター未使用 LPF : 高域をカット HPF : 低域をカット
Cutoff Freq	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	フランジャー音の広がり具合
Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

25 Step Flanger (ステップ・フランジャー)

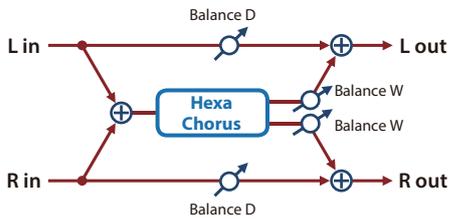
フランジャー音のピッチが段階的に変化します。ピッチ変化の周期は、特定のテンポに対する音符の長さで設定することもできます。



パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF、LPF、HPF	フィルターの種類 OFF : フィルター未使用 LPF : 高域をカット HPF : 低域をカット
Cutoff Freq	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ~ 100.0 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	フランジャー音の広がり具合
Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Step Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Step Rate (Hz)	0.10 ~ 20.00 [Hz]	ピッチ変化の周期
Step Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

26 Hexa-Chorus (ヘキサ・コーラス)

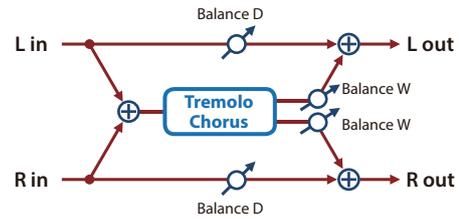
音に厚みと広がりを与える6相コーラス（ディレイ・タイムの異なる6つのコーラス音が重なる）です。



パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Pre Delay Deviation	0 ~ 20	各コーラス音の発音のずれ
Depth Deviation	-20 ~ +20	各コーラス音の揺れの深さの偏差
Pan Deviation	0 ~ 20	各コーラス音の定位の偏差 0 : すべて中央に定位 20 : 中央を基準に各コーラス音が60度間隔で定位
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

27 Tremolo Chorus (トレモロ・コーラス)

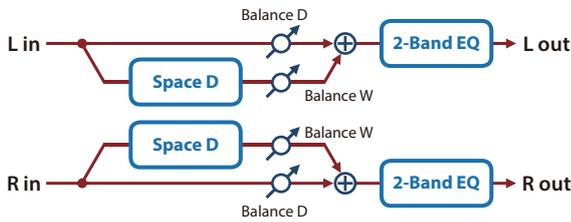
トレモロ効果（音量を周期的に揺らす）のかかったコーラスです。



パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Chorus Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Chorus Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	コーラス音の揺れの周期
Cho Note (Chorus Rate (note))	音符 → [音符] (P.103)	
Chorus Depth	0 ~ 127	コーラス音の揺れの深さ
Tremolo Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Tremolo Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	トレモロ効果の揺れの周期
Tremolo Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Tremolo Separation	0 ~ 127	トレモロ効果のかかる深さ
Tremolo Phase	0 ~ 180 [deg]	トレモロ効果の広がり具合
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とトレモロ・コーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

28 Space-D (スペースD)

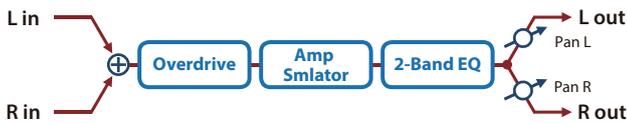
2相のモジュレーションをステレオでかける多重コーラスです。変調感はありませんが、透明感のあるコーラス効果が得られます。



パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	コーラス音の広がり具合
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

29 Overdrive (オーバードライブ)

強い歪みが得られるオーバードライブです。



パラメーター	設定値	説明
Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Tone	0 ~ 127	音質
Amp Sw	OFF、ON	アンプ・シミュレーターのオン/オフ
Amp Type	SMALL、BUILT-IN、2-STACK、3-STACK	ギター・アンプの種類 SMALL : 小型アンプ BUILT-IN : ビルト・イン・タイプ 2-STACK : 大型 2 段積みアンプ 3-STACK : 大型 3 段積みアンプ
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Level	0 ~ 127	出力音量

30 Distortion (ディストーション)

強い歪みが得られるディストーションです。



パラメーター	設定値	説明
Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Tone	0 ~ 127	音質
Amp Sw	OFF、ON	アンプ・シミュレーターのオン/オフ
Amp Type	SMALL、BUILT-IN、2-STACK、3-STACK	ギター・アンプの種類 SMALL : 小型アンプ BUILT-IN : ビルト・イン・タイプ 2-STACK : 大型 2 段積みアンプ 3-STACK : 大型 3 段積みアンプ
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Level	0 ~ 127	出力音量

31 T-Scream (Tスクリーム)

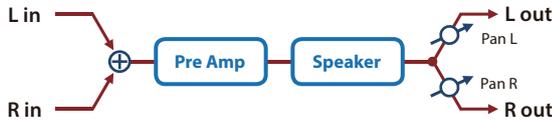
往年のアナログ・オーバードライブをモデリングしたものです。音が汚くならず適度な倍音加わるのが特長です。



パラメーター	設定値	説明
Distortion	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Tone	0 ~ 127	オーバードライブの音質
Level	0 ~ 127	出力音量

32 Guitar Amp Simulator (ギター・アンプ・シミュレーター)

ギター・アンプをシミュレートします。

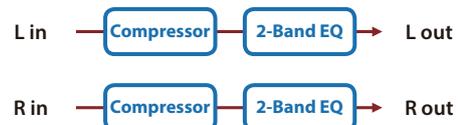


パラメーター	設定値	説明	
Pre Amp Sw	OFF、ON	アンプのスイッチ	
Pre Amp Type		ギター・アンプの種類	
	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。	
	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。	
	MATCH DRIVE	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。 ブルース・ロックからフュージョンまで幅広く使われている真空管アンプのサウンドが得られます。	
	BG LEAD	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。 70 年代後半～ 80 年代を代表する真空管アンプのサウンドです。	
	MS1959I	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。 ハード・ロックに適したトレブリーなサウンドです。	
	MS1959II	Marshall 1959 のインプット II に入力したサウンドをモデリングしています。	
	MS1959I+II	Marshall 1959 のインプット I と II をパラレル接続したサウンドをモデリングしています。I よりも低域が強調されたサウンドです。	
	SLDN LEAD	Soldano SLO-100 をモデリングしています。80 年代の代表的なサウンドです。	
	METAL 5150	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。	
	METAL LEAD	ヘビーなリフを演奏するのに最適なディストーション・サウンドです。	
	OD-1	ボス OD-1 のサウンドをモデリングしています。 甘くマイルドな歪みが得られます。	
	OD-2 TURBO	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。	
	DISTORTION	オーソドックスなディストーション・サウンドです。	
	FUZZ	倍音成分が豊かなファズ・サウンドです。	
	Pre Amp Drive	0 ~ 127	アンプの音量と歪み具合
	Pre Amp Master	0 ~ 127	プリ・アンプ全体の音量
Pre Amp Gain	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合	

パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Bass		
Pre Amp Middle	0 ~ 127	低域/中域/高域の音質
Pre Amp Treble		
Pre Amp Presence	0 ~ 127	超高域の音質
Pre Amp Bright	OFF、ON	「ON」にすると、歯切れの良い明るい音になります。 ※ プリ・アンプ・タイプが「JC-120」「CLEAN TWIN」「MATCH DRIVE」「BG LEAD」のときのみ有効です
Speaker Sw	OFF、ON	スピーカーを通すか (オン) / 通さないか (オフ) を選択
Speaker Type		キャビネット スピーカーの径 (インチ) マイク
	SMALL 1	小型後面開放型 10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型 10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型 12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN 1	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN 2	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 3	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 4	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 5	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK1	密閉型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK2	大型密閉型 12 x 2 コンデンサー
	MS STACK1	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
MS STACK2	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー	
MTL STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー	
2-STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー	
3-STACK	大型 3 段重ね 12 x 4 コンデンサー	
Mic Setting	1、2、3	スピーカーの音を収録するマイクの位置 1/2/3 の順でマイクの位置が遠ざかります。
Mic Level	0 ~ 127	マイクの音量
Direct Level	0 ~ 127	ダイレクト音の音量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Level	0 ~ 127	出力音量

33 Compressor (コンプレッサー)

大きなレベルの音を抑え、小さなレベルの音を持ち上げることで、全体の音量のばらつきを抑えます。



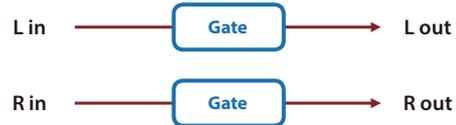
パラメーター	設定値	説明
Attack	0 ~ 124	Threshold を超える入力があったときに、音量を圧縮するまでの時間

パラメーター	設定値	説明
Release	0 ~ 124	圧縮がかかっている状態から、入力が Threshold より小さくなったときに、圧縮をやめるまでの時間
Threshold	-60 ~ 0 [dB]	圧縮を始める音量レベル
Knee	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 Threshold より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
Ratio	1:1、1.5:1、2:1、4:1、16:1、圧縮比 INF:1	
Post Gain	0 ~ +18 [dB]	出力する音のレベル
Level	0 ~ 127	出力音量

パラメーター	設定値	説明
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

36 Gate (ゲート)

エフェクターへの入力音の音量によって、残響音の余韻をカットします。音の余韻を強制的に短くするときなどに使います。



34 Limiter (リミッター)

指定の音量より大きな音を圧縮し、音の歪みを抑えます。



パラメーター	設定値	説明
Release	0 ~ 127	圧縮がかかっている状態から、入力が Threshold より小さくなったときに、圧縮をやめるまでの時間
Threshold	0 ~ 127	圧縮を始める音量レベル
Ratio	1.5:1、2:1、4:1、100:1	圧縮比
Post Gain	0 ~ +18 [dB]	出力する音のレベル
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

パラメーター	設定値	説明
Threshold	0 ~ 127	ゲートを閉じ始める音量レベル
Mode	GATE、DUCK	ゲートの種類 GATE (ゲート) : 原音の音量が小さくなるとゲートが閉じ、原音がカットされます。 DUCK (ダッキング) : 原音の音量が大きくなるとゲートが閉じ、原音がカットされます。
Attack	0 ~ 127	ゲートが開き始めてから、開ききるまでの所要時間
Hold	0 ~ 127	原音のスレッショルド・レベルを下回った瞬間から、ゲートが閉じ始めるまでの時間
Release	0 ~ 127	ホールド・タイム経過後、ゲートが閉じ始めてから閉じ終わるまでの所要時間
Balance	D100:0W ~ DO:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

35 Sustainer (サスティナー)

大入力を圧縮し、小入力を増幅することで音量を均一化して音を歪ませずにサスティン効果（音を延ばす効果）を得るエフェクトです。

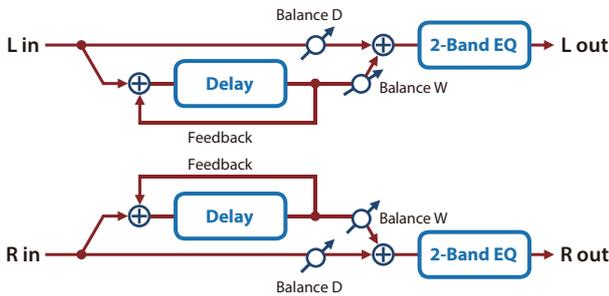


パラメーター	設定値	説明
Sustain	0 ~ 127	小入力信号を増幅し一定の音量にする範囲を調節します。値を大きくするほどサスティンが長くなります。
Attack	0 ~ 127	音量を圧縮するまでの時間
Release	0 ~ 127	圧縮をやめるまでの時間
Post Gain	-15 ~ +15 [dB]	出力する音のレベル

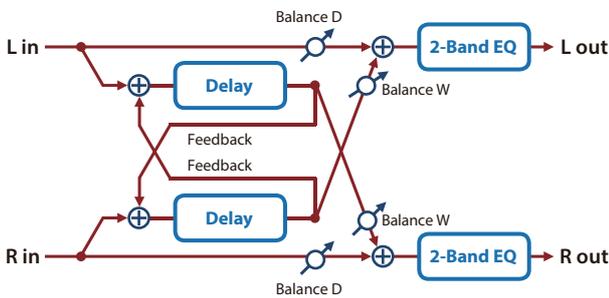
37 Delay (ディレイ)

ステレオ仕様のディレイです。

Feedback Mode が NORMAL の場合



Feedback Mode が CROSS の場合



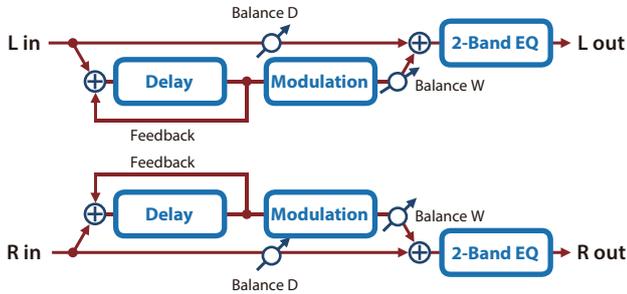
パラメーター	設定値	説明
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

パラメーター	設定値	説明
Sync Left	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Left (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Left (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync Right	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Right (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってから右のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Right (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Phase Left	NORMAL、INVERSE	左右のディレイ音の位相 NORMAL : 非反転 INVERT : 反転
Phase Right		
Feedback Mode	NORMAL、CROSS	ディレイ音を戻す入力先 (アルゴリズム図をご覧ください)
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS: カットしない)
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量

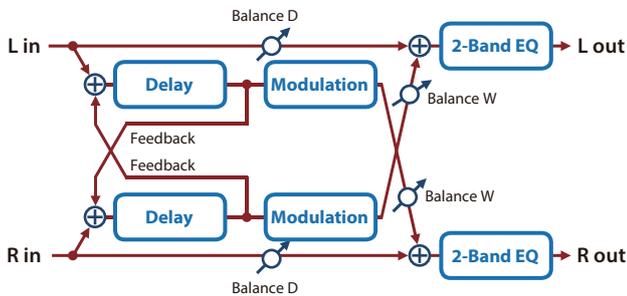
38 Modulation Delay (モジュレーション・ディレイ)

ディレイ音に揺れが加えられます。

Feedback Mode が NORMAL の場合



Feedback Mode が CROSS の場合

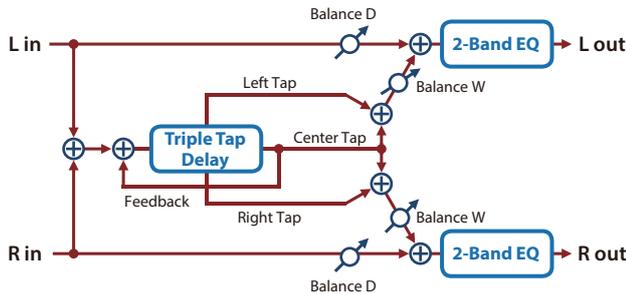


パラメーター	設定値	説明
Depth	0 ~ 127	モジュレーションの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	モジュレーションの広がり
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ DO:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

パラメーター	設定値	説明
Sync Left	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Left (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Left (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync Right	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Right (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってから右のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Right (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Feedback Mode	NORMAL、CROSS	ディレイ音を戻す入力先 (アルゴリズム図をご覧ください)
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
HF Damp	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS: カットしない)
Mod Sync	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Mod Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	モジュレーションの周期
Mod Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	

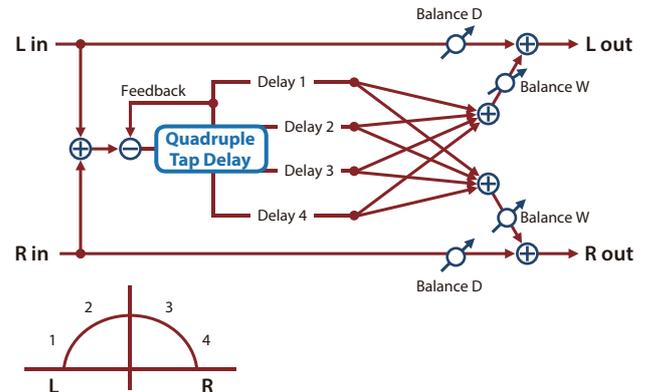
39 3Tap Pan Delay (3タップ・パン・ディレイ)

中央、左、右の3方向にディレイ音が鳴らせます。



40 4Tap Pan Delay (4タップ・パン・ディレイ)

4つのディレイ音を鳴らせます。



パラメーター	設定値	説明
Sync Left	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Left (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Left (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync Right	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Right (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから右のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Right (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync Center	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Center (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから中央のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Center (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Center Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
HF Damp	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)
Left Level	0 ~ 127	
Right Level	0 ~ 127	左/右/中央のディレイ音の音量
Center Level	0 ~ 127	
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

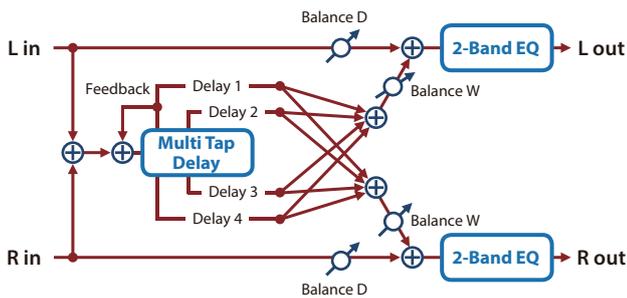
パラメーター	設定値	説明
Sync 1	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 1 Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから、ディレイ 1 の音が鳴るまでの遅延時間
Delay 1 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync 2	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 2 Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから、ディレイ 2 の音が鳴るまでの遅延時間
Delay 2 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync 3	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 3 Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから、ディレイ 3 の音が鳴るまでの遅延時間
Delay 3 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync 4	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 4 Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから、ディレイ 4 の音が鳴るまでの遅延時間
Delay 4 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Delay 1 Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
HF Damp	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)
Delay 1 Level		
Delay 2 Level		
Delay 3 Level	0 ~ 127	ディレイ 1 ~ 4 の音量
Delay 4 Level		
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量

パラメーター	設定値	説明
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

パラメーター	設定値	説明
Delay 1 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 1 ~ 4 の定位
Delay 2 Pan		
Delay 3 Pan		
Delay 4 Pan		
Delay 1 Level	0 ~ 127	ディレイ 1 ~ 4 の音量
Delay 2 Level		
Delay 3 Level		
Delay 4 Level		
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

41 Multi Tap Delay (マルチ・タップ・ディレイ)

4つのディレイ音を鳴らせます。ディレイ・タイムは指定のテンポに対する音符の長さで設定することもできます。また、各ディレイ音の定位やレベルを設定することができます。



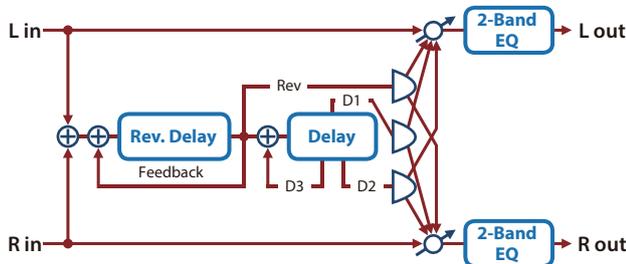
パラメーター	設定値	説明
Sync 1	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 1 Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ 1 の音が鳴るまでの遅延時間
Delay 1 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync 2	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 2 Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ 2 の音が鳴るまでの遅延時間
Delay 2 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync 3	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 3 Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ 3 の音が鳴るまでの遅延時間
Delay 3 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync 4	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 4 Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ 4 の音が鳴るまでの遅延時間
Delay 4 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Delay 1 Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)

42 Reverse Delay (リバース・ディレイ)

入力された音のリバース音をディレイ音として付加するリバース・ディレイ

イです。リバース・ディレイの直後にはタップ・ディレイが接続されてい

ます。

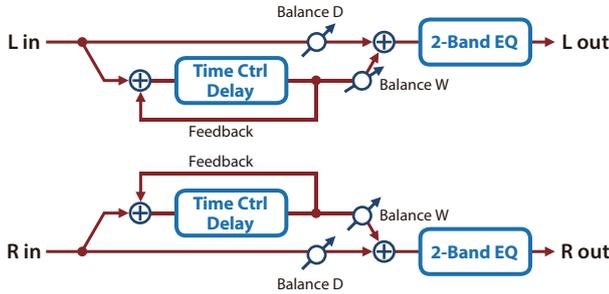


パラメーター	設定値	説明
Threshold	0 ~ 127	リバース・ディレイがかかり始める音量
Rev Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rev Delay Time (msec)	1 ~ 1300 [msec]	リバース・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Rev Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Rev Delay Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音をリバース・ディレイの入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Rev Delay HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	リバース・ディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)
Rev Delay Pan	L64 ~ 63R	リバース・ディレイ音の定位
Rev Delay Level	0 ~ 127	リバース・ディレイ音の音量
Sync 1	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 1 Time (msec)	1 ~ 1300 [msec]	タップ・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay 1 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync 2	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 2 Time (msec)	1 ~ 1300 [msec]	タップ・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay 2 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Sync 3	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay 3 Time (msec)	1 ~ 1300 [msec]	タップ・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay 3 Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	

パラメーター	設定値	説明
Delay 3 Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音をタップ・ディレイの入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Delay HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	タップ・ディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)
Delay 1 Pan	L64 ~ 63R	タップ・ディレイ音の定位
Delay 2 Pan	L64 ~ 63R	タップ・ディレイ音の定位
Delay 1 Level	0 ~ 127	タップ・ディレイ音の音量
Delay 2 Level	0 ~ 127	タップ・ディレイ音の音量
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) との音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

43 Time Ctrl Delay (タイム・コントロール・ディレイ)

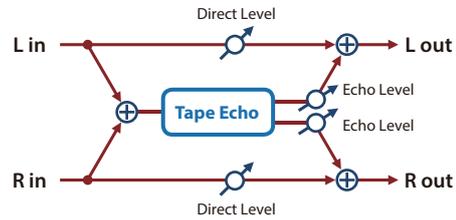
ディレイ・タイムをなめらかに変化させることができるディレイです。



パラメーター	設定値	説明
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Time (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Acceleration	0 ~ 15	ディレイ・タイムを変化させた場合、現在のディレイ・タイムから指定のディレイ・タイムに達するまでの速さ。ディレイ・タイムと同時にピッチ変化の速さも変わります。
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

44 Tape Echo (テープ・エコー)

リアルなテープ・ディレイ・サウンドが得られる、バーチャル・テープ・エコーです。ローランド RE-201 スペース・エコーの、テープ・エコー部のシミュレートです。



パラメーター	設定値	説明
Mode	S、M、L、S+M、S+L、M+L、S+M+L	使用する再生ヘッドの組み合わせ 遅れ時間の異なる 3 個のヘッドから選びます。 S : ショート M : ミドル L : ロング
Repeat Rate	0 ~ 127	テープ・スピード 値を大きくすると、ディレイ音の間隔が短くなります。
Intensity	0 ~ 127	ディレイ音の繰り返し量
Bass	-15 ~ +15 [dB]	エコー音の低域の増幅/減衰量
Treble	-15 ~ +15 [dB]	エコー音の高域の増幅/減衰量
Head S Pan	L64 ~ 63R	
Head M Pan	L64 ~ 63R	ショート/ミドル/ロングの再生ヘッドごとの定位
Head L Pan	L64 ~ 63R	
Tape Distortion	0 ~ 5	テープ独特の歪みを付加する量 測定器で測るとわかるような微妙な音色変化を再現します。値を大きくすると、歪みが深くなります。
W/F Rate	0 ~ 127	ワウ・フラッター (テープの劣化や回転ムラによる、複雑なピッチの揺れ) の速さ
W/F Depth	0 ~ 127	ワウ・フラッターの深さ
Echo Level	0 ~ 127	エコー音の音量
Direct Level	0 ~ 127	原音の音量
Level	0 ~ 127	出力音量

45 LOFI Compress (ローファイ・コンプレス)

音質を粗くします。



パラメーター	設定値	説明
Pre Filter Type	1、2、3、4、5、6	LoFi を通る前のフィルターの種類 1 : Compressor オフ 2 ~ 6 : Compressor オン
LoFi Type	1、2、3、4、5、6、7、8、9	音質を粗くします。値が大きいほど音質が粗くなります。
Post Filter Type	OFF、LPF、HPF	LoFi を通ったあとのフィルターの種類 OFF : フィルター未使用 LPF : 高域をカット HPF : 低域をカット
Post Filter Cutoff	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	Post Filter の基準周波数
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

46 Bit Crusher (ビット・クラッシャー)

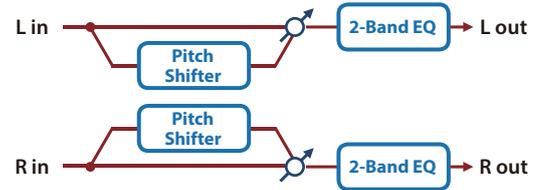
ローファイ・サウンドを作ります。



パラメーター	設定値	説明
Sample Rate	0 ~ 127	サンプリング周波数を調節。
Bit Down	0 ~ 20	ビット数を調整。
Filter	0 ~ 127	フィルターの効き具合を調節。
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

47 Pitch Shifter (ピッチ・シフター)

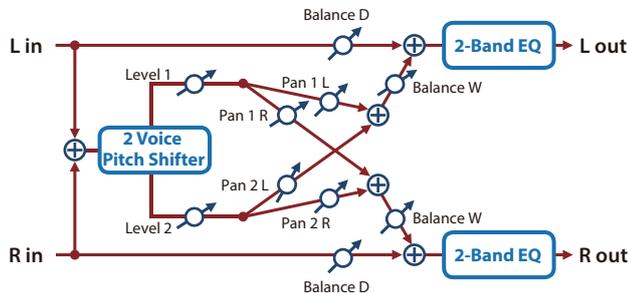
ステレオ仕様のピッチ・シフターです。



パラメーター	設定値	説明
Coarse	-24 ~ +12 [semi]	ピッチ・シフト量 (半音単位)
Fine	-100 ~ +100 [cent]	ピッチ・シフト量 (2 セント単位)
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Time (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからピッチ・シフト音が鳴るまでの遅延時間
Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ピッチ・シフト音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とピッチ・シフト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

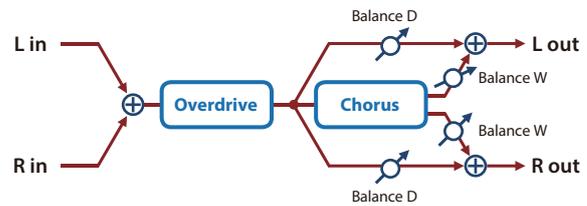
48 2Voice Pitch Shifter (2ボイス・ピッチ・シフター)

原音のピッチをずらします。ピッチをずらした2つの音を原音に重ねて鳴らすことができます。



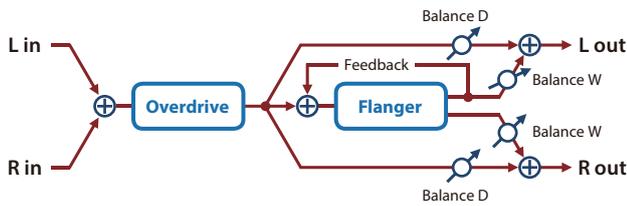
パラメーター	設定値	説明
Pitch1 Coarse	-24 ~ +12 [semi]	ピッチ・シフト1のピッチ・シフト量 (半音単位)
Pitch1 Fine	-100 ~ +100 [cent]	ピッチ・シフト1のピッチ・シフト量 (2セント単位)
Pitch1 Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Pitch1 Delay (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからピッチ・シフト1の音が鳴るまでの遅延時間
Pitch1 Delay (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Pitch1 Feedback	-98 ~ +98 [%]	ピッチ・シフト音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Pitch1 Pan	L64 ~ 63R	ピッチ・シフト1の音の定位
Pitch1 Level	0 ~ 127	ピッチ・シフト1の音量
Pitch2 Coarse	-24 ~ +12 [semi]	
Pitch2 Fine	-100 ~ +100 [cent]	
Pitch2 Sync	OFF、ON	
Pitch2 Delay (msec)	1 ~ 1300 [msec]	ピッチ・シフト2の設定
Pitch2 Delay (note)	音符 → [音符] (P.103)	設定項目はピッチ・シフト1と同じです。
Pitch2 Feedback	-98 ~ +98 [%]	
Pitch2 Pan	L64 ~ 63R	
Pitch2 Level	0 ~ 127	
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とピッチ・シフト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

49 Overdrive → Chorus (オーバードライブ → コーラス)



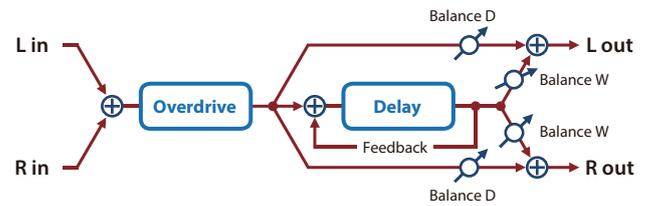
パラメーター	設定値	説明
Overdrive Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Overdrive Pan	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Chorus Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Chorus Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Chorus Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Chorus Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Chorus Balance	D100:0W ~ D0:100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

50 Overdrive → Flanger (オーバードライブ → フランジャー)



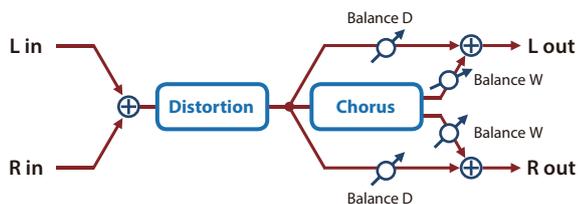
パラメーター	設定値	説明
Overdrive Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Overdrive Pan	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Flanger Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Flanger Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flanger Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Flanger Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Flanger Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Flanger Balance	D100:0W ~ D0:100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

51 Overdrive → Delay (オーバードライブ → デレイ)

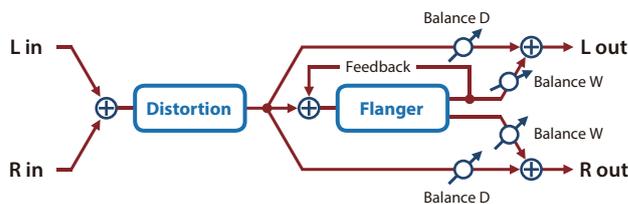


パラメーター	設定値	説明
Overdrive Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Overdrive Pan	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからデレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Delay Feedback	-98 ~ +98 [%]	デレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Delay HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すデレイ音の、高域成分をカットする周波数 (BYPASS : カットしない)
Delay Balance	D100:0W ~ D0:100W	デレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

52 Distortion → Chorus (ディストーション → コーラス)



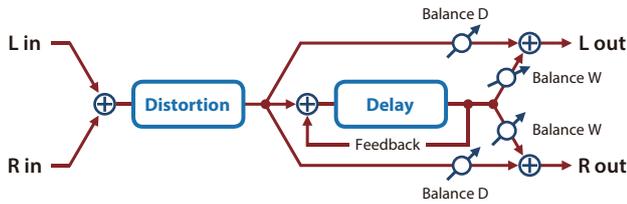
53 Distortion → Flanger (ディストーション → フランジャー)



パラメーター	設定値	説明
Distortion Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Distortion Pan	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Chorus Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Chorus Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Chorus Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Chorus Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Chorus Balance	D100:0W ~ D0:100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

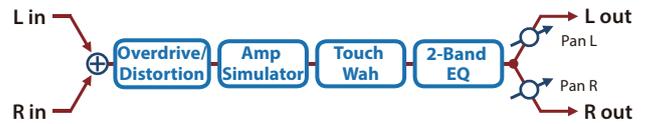
パラメーター	設定値	説明
Distortion Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Distortion Pan	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Flanger Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Flanger Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flanger Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Flanger Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Flanger Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス:逆相)
Flanger Balance	D100:0W ~ D0:100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

54 Distortion → Delay
(ディストーション → デレイ)



パラメーター	設定値	説明
Distortion Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Distortion Pan	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからデレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Delay Feedback	-98 ~ +98 [%]	デレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Delay HF Damp	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	入力に戻すデレイ音の、高域成分をカットする周波数 (BYPASS : カットしない)
Delay Balance	D100:0W ~ D0:100W	デレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

55 OD/DS → TouchWah
(オーバードライブ/ディストーション → タッチ・ワウ)



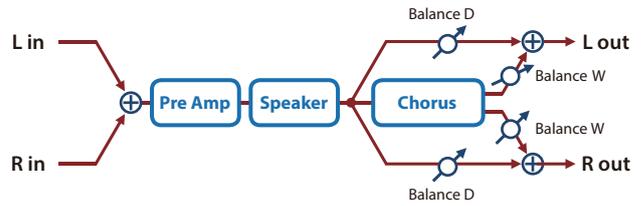
パラメーター	設定値	説明
Drive Switch	OFF、ON	オーバードライブ/ディストーションのオン/オフ
Drive Type	OVERDRIVE、DISTORTION	歪みの種類
Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Tone	0 ~ 127	音質
Amp Switch	OFF、ON	アンプ・シミュレーターのオン/オフ
Amp Type	SMALL、BUILT-IN、2-STACK、3-STACK	ギター・アンプの種類 SMALL : 小型アンプ BUILT-IN : ビルト・イン・タイプ 2-STACK : 大型 2 段積みアンプ 3-STACK : 大型 3 段積みアンプ
TWah Switch	OFF、ON	ワウのオン/オフ
TWah Mode	LPF、BPF	フィルターの種類 LPF : 広い周波数範囲でワウ効果が得られます。 BPF : 狭い周波数範囲でワウ効果が得られます。
TWah Polarity	DOWN、UP	フィルターの動く方向 UP : 高い周波数方向 DOWN : 低い周波数方向
TWah Sens	0 ~ 127	フィルターを変化させる感度
TWah Manual	0 ~ 127	ワウ効果を与える基準周波数
TWah Peak	0 ~ 127	ワウ効果のかかる周波数帯の幅値を大きくするほど周波数帯の幅が狭くなります。
TWah Balance	D100:0W ~ D0:100W	ワウを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

56 OD/DS → AutoWah (オーバードライブ/ディストーション → オート・ワウ)



パラメーター	設定値	説明
Drive Switch	OFF、ON	オーバードライブ/ディストーションのオン/オフ
Drive Type	OVERDRIVE、DISTORTION	歪みの種類
Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Tone	0 ~ 127	音質
Amp Switch	OFF、ON	アンプ・シミュレーターのオン/オフ
Amp Type	SMALL、BUILT-IN、2-STACK、3-STACK	ギター・アンプの種類 SMALL : 小型アンプ BUILT-IN : ビルト・イン・タイプ 2-STACK : 大型 2 段積みアンプ 3-STACK : 大型 3 段積みアンプ
AWah Switch	OFF、ON	ワウのオン/オフ
AWah Mode	LPF、BPF	フィルターの種類 LPF : 広い周波数範囲でワウ効果が得られます。 BPF : 狭い周波数範囲でワウ効果が得られます。
AWah Manual	0 ~ 127	ワウ効果を与える基準周波数
AWah Peak	0 ~ 127	ワウ効果のかかる周波数帯の幅 値を大きくするほど周波数帯の幅が狭くなります。
AWah Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
AWah Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	ワウ効果の揺れの周期
AWah Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
AWah Depth	0 ~ 127	ワウ効果の揺れの深さ
AWah Balance	D100 : 0W ~ D0 : 100W	ワウを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

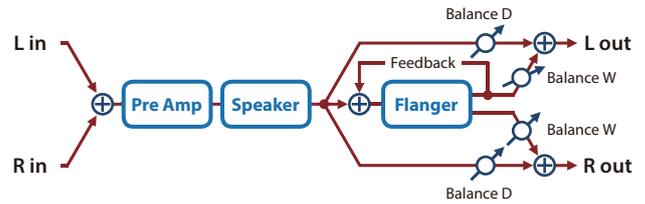
57 GtAmpSim → Chorus (ギター・アンプ・シミュレーター → コーラス)



パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Sw	OFF、ON	アンプのオン/オフ
Pre Amp Type		ギター・アンプの種類
	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。
	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。
	MATCH DRIVE	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。 ブルース・ロックからフュージョンまで幅広く使われている真空管アンプのサウンドが得られます。
	BG LEAD	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。 70 年代後半 ~ 80 年代を代表する真空管アンプのサウンドです。
	MS1959I	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。 ハード・ロックに適したトレブリーなサウンドです。
	MS1959II	Marshall 1959 のインプット II に入力したサウンドをモデリングしています。
	MS1959I+II	Marshall 1959 のインプット I と II を平行接続したサウンドをモデリングしています。I よりも低域が強調されたサウンドです。
	SLDN LEAD	Soldano SLO-100 をモデリングしています。80 年代の代表的なサウンドです。
	METAL 5150	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。
	METAL LEAD	ヘビーなリフを演奏するのに最適なディストーション・サウンドです。
	OD-1	ボス OD-1 のサウンドをモデリングしています。 甘くマイルドな歪みが得られます。
	OD-2 TURBO	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。
	DISTORTION	オーソドックスなディストーション・サウンドです。
	FUZZ	倍音成分が豊かなファズ・サウンドです。
Pre Amp Drive	0 ~ 127	アンプの音量と歪み具合
Pre Amp Master	0 ~ 127	プリ・アンプ全体の音量

パラメーター	設定値	説明																																																			
Pre Amp Gain	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合																																																			
Pre Amp Bass	0 ~ 127																																																				
Pre Amp Middle	0 ~ 127	低域/中域/高域の音質																																																			
Pre Amp Treble	0 ~ 127																																																				
Speaker Sw	OFF、ON	スピーカーを通すか(オン) / 通さないか(オフ) を選びます。																																																			
Speaker Type		<table border="1"> <thead> <tr> <th>キャビネット</th> <th>スピーカーの径(インチ)と個数</th> <th>マイク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SMALL 1</td> <td>小型後面開放型 10</td> <td>ダイナミック</td> </tr> <tr> <td>SMALL 2</td> <td>小型後面開放型 10</td> <td>ダイナミック</td> </tr> <tr> <td>MIDDLE</td> <td>後面開放型 12 x 1</td> <td>ダイナミック</td> </tr> <tr> <td>JC-120</td> <td>後面開放型 12 x 2</td> <td>ダイナミック</td> </tr> <tr> <td>BUILT-IN1</td> <td>後面開放型 12 x 2</td> <td>ダイナミック</td> </tr> <tr> <td>BUILT-IN2</td> <td>後面開放型 12 x 2</td> <td>コンデンサー</td> </tr> <tr> <td>BUILT-IN3</td> <td>後面開放型 12 x 2</td> <td>コンデンサー</td> </tr> <tr> <td>BUILT-IN4</td> <td>後面開放型 12 x 2</td> <td>コンデンサー</td> </tr> <tr> <td>BUILT-IN5</td> <td>後面開放型 12 x 2</td> <td>コンデンサー</td> </tr> <tr> <td>BG STACK1</td> <td>密閉型 12 x 2</td> <td>コンデンサー</td> </tr> <tr> <td>BG STACK2</td> <td>大型密閉型 12 x 2</td> <td>コンデンサー</td> </tr> <tr> <td>MS STACK1</td> <td>大型密閉型 12 x 4</td> <td>コンデンサー</td> </tr> <tr> <td>MS STACK2</td> <td>大型密閉型 12 x 4</td> <td>コンデンサー</td> </tr> <tr> <td>MTL STACK</td> <td>大型 2 段重ね 12 x 4</td> <td>コンデンサー</td> </tr> <tr> <td>2-STACK</td> <td>大型 2 段重ね 12 x 4</td> <td>コンデンサー</td> </tr> <tr> <td>3-STACK</td> <td>大型 3 段重ね 12 x 4</td> <td>コンデンサー</td> </tr> </tbody> </table>	キャビネット	スピーカーの径(インチ)と個数	マイク	SMALL 1	小型後面開放型 10	ダイナミック	SMALL 2	小型後面開放型 10	ダイナミック	MIDDLE	後面開放型 12 x 1	ダイナミック	JC-120	後面開放型 12 x 2	ダイナミック	BUILT-IN1	後面開放型 12 x 2	ダイナミック	BUILT-IN2	後面開放型 12 x 2	コンデンサー	BUILT-IN3	後面開放型 12 x 2	コンデンサー	BUILT-IN4	後面開放型 12 x 2	コンデンサー	BUILT-IN5	後面開放型 12 x 2	コンデンサー	BG STACK1	密閉型 12 x 2	コンデンサー	BG STACK2	大型密閉型 12 x 2	コンデンサー	MS STACK1	大型密閉型 12 x 4	コンデンサー	MS STACK2	大型密閉型 12 x 4	コンデンサー	MTL STACK	大型 2 段重ね 12 x 4	コンデンサー	2-STACK	大型 2 段重ね 12 x 4	コンデンサー	3-STACK	大型 3 段重ね 12 x 4	コンデンサー
	キャビネット	スピーカーの径(インチ)と個数	マイク																																																		
	SMALL 1	小型後面開放型 10	ダイナミック																																																		
	SMALL 2	小型後面開放型 10	ダイナミック																																																		
	MIDDLE	後面開放型 12 x 1	ダイナミック																																																		
	JC-120	後面開放型 12 x 2	ダイナミック																																																		
	BUILT-IN1	後面開放型 12 x 2	ダイナミック																																																		
	BUILT-IN2	後面開放型 12 x 2	コンデンサー																																																		
	BUILT-IN3	後面開放型 12 x 2	コンデンサー																																																		
	BUILT-IN4	後面開放型 12 x 2	コンデンサー																																																		
	BUILT-IN5	後面開放型 12 x 2	コンデンサー																																																		
	BG STACK1	密閉型 12 x 2	コンデンサー																																																		
	BG STACK2	大型密閉型 12 x 2	コンデンサー																																																		
	MS STACK1	大型密閉型 12 x 4	コンデンサー																																																		
	MS STACK2	大型密閉型 12 x 4	コンデンサー																																																		
MTL STACK	大型 2 段重ね 12 x 4	コンデンサー																																																			
2-STACK	大型 2 段重ね 12 x 4	コンデンサー																																																			
3-STACK	大型 3 段重ね 12 x 4	コンデンサー																																																			
Chorus Switch	OFF、ON	コーラスのオン/オフ																																																			
Chorus Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間																																																			
Chorus Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期																																																			
Chorus Depth	0 ~ 127	揺れの深さ																																																			
Chorus Balance	D100:0W ~ D0:100W	コーラスを通した音(W) と通さない音(D) の音量バランス																																																			
Level	0 ~ 127	出力音量																																																			

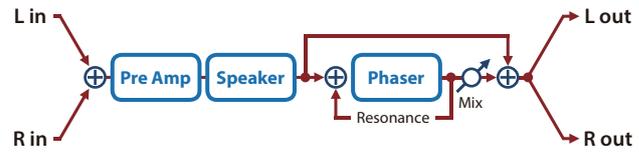
58 GtAmpSim → Flanger (ギター・アンプ・シミュレーター → フランジャー)



パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Sw	OFF、ON	アンプのオン/オフ
Pre Amp Type		ギター・アンプの種類
	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。
	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。
	MATCH DRIVE	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。 ブルース・ロックからフュージョンまで幅広く使われている真空管アンプのサウンドが得られます。
	BG LEAD	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。 70 年代後半 ~ 80 年代を代表する真空管アンプのサウンドです。
	MS1959I	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。 ハード・ロックに適したトレブリーなサウンドです。
	MS1959II	Marshall 1959 のインプット II に入力したサウンドをモデリングしています。
	MS1959I+II	Marshall 1959 のインプット I と II をパラレル接続したサウンドをモデリングしています。I よりも低域が強調されたサウンドです。
	SLDN LEAD	Soldano SLO-100 をモデリングしています。80 年代の代表的なサウンドです。
	METAL 5150	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。
	METAL LEAD	ヘビーなリフを演奏するのに最適なディストーション・サウンドです。
	OD-1	ボス OD-1 のサウンドをモデリングしています。 甘くマイルドな歪みが得られます。
	OD-2 TURBO	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。
	DISTORTION	オールドックスなディストーション・サウンドです。
	FUZZ	倍音成分が豊かなファズ・サウンドです。
Pre Amp Drive	0 ~ 127	アンプの音量と歪み具合
Pre Amp Master	0 ~ 127	プリ・アンプ全体の音量

パラメーター	設定値	説明	
Pre Amp Gain	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合	
Pre Amp Bass	0 ~ 127		
Pre Amp Middle	0 ~ 127	低域/中域/高域の音質	
Pre Amp Treble	0 ~ 127		
Speaker Sw	OFF、ON	スピーカーを通すか(オン) / 通さないか(オフ)を選択	
Speaker Type		キャビネット スピーカーの径(インチ)と個数 マイク	
	SMALL 1	小型後面開放型	10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型	10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型	12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型	12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN1	後面開放型	12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN2	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN3	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN4	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN5	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BG STACK1	密閉型	12 x 2 コンデンサー
	BG STACK2	大型密閉型	12 x 2 コンデンサー
	MS STACK1	大型密閉型	12 x 4 コンデンサー
	MS STACK2	大型密閉型	12 x 4 コンデンサー
	MTL STACK	大型 2 段重ね	12 x 4 コンデンサー
2-STACK	大型 2 段重ね	12 x 4 コンデンサー	
3-STACK	大型 3 段重ね	12 x 4 コンデンサー	
Flanger Switch	OFF、ON	フランジャーのオン/オフ	
Flanger Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間	
Flanger Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期	
Flanger Depth	0 ~ 127	揺れの深さ	
Flanger Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合(マイナス:逆相)	
Flanger Balance	D100:0W ~ D0:100W	フランジャーを通した音(W)と通さない音(D)の音量バランス	
Level	0 ~ 127	出力音量	

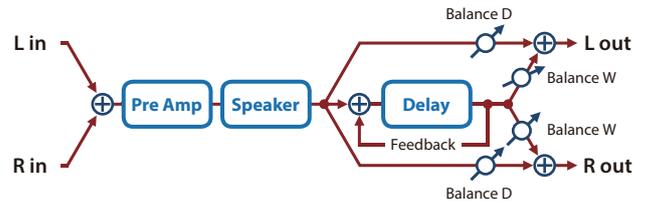
59 GtAmpSim → Phaser (ギター・アンプ・シミュレーター → フェイザー)



パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Sw	OFF、ON	アンプのオン/オフ
Pre Amp Type		ギター・アンプの種類
	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。
	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。
	MATCH DRIVE	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。 ブルース・ロックからフュージョンまで幅広く使われている真空管アンプのサウンドが得られます。
	BG LEAD	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。 70 年代後半 ~ 80 年代を代表する真空管アンプのサウンドです。
	MS1959I	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。 ハード・ロックに適したトレブリーなサウンドです。
	MS1959II	Marshall 1959 のインプット II に入力したサウンドをモデリングしています。
	MS1959I+II	Marshall 1959 のインプット I と II をパラレル接続したサウンドをモデリングしています。I よりも低域が強調されたサウンドです。
	SLDN LEAD	Soldano SLO-100 をモデリングしています。80 年代の代表的なサウンドです。
	METAL 5150	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。
	METAL LEAD	ヘビーなリフを演奏するのに最適なディストーション・サウンドです。
	OD-1	ボス OD-1 のサウンドをモデリングしています。 甘くマイルドな歪みが得られます。
	OD-2 TURBO	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。
	DISTORTION	オーソドックスなディストーション・サウンドです。
	FUZZ	倍音成分が豊かなファズ・サウンドです。
Pre Amp Drive	0 ~ 127	アンプの音量と歪み具合
Pre Amp Master	0 ~ 127	プリ・アンプ全体の音量
Pre Amp Gain	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合

パラメーター	設定値	説明	
Pre Amp Bass	0 ~ 127		
Pre Amp Middle	0 ~ 127	低域/中域/高域の音質	
Pre Amp Treble	0 ~ 127		
Speaker Sw	OFF、ON	スピーカーを通すか(オン) / 通さないか(オフ)を選択	
Speaker Type		キャビネット スピーカーの径(インチ)と個数 マイク	
	SMALL 1	小型後面開放型	10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型	10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型	12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型	12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN1	後面開放型	12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN2	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN3	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN4	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN5	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BG STACK1	密閉型	12 x 2 コンデンサー
	BG STACK2	大型密閉型	12 x 2 コンデンサー
	MS STACK1	大型密閉型	12 x 4 コンデンサー
	MS STACK2	大型密閉型	12 x 4 コンデンサー
	MTL STACK	大型2段重ね	12 x 4 コンデンサー
2-STACK	大型2段重ね	12 x 4 コンデンサー	
3-STACK	大型3段重ね	12 x 4 コンデンサー	
Phaser Switch	OFF、ON	フェイザーのオン/オフ	
Phaser Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	うねりの周期	
Phaser Manual	0 ~ 127	音をうねらせる基準周波数	
Phaser Depth	0 ~ 127	うねりの深さ	
Phaser Resonance	0 ~ 127	フィードバック量	
Phaser Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量	
Level	0 ~ 127	出力音量	

60 GtAmpSim → Delay (ギター・アンプ・シミュレーター → ディレイ)



パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Sw	OFF、ON	アンプのオン/オフ
Pre Amp Type		ギター・アンプの種類
	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。
	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。
	MATCH DRIVE	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。 ブルース・ロックからフュージョンまで幅広く使われている真空管アンプのサウンドが得られます。
	BG LEAD	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。 70年代後半～80年代を代表する真空管アンプのサウンドです。
	MS1959I	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。 ハード・ロックに適したトレブリーなサウンドです。
	MS1959II	Marshall 1959 のインプット II に入力したサウンドをモデリングしています。
	MS1959I+II	Marshall 1959 のインプット I と II を平行接続したサウンドをモデリングしています。I よりも低域が強調されたサウンドです。
	SLDN LEAD	Soldano SLO-100 をモデリングしています。80年代の代表的なサウンドです。
	METAL 5150	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。
	METAL LEAD	ヘビーなリフを演奏するのに最適なディストーション・サウンドです。
	OD-1	ボス OD-1 のサウンドをモデリングしています。 甘くマイルドな歪みが得られます。
	OD-2 TURBO	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。
	DISTORTION	オーソドックスなディストーション・サウンドです。
	FUZZ	倍音成分が豊かなファズ・サウンドです。
Pre Amp Drive	0 ~ 127	アンプの音量と歪み具合
Pre Amp Master	0 ~ 127	プリ・アンプ全体の音量

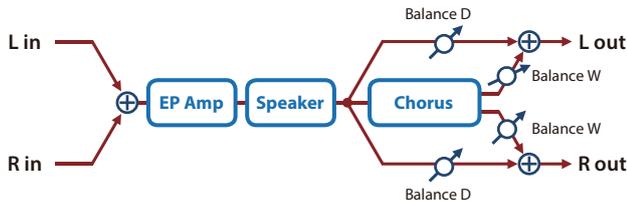
パラメーター	設定値	説明	
Pre Amp Gain	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合	
Pre Amp Bass	0 ~ 127		
Pre Amp Middle	0 ~ 127	低域/中域/高域の音質	
Pre Amp Treble	0 ~ 127		
Speaker Sw	OFF、ON	スピーカーを通すか(オン) / 通さないか(オフ)を選択	
Speaker Type		キャビネット スピーカーの径(インチ)と個数 マイク	
	SMALL 1	小型後面開放型	10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型	10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型	12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型	12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN1	後面開放型	12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN2	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN3	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN4	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN5	後面開放型	12 x 2 コンデンサー
	BG STACK1	密閉型	12 x 2 コンデンサー
	BG STACK2	大型密閉型	12 x 2 コンデンサー
	MS STACK1	大型密閉型	12 x 4 コンデンサー
	MS STACK2	大型密閉型	12 x 4 コンデンサー
	MTL STACK	大型 2 段重ね	12 x 4 コンデンサー
2-STACK	大型 2 段重ね	12 x 4 コンデンサー	
3-STACK	大型 3 段重ね	12 x 4 コンデンサー	
Delay Switch	OFF、ON	ディレイのオン/オフ	
Delay Time (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間	
Delay Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)	
Delay HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	ディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS: カットしない)	
Delay Balance	D100:0W ~ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス	
Level	0 ~ 127	出力音量	

61 EP AmpSim → Tremolo (EP アンプ・シミュレーター → トレモロ)



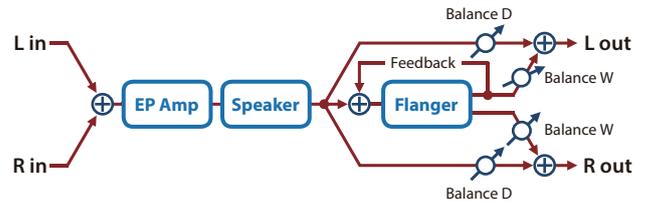
パラメーター	設定値	説明
Type		アンプの種類
	OLDCASE	70年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	NEWCASE	70年代後半から 80年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	WURLY	60年代の定番 E. ピアノ・サウンド
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Tremolo Switch	OFF、ON	トレモロのオン/オフ
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Tremolo Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	トレモロ効果の周期
Tremolo Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Tremolo Depth	0 ~ 127	トレモロ効果の深さ
Tremolo Duty	-10 ~ +10	トレモロをかける LFO 波形のデューティーを設定します。
Speaker Type	LINE、OLD、NEW、WURLY、TWIN	スピーカーの種類 LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Switch	OFF、ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル
OD Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Level	0 ~ 127	出力音量

62 EP AmpSim → Chorus (EP アンプ・シミュレーター → コーラス)



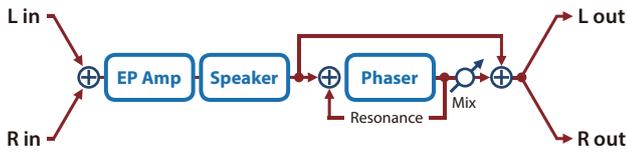
パラメーター	設定値	説明
Type		アンプの種類
	OLDCASE	70年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	NEWCASE	70年代後半から80年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Chorus Switch	OFF、ON	コーラスのオン/オフ
Chorus Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Chorus Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Chorus Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Chorus Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Chorus Balance	D100:0W ~ D0:100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Speaker Type	LINE、OLD、NEW、WURLY、TWIN	スピーカーの種類 LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Switch	OFF、ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル
OD Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Level	0 ~ 127	出力音量

63 EP AmpSim → Flanger (EP アンプ・シミュレーター → フランジャー)



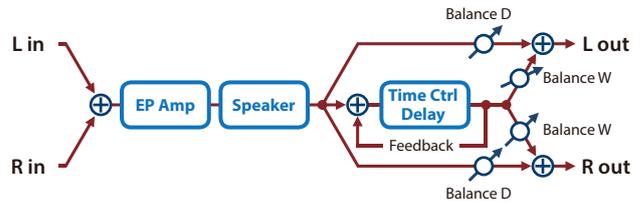
パラメーター	設定値	説明
Type		アンプの種類
	OLDCASE	70年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	NEWCASE	70年代後半から80年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Flanger Switch	OFF、ON	フランジャーのオン/オフ
Flanger Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Flanger Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flanger Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Flanger Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Flanger Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Flanger Balance	D100:0W ~ D0:100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Speaker Type	LINE、OLD、NEW、WURLY、TWIN	スピーカーの種類 LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Switch	OFF、ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル
OD Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Level	0 ~ 127	出力音量

64 EP AmpSim → Phaser
(EP アンプ・シミュレーター → フェイザー)



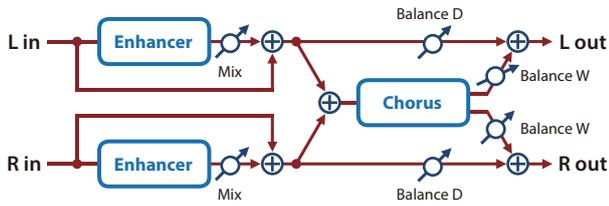
パラメーター	設定値	説明
Type		アンプの種類
	OLDCASE	70年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	NEWCASE	70年代後半から80年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Phaser Switch	OFF, ON	フェイザーのオン/オフ
Sync	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Phaser Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	うねりの周期
Phaser Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Phaser Manual	0 ~ 127	音をうねらせる基準周波数
Phaser Depth	0 ~ 127	うねりの深さ
Phaser Resonance	0 ~ 127	フィードバック量
Phaser Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Speaker Type	LINE、OLD、NEW、WURLY、TWIN	スピーカーの種類 LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Switch	OFF, ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル
OD Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Level	0 ~ 127	出力音量

65 EP AmpSim → Delay
(EP アンプ・シミュレーター → ディレイ)



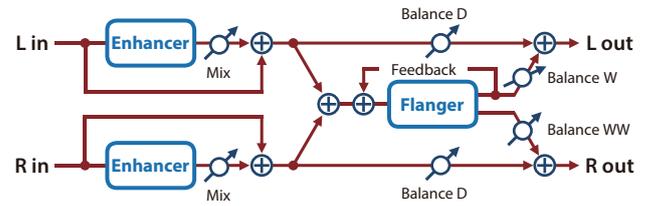
パラメーター	設定値	説明
Type		アンプの種類
	OLDCASE	70年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	NEWCASE	70年代後半から80年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Delay Switch	OFF, ON	ディレイのオン/オフ
Sync	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Time (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Delay Accel	0 ~ 15	ディレイ・タイムを変化させた場合、現在のディレイ・タイムから指定のディレイ・タイムに達するまでの速さ。 ディレイ・タイムと同時にピッチ変化の速さも変わります。
Delay Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Delay HF Damp	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	ディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS: カットしない)
Delay Balance	D100:0W ~ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Speaker Type	LINE、OLD、NEW、WURLY、TWIN	スピーカーの種類 LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Switch	OFF, ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル
OD Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Level	0 ~ 127	出力音量

66 Enhancer → Chorus (エンハンサー → コーラス)



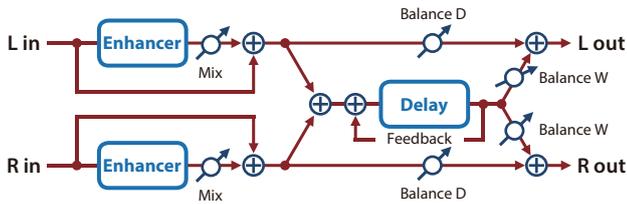
パラメーター	設定値	説明
Enhancer Sens	0 ~ 127	エンハンサーのかかり具合
Enhancer Mix	0 ~ 127	生成された倍音の音量
Chorus Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Chorus Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Chorus Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Chorus Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Chorus Balance	D100:0W ~ D0:100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

67 Enhancer → Flanger (エンハンサー → フランジャー)



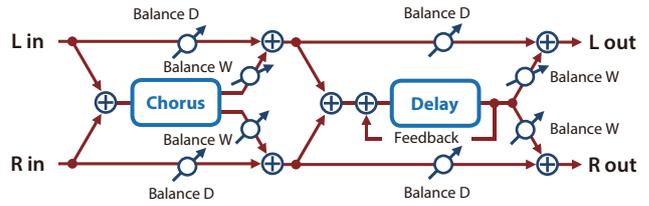
パラメーター	設定値	説明
Enhancer Sens	0 ~ 127	エンハンサーのかかり具合
Enhancer Mix	0 ~ 127	生成された倍音の音量
Flanger Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flanger Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Flanger Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flanger Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Flanger Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Flanger Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス:逆相)
Flanger Balance	D100:0W ~ D0:100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

68 Enhancer → Delay (エンハンサー → デレイ)



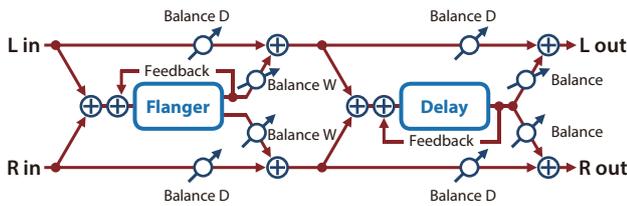
パラメーター	設定値	説明
Enhancer Sens	0 ~ 127	エンハンサーのかかり具合
Enhancer Mix	0 ~ 127	生成された倍音の音量
Delay Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからデレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Delay Feedback	-98 ~ +98 [%]	デレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Delay HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すデレイ音の、高域成分をカットする周波数 (BYPASS : カットしない)
Delay Balance	D100:0W ~ D0:100W	デレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

69 Chorus → Delay (コーラス → デレイ)



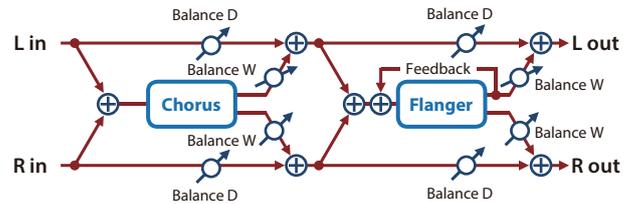
パラメーター	設定値	説明
Chorus Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Chorus Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Chorus Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Chorus Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Chorus Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Chorus Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Delay Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからデレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Delay Feedback	-98 ~ +98 [%]	デレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Delay HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すデレイ音の、高域成分をカットする周波数 (BYPASS : カットしない)
Delay Balance	D100:0W ~ D0:100W	デレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

70 Flanger → Delay (フランジャー → デレイ)



パラメーター	設定値	説明
Flanger Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flanger Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Flanger Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flanger Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Flanger Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Flanger Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Flanger Balance	D100 : 0W ~ D0 : 100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Delay Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Delay Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからデレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Delay Feedback	-98 ~ +98 [%]	デレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Delay HF Damp	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	入力に戻すデレイ音の、高域成分をカットする周波数 (BYPASS : カットしない)
Delay Balance	D100 : 0W ~ D0 : 100W	デレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

71 Chorus → Flanger (コーラス → フランジャー)



パラメーター	設定値	説明
Chorus Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Chorus Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Chorus Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	コーラス音の揺れの周期
Chorus Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Chorus Depth	0 ~ 127	コーラス音の揺れの深さ
Chorus Balance	D100 : 0W ~ D0 : 100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Flanger Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flanger Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Flanger Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	フランジャー音の揺れの周期
Flanger Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Flanger Depth	0 ~ 127	フランジャー音の揺れの深さ
Flanger Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Flanger Balance	D100 : 0W ~ D0 : 100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

72 CE-1 (コーラス)

BOSS 往年のコーラス・エフェクターの名機 CE-1 のモデリングです。アナログ独特の温かみのあるコーラス・サウンドです。



パラメーター	設定値	説明
Intensity	0 ~ 127	コーラスのかかり具合
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

73 SBF-325 (フランジャー)

ローランドのアナログ・フランジャー SBF-325 を再現したエフェクトです。

3種類のフランジング効果（原音に金属的なうねりを加える）とコーラス風の効果が得られます。



パラメーター	設定値	説明
Mode		フランジング効果の種類
	FL1	一般的なモノ・フランジャー
	FL2	原音のステレオ定位が活かせるステレオ・フランジャー
	FL3	より強烈な効果が得られるクロス・ミックス・フランジャー
	CHO	コーラス効果
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.02 ~ 5.00 [Hz]	フランジャー音の揺れの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Depth	0 ~ 127	フランジャー音の揺れの深さ
Manual	0 ~ 127	フランジング効果をかける基準周波数
Feedback	0 ~ 127	フランジング効果の増強具合 Mode が CHO のとき、この設定は無効になります。
CH-R Mod Phase	NORM、INV	右チャンネルの揺れの位相 通常はノーマル (NORM) にします。 インバート (INV) にすると、右チャンネルの揺れ（上昇／下降）が反転します。
CH-L Phase		原音にフランジング音を混ぜるときの位相
CH-R Phase		NORM : 正相 INV : 逆相
Level	0 ~ 127	出力音量

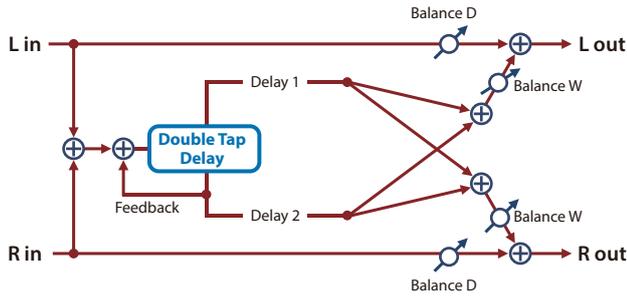
74 SDD-320 (ディメンション D)

ローランドの DIMENSION D (SDD-320) のモデリングです。さわやかなコーラス・サウンドです。



パラメーター	設定値	説明
Mode	1、2、3、4、 1+4、2+4、 3+4	モードを切り替えます。
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

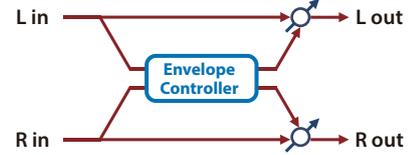
75 2Tap Pan Delay (2タップ・パン・ディレイ)



パラメーター	設定値	説明
Delay Sync	OFF, ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。
Delay Time (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから 2 番目のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Delay Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Delay HF Damp	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)
Delay 1 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 1 の定位
Delay 2 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 2 の定位
Delay 1 Level	0 ~ 127	ディレイ 1 の音量
Delay 2 Level	0 ~ 127	ディレイ 2 の音量
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

76 Transient (トランジェント)

音の立ち上がりかたや、減衰のしかたを制御できるエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Attack	-50 ~ +50	音の立ち上がりかた。 値を大きくすると音の立ち上がりかたがきつくなり、値を小さくすると緩やかになります。
Release	-50 ~ +50	音の減衰のしかた。 値を大きくすると音が残るようになり、値を小さくすると音が速やかに切れるようになります。
Output Gain	-24 ~ +12 [dB]	出力ゲイン
Sense	LOW, MID, HIGH	音の立ち上がりを検出するときの感度
Level	0 ~ 127	出力音量

77 Mid-Side EQ (ミッド・サイド・イコライザー)

左右の信号の、位相が近いものとそうでないもので、異なった音質に調整できるエフェクトです。

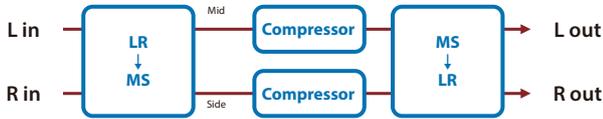


パラメーター	設定値	説明
Mid EQ	OFF、ON	入力の左右の位相が近いもの (同相) の音質調整をするかどうかを切り替えます。
M Input Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	入力の左右の位相が近いもの (同相) の音量
M Low Frequency	20、25、31、40、50、63、80、100、125、160、200、250、315、400 [Hz]	低域の基準周波数
M Low Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	低域の増幅/減衰量
M Mid1 Frequency	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	中域 1 の基準周波数
M Mid1 Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 1 の増幅/減衰量
M Mid1 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域 1 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
M Mid2 Frequency	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	中域 2 の基準周波数
M Mid2 Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 2 の増幅/減衰量
M Mid2 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域 2 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
M Mid3 Frequency	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	中域 3 の基準周波数
M Mid3 Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 3 の増幅/減衰量
M Mid3 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域 3 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
M High Frequency	2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、10000、12500、16000 [Hz]	高域の基準周波数
M High Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	高域の増幅/減衰量

パラメーター	設定値	説明
Side EQ	OFF、ON	入力の左右の位相が遠いもの (逆相) の音質調整をするかどうかを切り替えます。
S Input Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	入力の左右の位相が遠いもの (逆相) の音量
S Low Frequency	20、25、31、40、50、63、80、100、125、160、200、250、315、400 [Hz]	低域の基準周波数
S Low Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	低域の増幅/減衰量
S Mid1 Frequency	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	中域 1 の基準周波数
S Mid1 Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 1 の増幅/減衰量
S Mid1 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域 1 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
S Mid2 Frequency	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	中域 2 の基準周波数
S Mid2 Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 2 の増幅/減衰量
S Mid2 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域 2 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
S Mid3 Frequency	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	中域 3 の基準周波数
S Mid3 Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 3 の増幅/減衰量
S Mid3 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0	中域 3 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
S High Frequency	2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、10000、12500、16000 [Hz]	高域の基準周波数
S High Gain	-12.00 ~ +12.00 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

78 Mid-Side Compressor (ミッド・サイド・コンプレッサー)

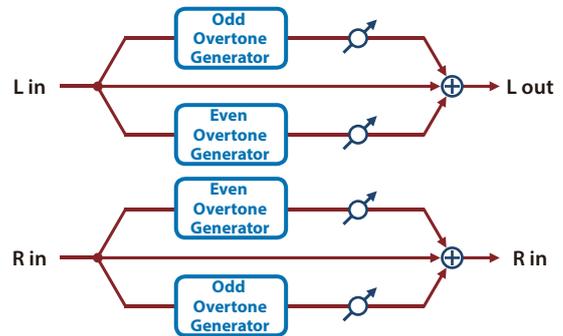
左右の信号の、位相が近いものとそうでないもので、異なった音量感に調整できるエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
M Comp Switch	OFF、ON	入力の左右の位相が近いもの（同相）の音量感の調整をするかどうかを切り替えます。
M Attack	0 ~ 124	Threshold を超える入力があったときに、音量を圧縮するまでの時間
M Release	0 ~ 124	圧縮がかかっている状態から、入力が Threshold より小さくなったときに、圧縮をやめるまでの時間
M Threshold	-60 ~ 0 [dB]	圧縮を始める音量レベル
M Knee	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 Threshold より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
M Ratio	1:1、1.5:1、2:1、4:1、16:1、圧縮比 INF:1	
M Post Gain	0 ~ +18 [dB]	出力する音のレベル
S Comp Switch	OFF、ON	入力の左右の位相が遠いもの（逆相）の音量感の調整をするかどうかを切り替えます。
S Attack	0 ~ 124	Threshold を超える入力があったときに、音量を圧縮するまでの時間
S Release	0 ~ 124	圧縮がかかっている状態から、入力が Threshold より小さくなったときに、圧縮をやめるまでの時間
S Threshold	-60 ~ 0 [dB]	圧縮を始める音量レベル
S Knee	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 Threshold より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
S Ratio	1:1、1.5:1、2:1、4:1、16:1、圧縮比 INF:1	
S Post Gain	0 ~ +18 [dB]	出力する音のレベル
Level	0 ~ 127	出力音量

79 Tone Fattener (トーン・ファッター)

特殊な歪みをかけて、倍音を加えることで、音に厚みを加えるエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Odd Level	0 ~ 400 [%]	値を上げると、奇数次倍音を加えていきます。
Even Level	0 ~ 400 [%]	値を上げると、偶数次倍音を加えていきます。
Level	0 ~ 127	出力音量

80 Mid-Side Delay (ミッド・サイド・ディレイ)

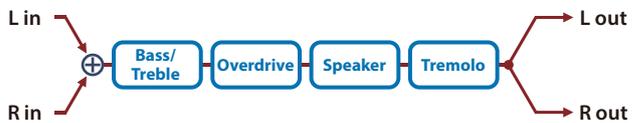
左右の信号の、位相が近いものとそうでないもので、異なる遅延量のディレイをかけられるエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
M Delay Level	0 ~ 127	入力の左右の位相が近いもの (同相) のディレイの音量
M Delay Mode	2Tap、3Tap、4Tap	入力の左右の位相が近いもの (同相) のディレイの分割数
M Sync	OFF、ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。
M Delay Time (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
M Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
M Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
M HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)
M Delay 1 Pan	L64 ~ 63R	1 番目のディレイ音の定位
M Delay 2 Pan		2 番目のディレイ音の定位
M Delay 3 Pan		3 番目のディレイ音の定位
M Delay 4 Pan		4 番目のディレイ音の定位
S Delay Level	0 ~ 127	入力の左右の位相が遠いもの (逆相) のディレイの音量
S Delay Mode	2Tap、3Tap、4Tap	入力の左右の位相が遠いもの (逆相) のディレイの分割数
S Sync	OFF、ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。
S Delay Time (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
S Delay Time (note)	音符 → [音符] (P.103)	
S Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
S HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)
S Delay 1 Pan	L64 ~ 63R	1 番目のディレイ音の定位
S Delay 2 Pan		2 番目のディレイ音の定位
S Delay 3 Pan		3 番目のディレイ音の定位
S Delay 4 Pan		4 番目のディレイ音の定位
Level	0 ~ 127	出力音量

81 RD EPampSim (RD EP アンプ・シミュレーター)

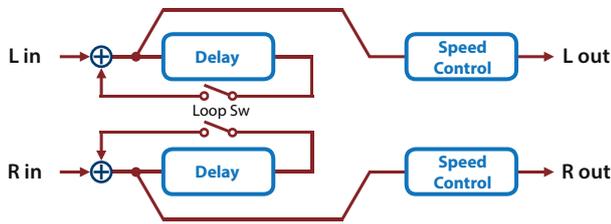
RD シリーズの SuperNatural E.Piano 用に開発されたエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Tremolo Switch	OFF、ON	トレモロのオン/オフ
Tremolo Type		トレモロの種類
	OLDCASE MONO	70年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド (モノ)
	OLDCASE STEREO	70年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド (ステレオ)
	NEWCASE	70年代後半から 80年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	DYNO	定番の改造 E. ピアノ・タイプ
WURLY	60年代の定番 E. ピアノ・タイプ	
Tremolo Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Tremolo Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	トレモロ効果の周期
Tremolo Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Tremolo Depth	0 ~ 127	トレモロ効果の深さ
Tremolo Shape	0 ~ 20	トレモロの波形を調節します。
Amp Switch	OFF、ON	スピーカーと歪みのオン/オフ
Speaker Type	LINE、OLD、NEW、WURLY、TWIN	スピーカーの種類。LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Level	0 ~ 127	出力音量

82 DJFX Looper (DJFX ルーパー)

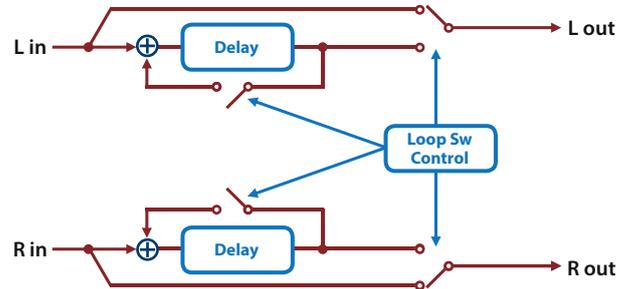
入力音を短い周期でループさせます。入力音の再生方向と再生スピードを変えて、ターンテーブルを触っているような効果を付加します。



パラメーター	設定値	説明
Length	0 ~ 127	ループの長さを設定。
Speed	-1.00 ~ +1.00	再生方向と再生スピードを調節。 -方向 : 逆再生 +方向 : 通常再生 0 : 再生停止 値が0から離れるほど、再生速度が速くなります。
Loop Sw	OFF、ON	音が鳴っているときに ON にすると、その時点の音をループ。OFF にすると、ループ解除。 ※ ON の状態でエフェクトが呼び出された場合、ループを動作させるには、このパラメーターを一度 OFF にしてから再び ON にする必要があります。
Level	0 ~ 127	出力音量

83 BPM Looper (BPM ルーパー)

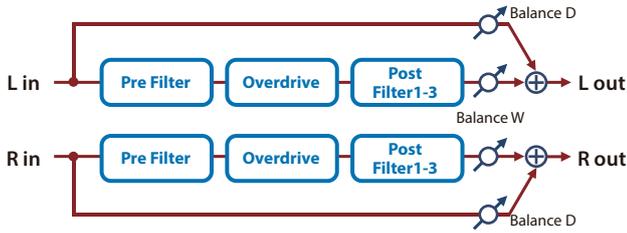
入力音を短い周期でループさせます。リズムに合わせて、自動的にループをオン/オフさせることができます。



パラメーター	設定値	説明
Length	0 ~ 127	ループの長さを設定。
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	ループを自動的にオン/オフする周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
On Timing	1 ~ 8	周期の中で、自動的にループが始まるタイミング (8 分割したタイミングの何番目で鳴るか)
On Length	1 ~ 8	周期の中で、自動的にループが終わる長さ (8 分割した長さの何回分鳴るか)
Loop Mode	OFF、AUTO、ON	AUTO のとき、ループをリズムに合わせて自動的にオン/オフします。 ※ オンの状態でエフェクトが呼び出された場合、ループを動作させるには、このパラメーターをいったん ON 以外にする必要があります。
Level	0 ~ 127	出力音量

84 Saturator (サチュレーター)

オーバードライブとフィルターを組み合わせたエフェクトです。

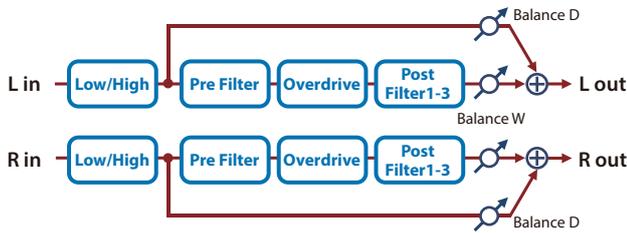


パラメーター	設定値	説明
DrvPost Gain	-48.0 ~ +12.0 [dB]	歪みの処理後のゲイン
Drive Balance	D100:0W ~ D0:100W	エフェクト音 (W) とドライ音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

パラメーター	設定値	説明
DrvPre Type	THRU、LPF、HPF、LSV、HSV	歪みの処理前の、フィルターの種類 THRU : フィルターをかけない LPF : 指定した周波数より低い音を通すフィルター HPF : 指定した周波数より高い音を通すフィルター LSV : 指定した周波数より低い音を増幅/減衰するフィルター HSV : 指定した周波数より高い音を増幅/減衰するフィルター
DrvPre Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理前の、フィルターの作用する周波数
DrvPre Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅/減衰させる量
Drive	0.0 ~ +48.0 [dB]	歪みの強さ
DrvPost1 Type	THRU、LPF、HPF、LSV、HSV	歪みの処理後の、フィルター 1 の種類
DrvPost1 Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 1 の作用する周波数
DrvPost1 Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅/減衰させる量
DrvPost2 Type	THRU、LPF、HPF、LSV、HSV	歪みの処理後の、フィルター 2 の種類
DrvPost2 Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 2 の作用する周波数
DrvPost2 Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅/減衰させる量
DrvPost3 Type	THRU、LPF、HPF、BPF、PKG	歪みの処理後の、フィルター 3 の種類 THRU : フィルターをかけない LPF : 指定した周波数より低い音を通すフィルター HPF : 指定した周波数より高い音を通すフィルター BPF : 指定した周波数だけを通すフィルター PKG : 指定した周波数を増幅/減衰するフィルター
DrvPost3 Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 3 の作用する周波数
DrvPost3 Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	PKG タイプを選んだときに、増幅/減衰させる量
DrvPost3 Q	0.5 ~ 16.0	フィルターに作用する周波数の幅
Makeup Sense	-60.0 ~ 0.0 [dB]	歪みをかけたとき、この設定値より音が大きくなるようにします。

85 Warm Saturator (ワーム・サチュレーター)

サチュレーターのバリエーションで、より暖かみのある音が特長です。



パラメーター	設定値	説明
EQ Low Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	入力フィルター (低域) 指定した周波数より低い音を増幅／減衰します。
EQ Low Gain	-24 ~ +24 [dB]	増幅／減衰させる量
EQ High Slope	THRU、 -12dB、-24dB	入力フィルター (高域) 入力フィルター (高域) の傾き (減衰特性、1 オクターブあたりの減衰量) を調節します。 THRU : 減衰なし -12dB : 緩やか -24dB : 急峻
EQ High Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	入力フィルター (高域) 指定した周波数より高い音を減衰します。
DrvPre Type	THRU、LPF、 HPF、LSV、 HSV	歪みの処理前の、フィルターの種類 THRU : フィルターをかけない LPF : 指定した周波数より低い音を通すフィルター HPF : 指定した周波数より高い音を通すフィルター LSV : 指定した周波数より低い音を増幅／減衰するフィルター HSV : 指定した周波数より高い音を増幅／減衰するフィルター
DrvPre Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理前の、フィルターの作用する周波数
DrvPre Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
Drive	0.0 ~ +48.0 [dB]	歪みの強さ
DrvPost1 Type	THRU、LPF、 HPF、LSV、 HSV	歪みの処理後の、フィルター 1 の種類
DrvPost1 Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 1 の作用する周波数
DrvPost1 Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
DrvPost2 Type	THRU、LPF、 HPF、LSV、 HSV	歪みの処理後の、フィルター 2 の種類
DrvPost2 Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 2 の作用する周波数
DrvPost2 Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量

パラメーター	設定値	説明
DrvPost3 Type	THRU、LPF、 HPF、LSV、 HSV	歪みの処理後の、フィルター 3 の種類 THRU : フィルターをかけない LPF : 指定した周波数より低い音を通すフィルター HPF : 指定した周波数より高い音を通すフィルター BPF : 指定した周波数だけを通すフィルター PKG : 指定した周波数を増幅／減衰するフィルター
DrvPost3 Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 3 の作用する周波数
DrvPost3 Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	PKG タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
DrvPost3 Q	0.5 ~ 16.0	フィルターに作用する周波数の幅
Makeup Sense	-60.0 ~ 0.0 [dB]	歪みをかけたとき、この設定値より音が大きくならないようにします。
DrvPost Gain	-48.0 ~ +12.0 [dB]	歪みの処理後のゲイン
Drive Balance	D100 : 0W ~ D0 : 100W	エフェクト音 (W) とドライ音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

86 FUZZ (ファズ)

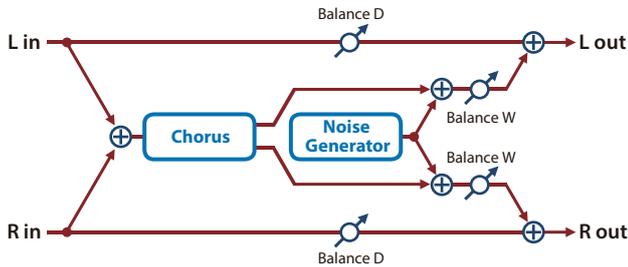
音に倍音を加えて激しく歪ませます。



パラメーター	設定値	説明
Drive	0 ~ 127	歪み具合を調節します。 音量も変わります。
Tone	0 ~ 100	音質
Level	0 ~ 127	出力音量

87 JUNO-106 Chorus (JUNO-106 コーラス)

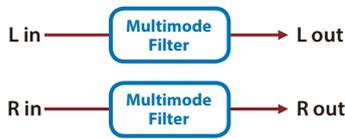
ローランドの JUNO-106 のコーラス部分をモデリングしたものです。



パラメーター	設定値	説明
Mode	I, II, I+II, JX I, JX II	コーラスの種類 I+II : 同時に 2 つのボタンを押したときの状態です。
Noise Level	0 ~ 127	コーラスによって発生するノイズの音量
Balance	D100: 0W ~ D0: 100W	エフェクト音 (W) とドライ音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

88 Multi Mode Filter (マルチ・モード・フィルター)

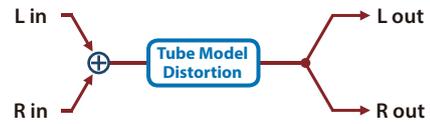
DJ パフォーマンスに効果的に使えるよう調整されたフィルターです。



パラメーター	設定値	説明
Filter Type	LPF/HPF、LPF、HPF、BPF	フィルターの種類 LPF/HPF : Filter Tone パラメーターの値に応じてフィルターのタイプが自動的に切り替わります。
Filter Tone	0 ~ 255	フィルターの作用する周波数
Filter Color	0 ~ 255	フィルターの共振レベル 値を大きくするほど作用する周波数付近が強調されます。
Filter Slope	-12、-24、-36 [dB]	フィルターの傾き (減衰特性、1 オクターブあたりの減衰量) -12dB : 緩やか -24dB : 急峻 -36dB : 非常に急峻
Filter Gain	0 ~ +12 [dB]	フィルター出力の増幅量
Level	0 ~ 127	出力音量

89 HMS Distortion (HMS ディストーション)

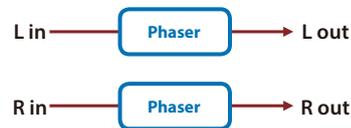
往年のロータリースピーカーの真空管アンプ部分をモデリングした歪みエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Distortion	0 ~ 127	歪みの強さ
Level	0 ~ 127	出力音量

90 Script 100 (スクリプト 100)

往年のアナログ・フェイザーをシミュレートしたものです。



パラメーター	設定値	説明
Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.4)
Rate (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	うねりの周期
Rate (note)	音符 → [音符] (P.103)	
Duty	-50 ~ 50	うねりが上昇するときと下降するときの速さの比率を調整します。
Min	0 ~ 100	うねりが到達する下限
Max	0 ~ 100	うねりが到達する上限
Manual Sw	OFF、ON	自動的にうねるのではなく、Manual パラメーターの値に応じてうねりをかけます。
Manual	0 ~ 100	音をうねらせる基準周波数
Resonance	0 ~ 66	フィードバック量
Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Level	0 ~ 127	出力音量

音符

	3連64分音符		64分音符		3連32分音符		32分音符
	3連16分音符		付点32分音符		16分音符		3連8分音符
	付点16分音符		8分音符		3連4分音符		付点8分音符
	4分音符		3連2分音符		付点4分音符		2分音符
	3連全音符		付点2分音符		全音符		3連倍全音符
	付点全音符		倍全音符				